神戸大学
データ資料集

～データと資料が語る神戸大学の今の姿～

平成２３年度

※写真について

左上･･･神戸大学百年記念館

右上･･･六甲台本館

左下･･･社会科学系図書館

右下･･･出光佐三記念六甲台講堂

目　　次

1. 神戸大学(Kobe University)の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・1
2. 教員数の推移等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
3-1. 教員の神戸大学在学経験者数・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
3-2. 職員数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

教　育
4. 学生定員の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
5. 学部一般選抜志願状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
6. 学部入学状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
7. 大学院入学状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
8. 学位授与状況(授与率)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
9. 卒業生・修了生の進路・就職状況 ・・・・・・・・・・・・・・・16
10. 司法試験合格状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
11. 学生生活
11-1. 学生生活状況(就業時間・家庭収入)・・・・・・・・・ 22
11-2. 経済支援について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

研　究
12. 平成23年度科学研究費助成事業獲得状況・・・・・・ 24
13. 科学研究費補助金獲得状況(推移)・・・・・・・・・・・・・・ 26
14. 日本学術振興会特別研究員受入れ状況(新規分) 27
15. 文化勲章等受章者一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
16. 連携大学院の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
17. 教育・研究プログラム
17-1. 21世紀COE・グローバルCOE・・・・・・・・・・・・・・29
17-2. 大学教育改革支援プログラム・・・・・・・・・・・・・・・30
17-3. 科学技術振興調整費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・31
18. 大学間協定(国内)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32

国　際
19. 外国人留学生受入・日本人留学生派遣状況・・・・・ 33
20. 外国の大学等との学術交流協定の締結状況・・・・・ 34
21. 研究者等交流状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38

病　院
22. 病床数・常勤医師数・常勤看護師数・・・・・・・・・・・・ 39
23. 総手術件数と患者数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39

附属学校
24. 附属学校における連携授業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・40

社会貢献
25. 公開講座実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・41
26. 東日本大震災への取組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・42

1. 神戸大学（Kobe University）の概要

平成23年5月1日現在

区分			入学定員	入学者数	総定員	在籍者数	
学生等数	学部		2,715人	2,811人	10,698人	11,951人	（4,044人）
	大学院	修士（博士前期）	1,224人	1,282人	2,444人	2,853人	（926人）
		博士（博士後期）	390人	312人	1,246人	1,577人	（527人）
		専門職学位課程	149人	154人	398人	349人	（72人）
	合計		4,478人	4,559人	14,786人	16,730人	（5,569人）
	外国人留学生数（内数）		学部	大学院生	研究生等	計	
			111人	759人	238人	1,108人	（592人）
	附属学校		学級数		在籍者数		
			50（3）注1学級		1,521人（帰国子女24人）		
区分			教員数	附属学校教諭	その他職員数	計	
教職員数	合計		1,516人注2	115人	1,741人	3,372人	（1,330人）
	（女性教職員数）		（197人）	（42人）	（1,091人）		
	女性比率		13.0%	36.5%	62.7%	39.4%	

※（　）内は女子を内数で表す。
注1：学級数の（　）は、帰国子女教育学級を外数で示す。
注2：役員及び特別顧問を含む。

主要キャンパス	六甲台地区	本部、人文学・国際文化学・人間発達環境学・法学・経済学・経営学・理学・工学・システム情報学・農学・国際協力研究科、経済経営研究所、附属図書館など	約44ha
	楠地区	（医、病院など）	約5ha
	深江地区	（海事科、乗船実習科など）	約11ha
	名谷地区	（保健）	約3ha
	住吉地区	（附属中等教育学校など）	約3ha
	明石地区	（附属幼稚園・小学校など）	約3ha
	大久保地区	（附属特別支援学校）	約2ha
	加西地区	（食資源教育研究センター）	約40ha
予算規模	平成23年度　約585億円（うち運営費交付金　約216億円） ※外部資金（受託研究収入、寄付金収入等）は除く。		

神戸大学の規模

［規模の比較（国立間）］

学部数

順位	大学名	学部数
1	北海道大学	12
2	神戸大学	11
2	大阪大学	11
2	岡山大学	11
2	広島大学	11
2	九州大学	11
7	東北大学	10
7	東京大学	10
7	京都大学	10
10	筑波大学	9
10	千葉大学	9
10	新潟大学	9
10	名古屋大学	9

学部入学定員

順位	大学名	入学定員
1	大阪大学	3,255
2	東京大学	3,063
3	京都大学	2,866
4	九州大学	2,555
5	神戸大学	2,540
6	北海道大学	2,485
7	東北大学	2,381
8	広島大学	2,355
9	千葉大学	2,320
10	新潟大学	2,245
11	岡山大学	2,198
12	名古屋大学	2,107
13	筑波大学	2,075

大学院数

順位	大学名	大学院数
1	九州大学	18
2	北海道大学	18
2	京都大学	17
4	大阪大学	16
4	東北大学	16
6	東京大学	15
7	神戸大学	14
7	名古屋大学	13
9	広島大学	12
10	鹿児島大学	10
11	千葉大学	9
11	山口大学	9

大学院入学定員

順位	大学名	入学定員	入学定員(M)	入学定員(P)	入学定員(D)
1	東京大学	4,914	2,824	395	1,695
2	京都大学	3,636	2,215	324	1,097
3	大阪大学	3,013	1,994	80	939
4	東北大学	2,755	1,773	150	832
5	九州大学	2,695	1,721	175	799
6	北海道大学	2,428	1,603	130	695
7	筑波大学	2,360	1,615	66	679
8	名古屋大学	2,309	1,513	70	726
9	東京工業大学	2,151	1,544	40	567
10	神戸大学	1,763	1,224	149	390
11	広島大学	1,582	1,027	48	507
12	千葉大学	1,213	916	40	257
13	岡山大学	1,093	751	65	277

学部・大学院入学定員

順位	大学名	入学定員
1	東京大学	7,977
2	京都大学	6,502
3	大阪大学	6,268
4	東北大学	5,136
5	九州大学	5,250
6	北海道大学	4,913
7	筑波大学	4,435
8	名古屋大学	4,416
9	神戸大学	4,303
10	広島大学	3,937
11	千葉大学	3,533

教員（常勤）

順位	大学名	教員数
1	東京大学	4,797
2	京都大学	3,686
3	大阪大学	3,106
4	東北大学	2,648
5	筑波大学	2,207
6	北海道大学	2,089
7	九州大学	2,082
8	広島大学	1,770
9	名古屋大学	1,724
10	神戸大学	1,597
11	岡山大学	1,532

※附属学校教諭を含む

職員（常勤）

順位	大学名	職員数
1	東京大学	3,986
2	京都大学	2,975
3	東北大学	2,711
4	大阪大学	2,478
5	北海道大学	2,207
6	九州大学	2,012
7	岡山大学	1,903
8	神戸大学	1,702
9	筑波大学	1,598
10	広島大学	1,518
11	名古屋大学	1,456

※附属病院看護師を含む

運営費交付金

順位	大学名	金額
1	東京大学	85,319
2	京都大学	56,838
3	大阪大学	49,550
4	東北大学	47,927
5	九州大学	42,852
6	筑波大学	42,462
7	北海道大学	38,219
8	名古屋大学	33,677
9	広島大学	26,864
10	東京工業大学	21,796
11	神戸大学	21,610

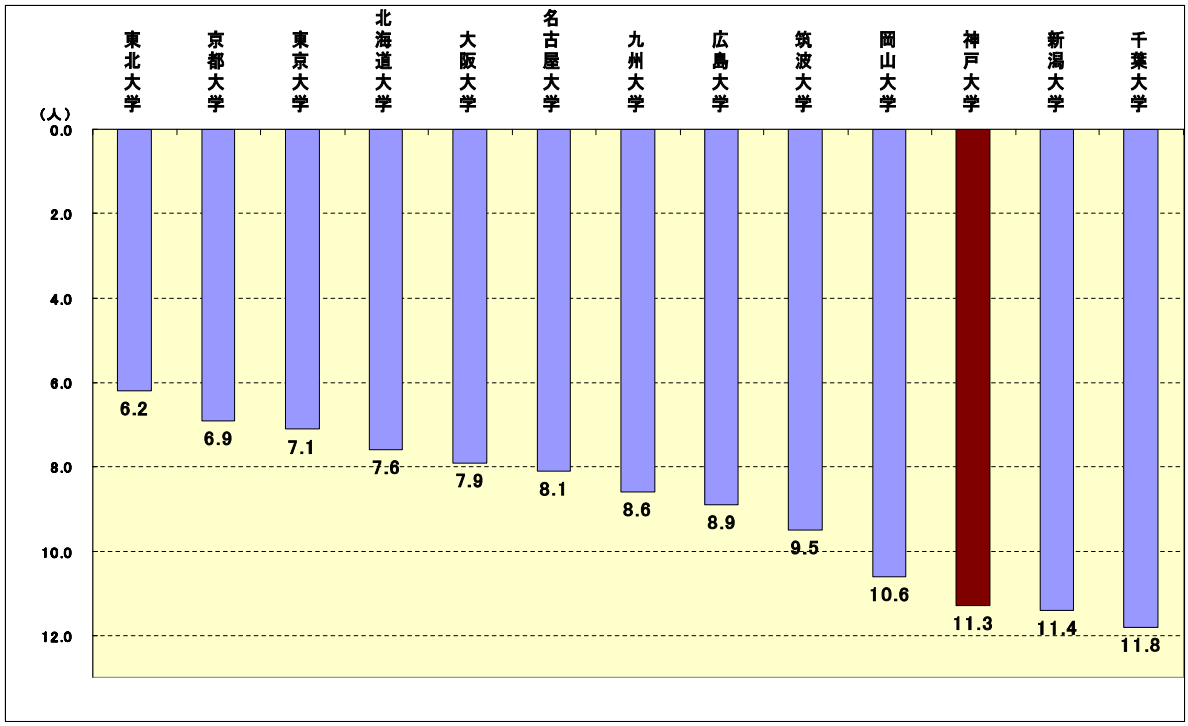
※単位は百万円。百万円未満は切り捨て。

注）1．学部・大学院数、学生定員については、全国大学一覧（平成23年度）により確認した。
2．教職員数については、各国立大学法人の事業報告書（平成22年度）により確認した。
3．運営費交付金については、平成23年度「国立大学運営費交付金」法人別予定額により確認した。

（平成23年12月作成）

旧帝国大学を含む13大学との教員一人当たり学生数の比較

神戸大学は学生数に比して教員数が少ない状況にある。



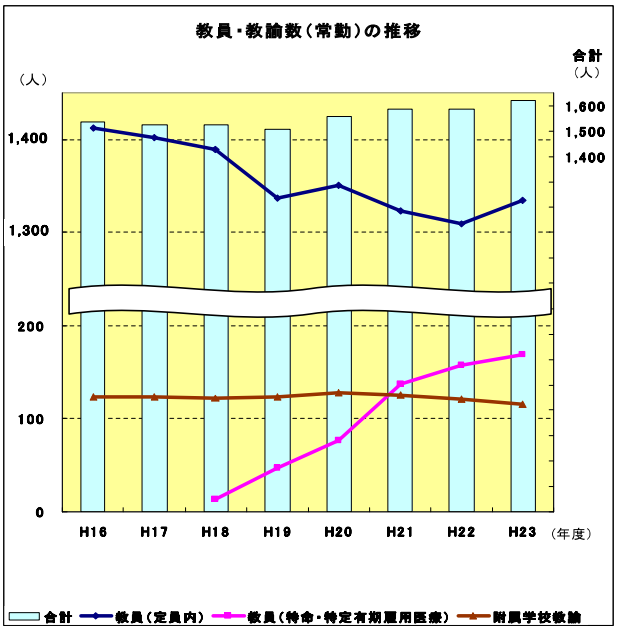
出典：国立大学法人財務データ概覧（平成22年度版）
算出方法：学校基本調査・平成22年度（5月1日現在の員数　）
学生数（学部＋大学院在籍者数）÷常勤教員総数（本務者）

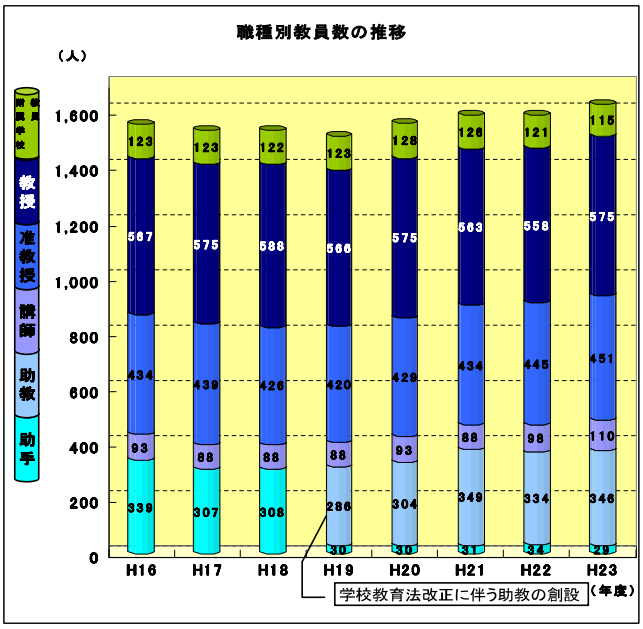
2. 教員数の推移等

法人化時の常勤教員（定員内）が減り、特命教員及び特定有期雇用医療教員が増えている。また、職種別では、助教、講師、准教授の採用が増えている。

◆教員◆

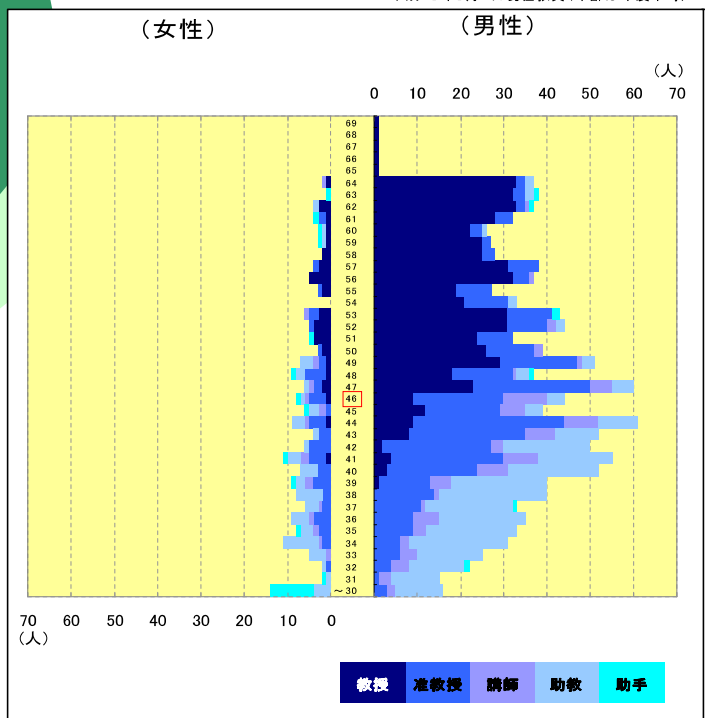
各年度5月1日現在





◆年齢別・職種別教員数◆

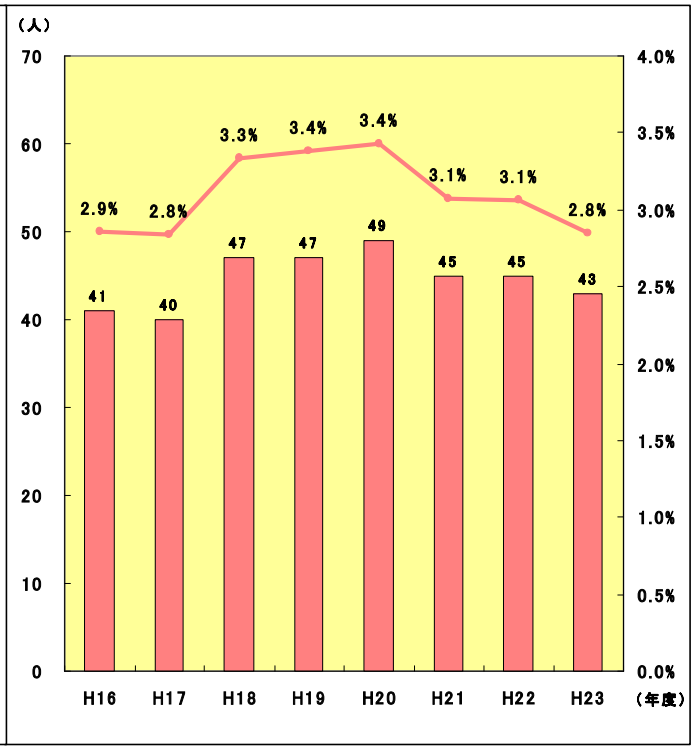
平成23年5月1日現在教員（年齢は年度末時）



教員平均年齢46歳(45.93歳：平成23年5月1日現在満年齢)

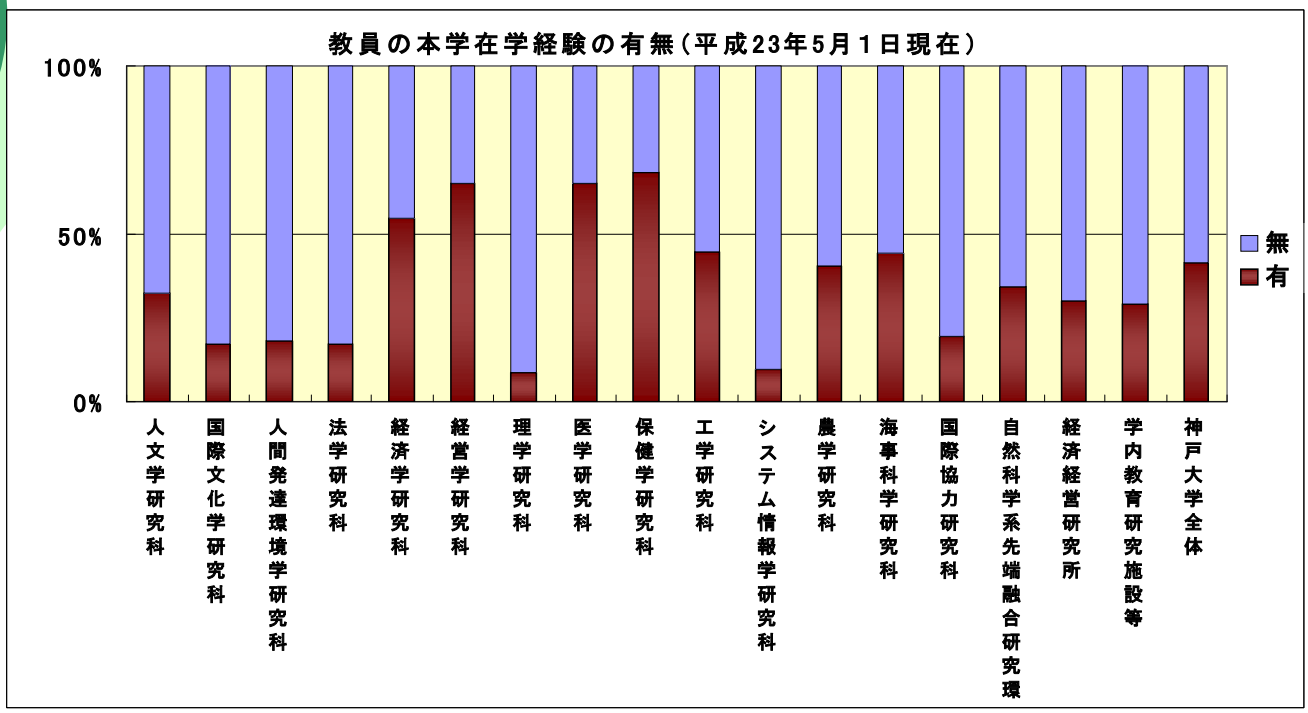
◆外国人教員数・外国人教員比率の推移◆

平成23年5月1日現在外国人教員（比率は全教員に対する外国人教員の率）



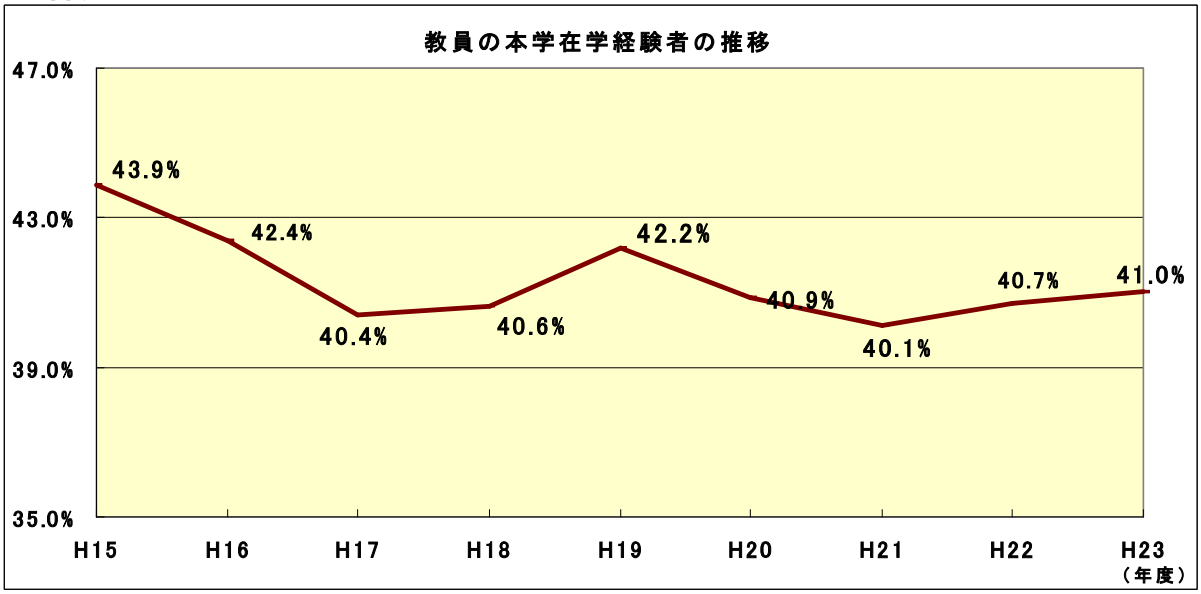
3－1. 教員の神戸大学在学経験者数

◆神戸大学◆



◆神戸大学◆

各年度5月1日現在

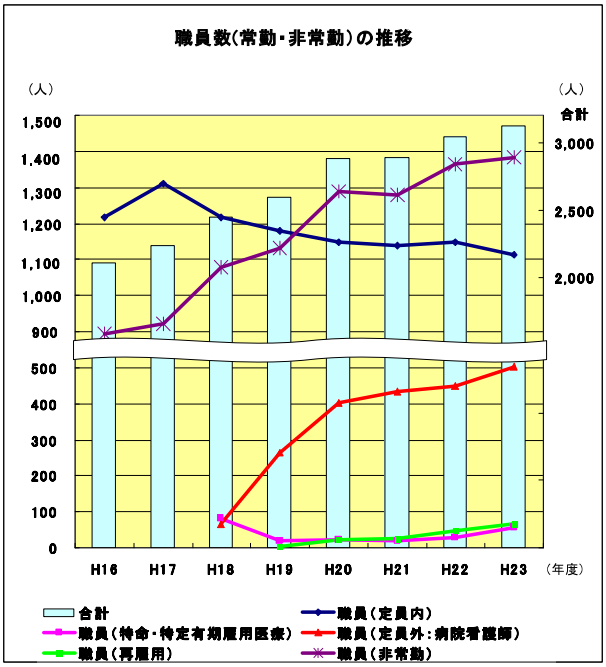


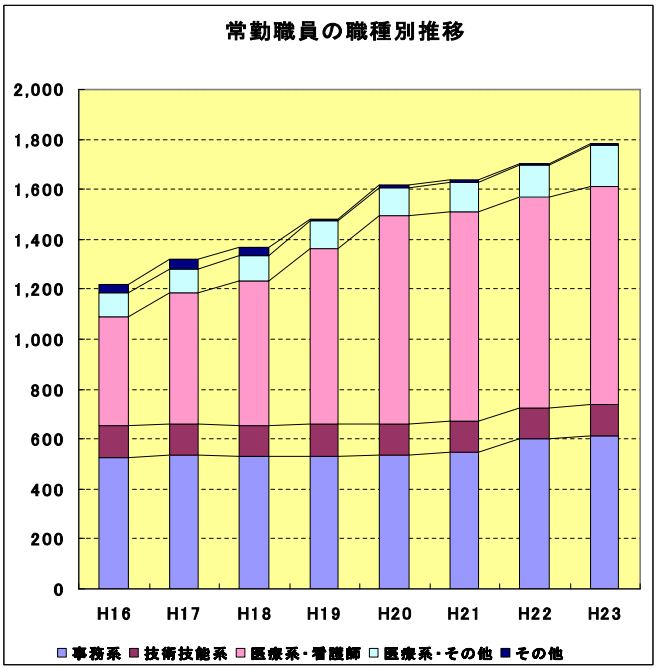
3―2. 職員数の推移

法人化時の常勤職員（定員内）を減、非常勤職員等を増やして対応。職種別では、特に看護師の数を増。

◆職員◆

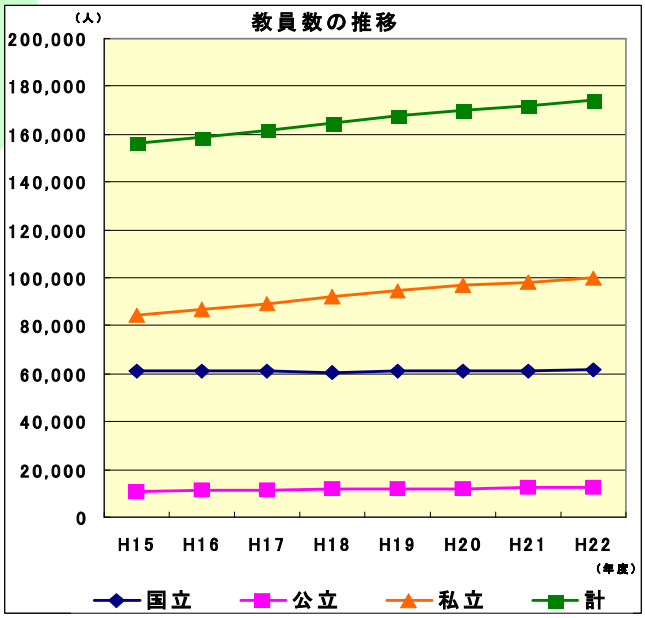
各年度5月1日現在

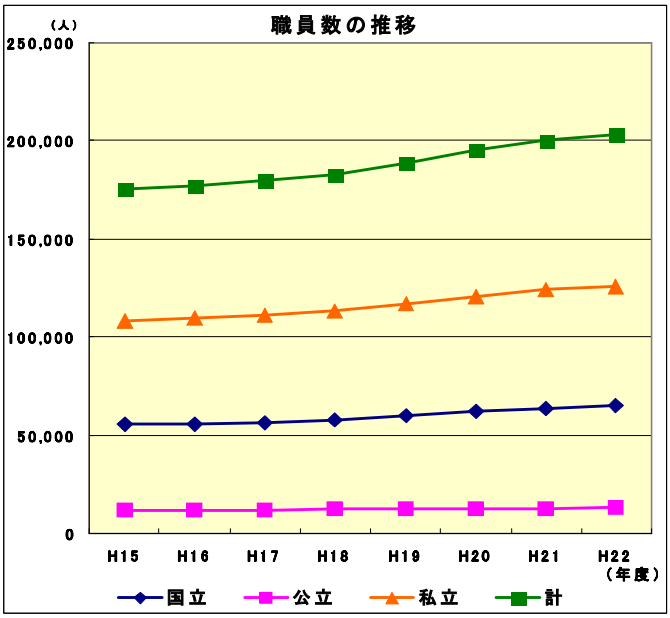




3.【参考】国公私立大学の教職員数の推移

各年度5月1日現在





※出典：文部科学省　学校基本調査より作成

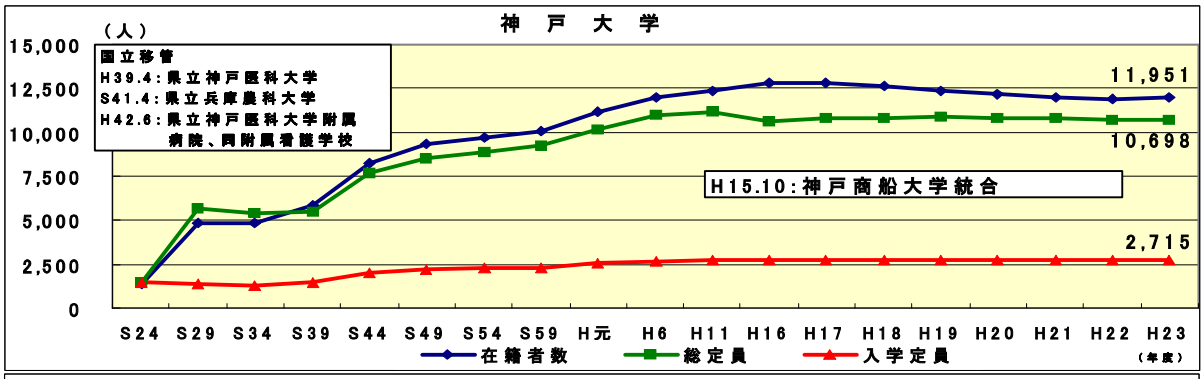
教育

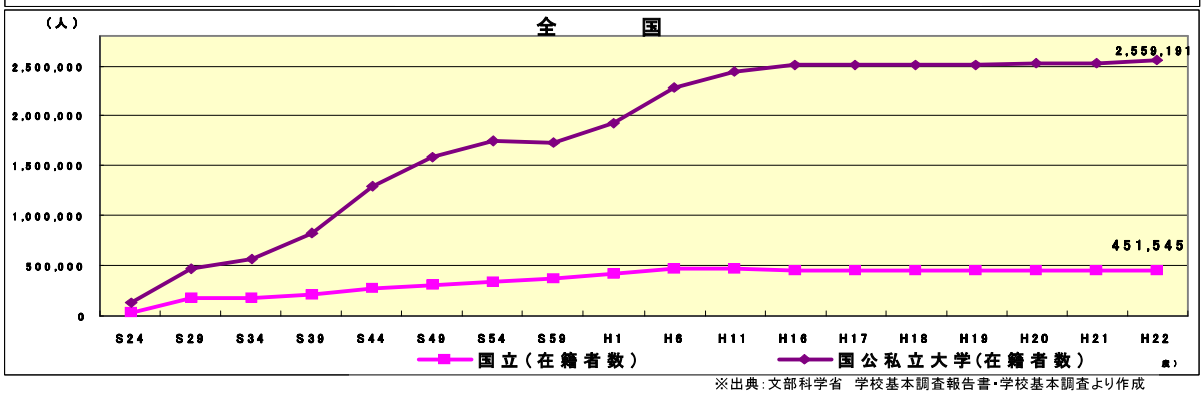
4. 学生定員の推移

学士課程、修士・博士前期課程においては、総定員に対する在籍者数は約1.1倍となっている。博士後期課程においては定員に対する在籍者数は約1.3倍となっている。

【学　　部】

各年度5月1日現在



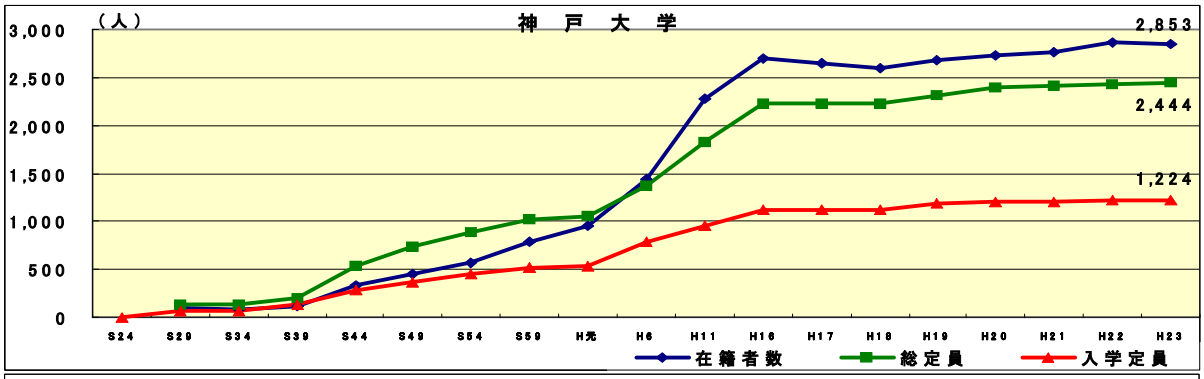


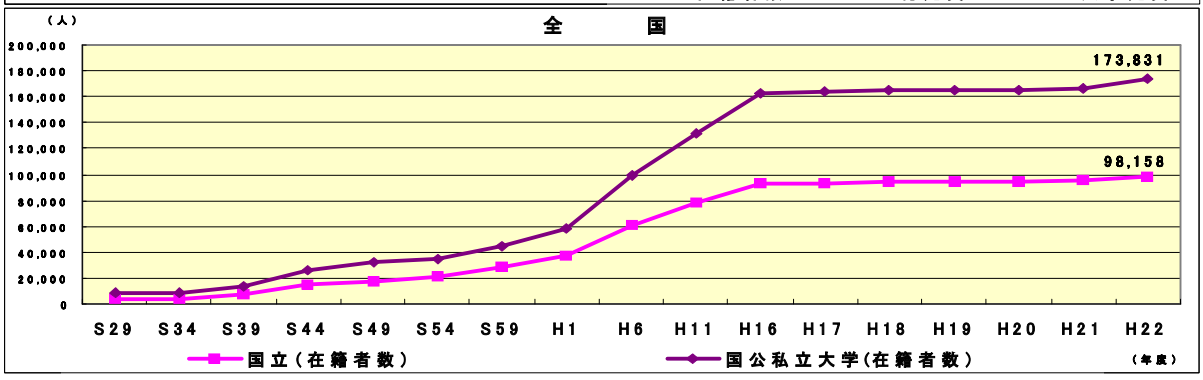
※出典：文部科学省　学校基本調査報告書・学校基本調査より作成

教育

【修士・博士前期課程】

各年度5月1日現在

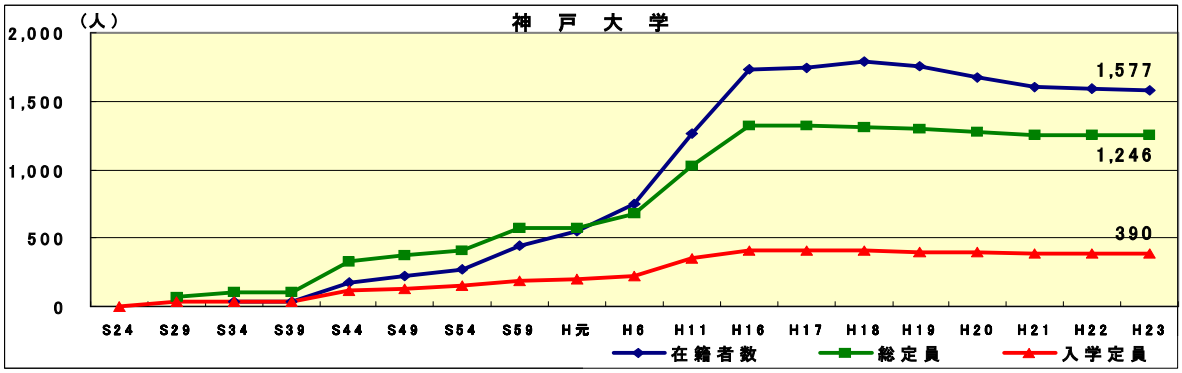


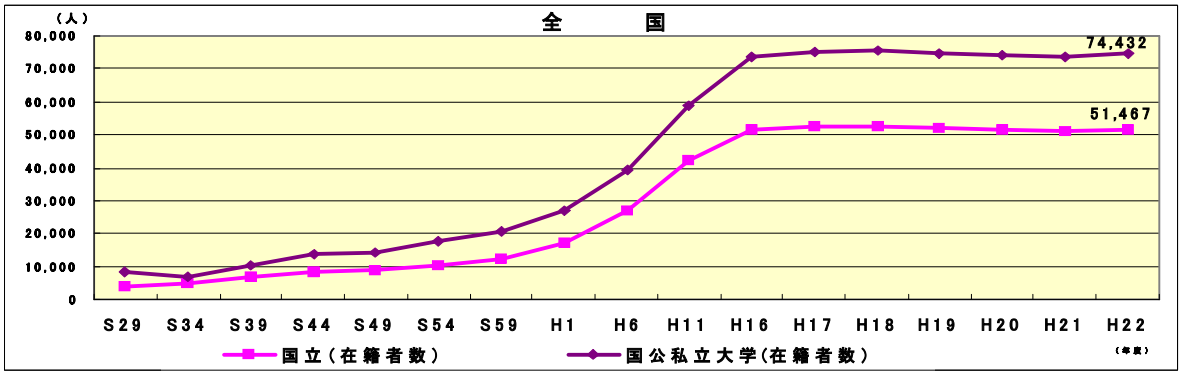


※出典：文部科学省　学校基本調査報告書・学校基本調査より作成

【博士・博士後期課程】

各年度5月1日現在



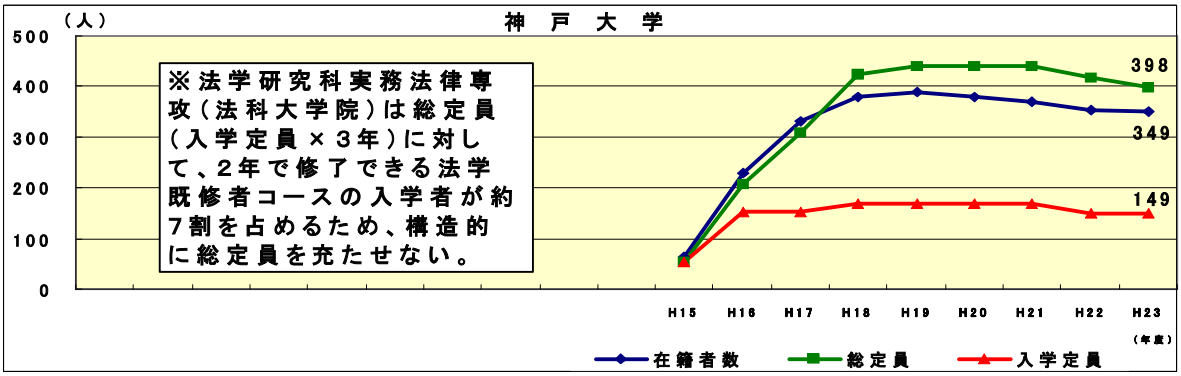


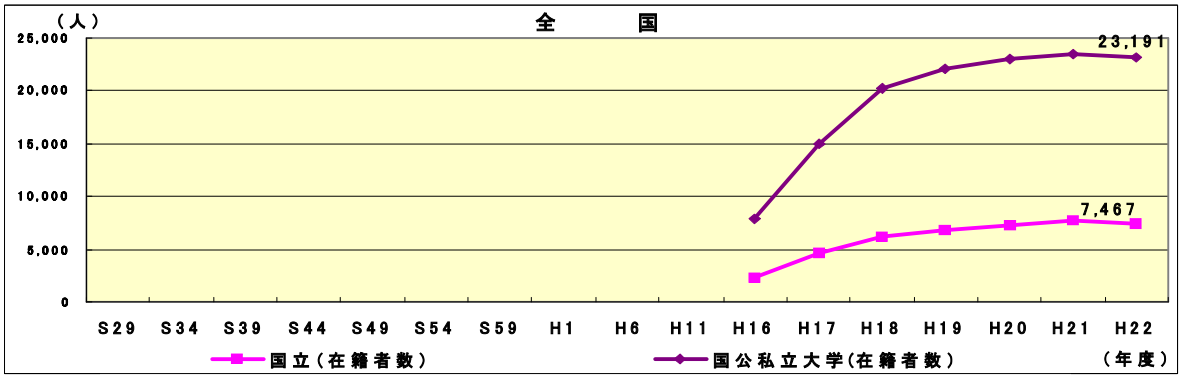
※出典：文部科学省　学校基本調査報告書・学校基本調査より作成

教育

【専門職学位課程】

各年度5月1日現在





※出典：文部科学省　学校基本調査報告書・学校基本調査より作成

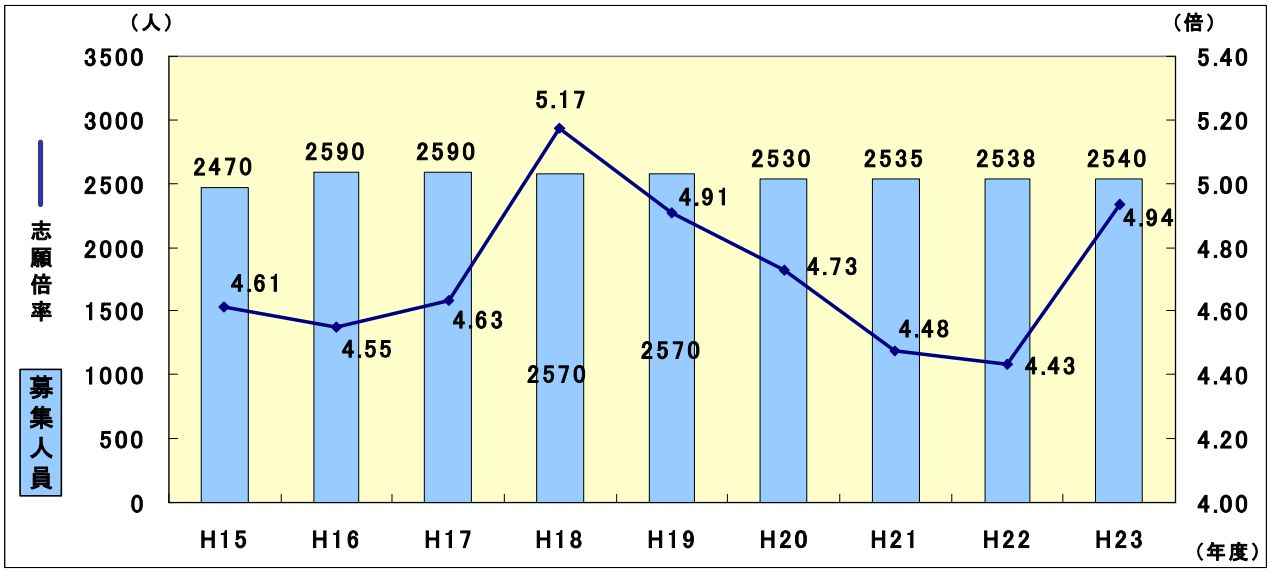
教育

5. 学部一般選抜志願状況

本学における志願倍率は、毎年度4倍以上を確保しており、18歳人口が減る一方で、安定した人員確保を行っている。

◆神戸大学◆

各年度5月1日現在



教育

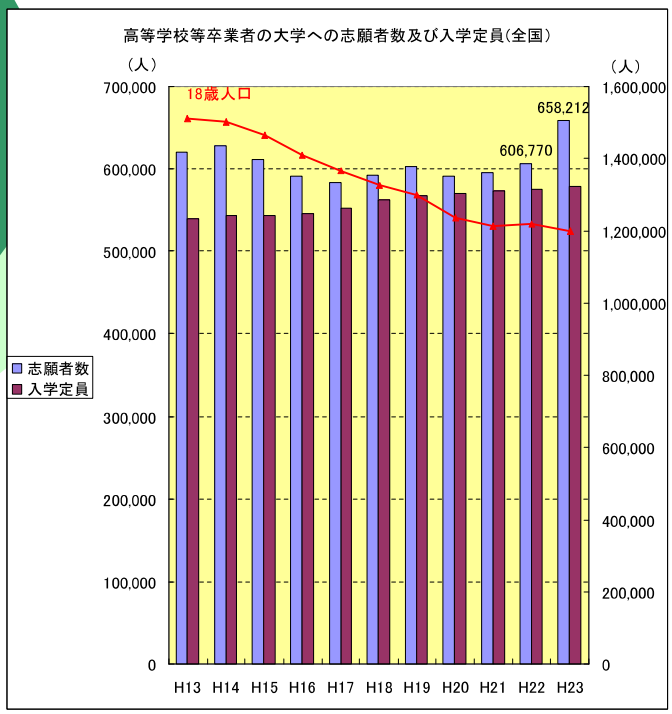
平成21～23年度国立大学入学者選抜に関するデータ（倍率上位40位）

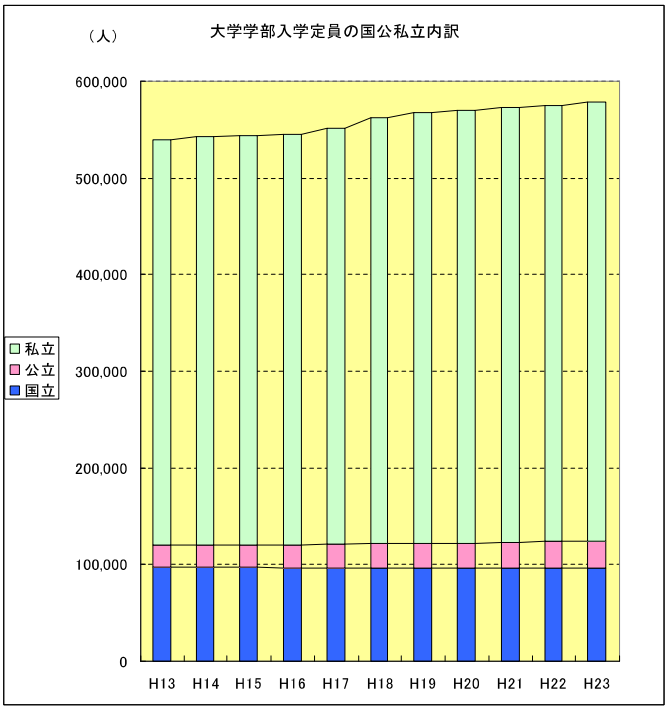
	平成21年度	募集人員	志願者数	倍率	平成22年度	募集人員	志願者数	倍率	平成23年度	募集人員	志願者数	倍率
1	東京芸術	477	5,130	10.8	東京芸術	477	4,744	9.9	岐阜	1,001	9,724	9.7
2	岐阜	1,010	8,238	8.2	岐阜	1,004	9,551	9.5	東京芸術	477	4,588	9.6
3	北見工業	307	2,257	7.4	北見工業	307	2,436	7.9	鳴門教育	83	652	7.9
4	山梨	576	3,826	6.6	旭川医科	112	812	7.3	旭川医科	112	841	7.5
5	大分	813	4,936	6.1	山梨	581	4,046	7.0	東京海洋	372	2,674	7.2
6	旭川医科	107	648	6.1	滋賀	613	4,166	6.8	滋賀	613	4,209	6.9
7	鳴門教育	83	501	6.0	鳥取	936	5,981	6.4	宮崎	797	5,461	6.9
8	滋賀	613	3,695	6.0	浜松医科	120	759	6.3	奈良教育	213	1,432	6.7
9	島根	869	5,082	5.8	電気通信	621	3,904	6.3	山梨	576	3,852	6.7
10	電気通信	711	4,118	5.8	兵庫教育	102	640	6.3	上越教育	110	675	6.1
11	奈良教育	217	1,255	5.8	東京海洋	372	2,326	6.3	北見工業	307	1,881	6.1
12	鳥取	921	5,320	5.8	大分	813	5,025	6.2	秋田	742	4,511	6.1
13	宮崎	812	4,660	5.7	鳴門教育	83	497	6.0	島根	857	5,157	6.0
14	徳島	923	5,205	5.6	奈良教育	213	1,264	5.9	東京外国語	715	4,269	6.0
15	横浜国立	1,471	8,108	5.5	宮崎	802	4,624	5.8	横浜国立	1,488	8,878	6.0
16	浜松医科	110	603	5.5	横浜国立	1,471	8,371	5.7	東京工芸	1,008	5,931	5.9
17	東京農工	755	4,127	5.5	上越教育	110	609	5.5	電気通信	621	3,613	5.8
18	東京工業	1,008	5,407	5.4	徳島	923	5,076	5.5	東京農工	731	4,244	5.8
19	滋賀医科	123	644	5.2	東京農工	739	3,943	5.3	茨城	1,293	7,207	5.6
20	東京外国語	715	3,714	5.2	東京工業	1,008	5,366	5.3	滋賀医科	130	721	5.5
21	一橋	920	4,712	5.1	福岡教育	546	2,905	5.3	和歌山	777	4,278	5.5
22	秋田	723	3,693	5.1	茨城	1,293	6,797	5.3	神戸	2,353	12,539	5.3
23	兵庫教育	102	520	5.1	東京外国語	715	3,745	5.2	徳島	925	4,864	5.3
24	東京海洋	372	1,886	5.1	一橋	920	4,805	5.2	浜松医科	120	626	5.2
25	茨城	1,296	6,554	5.1	秋田	739	3,833	5.2	富山	1,396	7,280	5.2
26	福井	669	3,320	5.0	富山	1,392	7,214	5.2	千葉	2,066	10,706	5.2
27	三重	1,108	5,479	4.9	和歌山	780	4,032	5.2	お茶の水女子	371	1,922	5.2
28	和歌山	780	3,826	4.9	福島	670	3,367	5.0	大分	815	4,204	5.2
29	お茶の水女子	368	1,795	4.9	信州	1,614	8,055	5.0	鳥取	939	4,836	5.2
30	千葉	2,064	9,999	4.8	三重	1,086	5,419	5.0	弘前	1,100	5,642	5.1
31	神戸	2,353	11,347	4.8	千葉	2,061	10,283	5.0	京都工芸繊維	558	2,858	5.1
32	東京医科歯科	232	1,105	4.8	東京医科歯科	242	1,207	5.0	埼玉	1,465	7,294	5.0
33	埼玉	1,463	6,832	4.7	島根	850	4,208	5.0	一橋	920	4,562	5.0
34	琉球	1,299	6,042	4.7	埼玉	1,462	7,147	4.9	福井	677	3,328	4.9
35	佐賀	1,097	5,088	4.6	お茶の水女子	368	1,771	4.8	琉球	1,324	6,443	4.9
36	香川	924	4,223	4.6	滋賀医科	128	616	4.8	筑波	1,467	7,112	4.8
37	信州	1,658	7,526	4.5	神戸	2,353	11,249	4.8	三重	1,077	5,178	4.8
38	富山	1,384	6,275	4.5	琉球	1,299	6,196	4.8	愛知教育	774	3,701	4.8
39	弘前	1,083	4,907	4.5	奈良女子	409	1,940	4.7	兵庫教育	102	486	4.8
40	福島	670	3,033	4.5	大阪教育	879	4,135	4.7	北海道教育	906	4,303	4.7

※出典：文部科学省「平成23年度国公立大学入学者選抜確定志願状況」より作成

教育

5.【参考】 全国の大学への志願者数及び入学定員

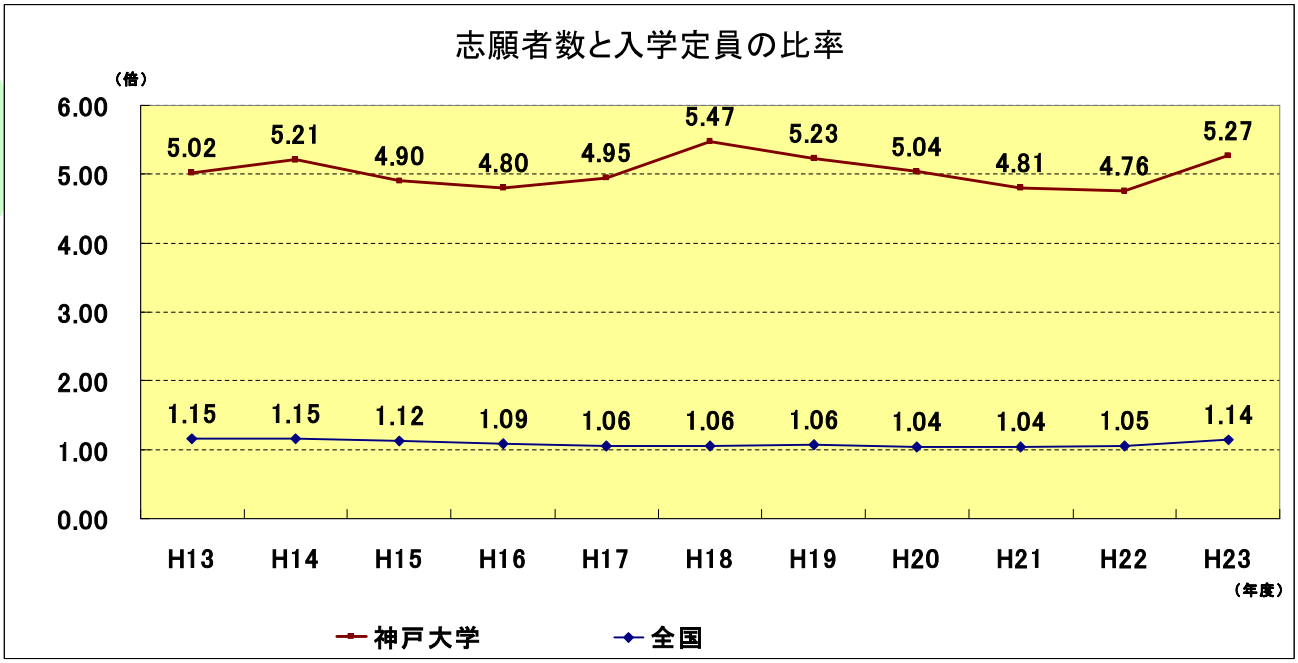




出典
志願者数：学校基本調査　高等学校（全日制・定時制・通信制）及び中等教育学校（後期課程）卒業者の大学への入学志願状況より作成
入学定員：全国大学一覧より作成
18歳人口：文部科学省ホームページより作成

教育

平成23年度は、全国的に大学への志願者数が増加したが、神戸大学の入学定員に対する志願者の伸び率は全国の伸び率を上回っている。



計算方法：志願者数÷入学定員（いずれも編入学を除く）
神戸大学　志願者数：学部志願者数（一般選抜・推薦・AO入試等も含む）
全国　志願者数：学校基本調査　高等学校（全日制・定時制・通信制）及び中等教育学校（後期課程）卒業者の大学への入学志願状況
入学定員：全国大学一覧より作成

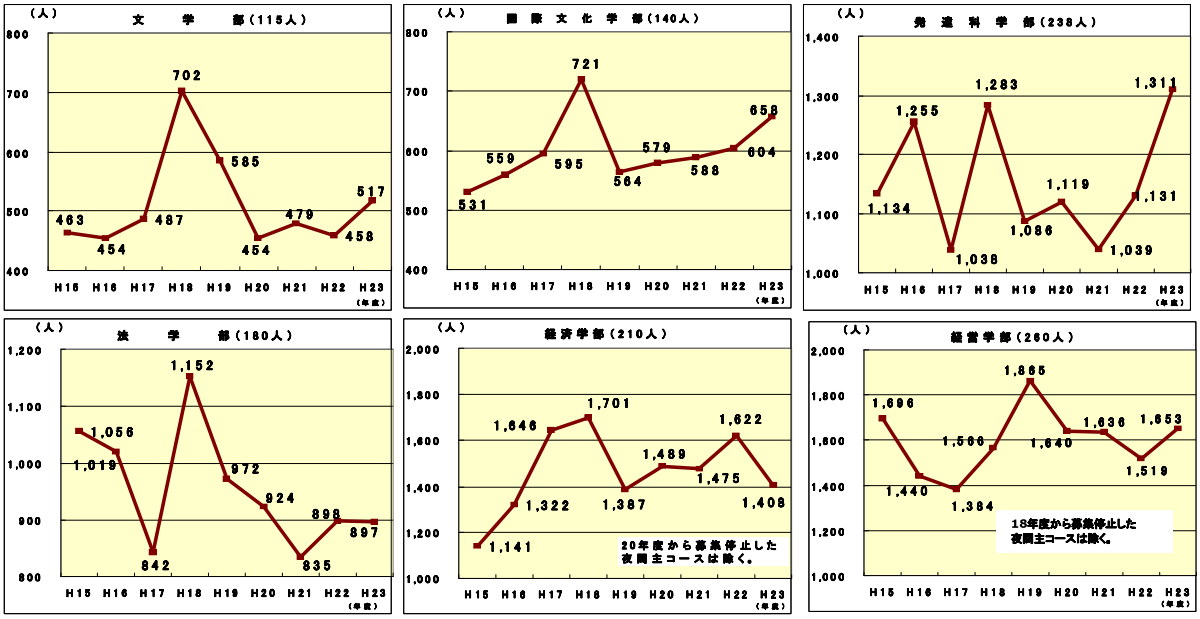
教育

5.【参考】学部毎の一般選抜状況

学部毎に分けてみると、法学部において、定員の変化はないにもかかわらず志願者数の減少がみられる。

◆神戸大学◆

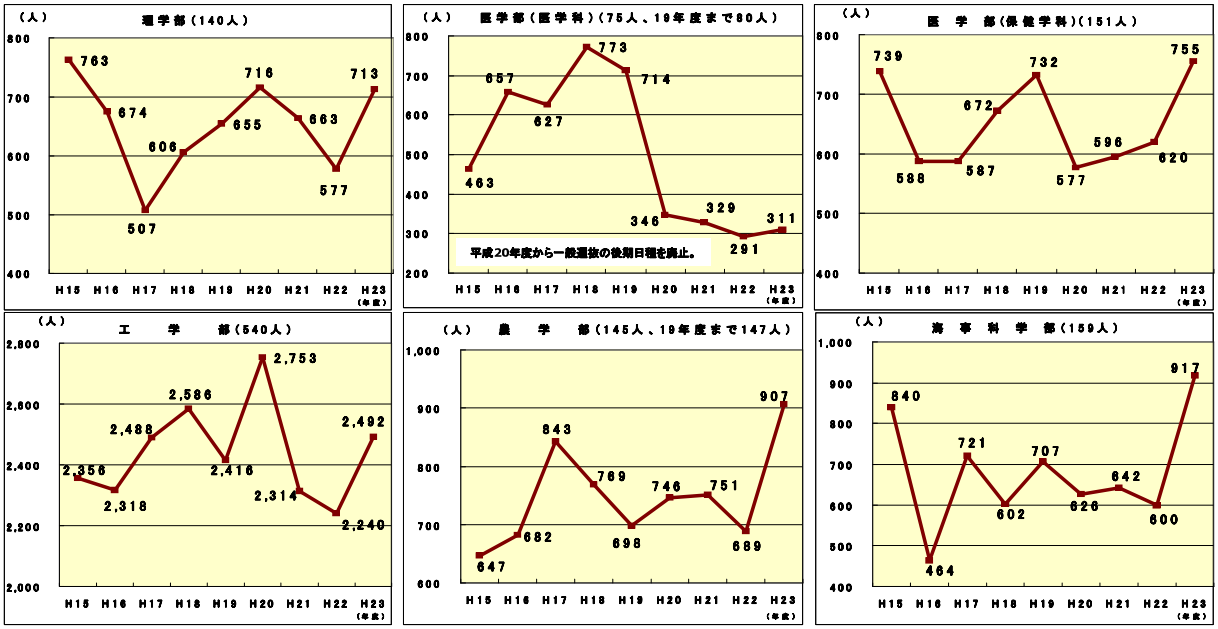
＊学部名欄の（ ）書きは、募集人員を表す。



教育

医学部においては、平成20年度から一般選抜の後期日程を廃止したため志願者数が半減したが、その後は安定した人員確保ができている。また平成23年度は農学部（32%）・海事科学部（53%）で積極的な広報活動等により顕著な増加がみられた。

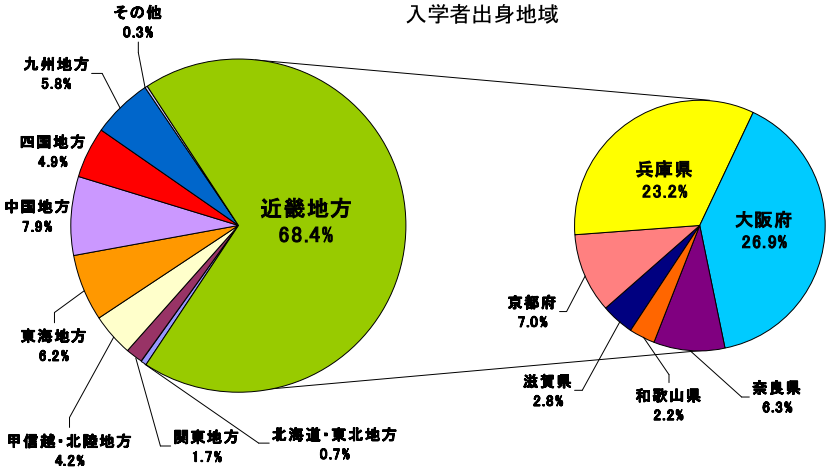
◆神戸大学◆



6. 学部入学状況

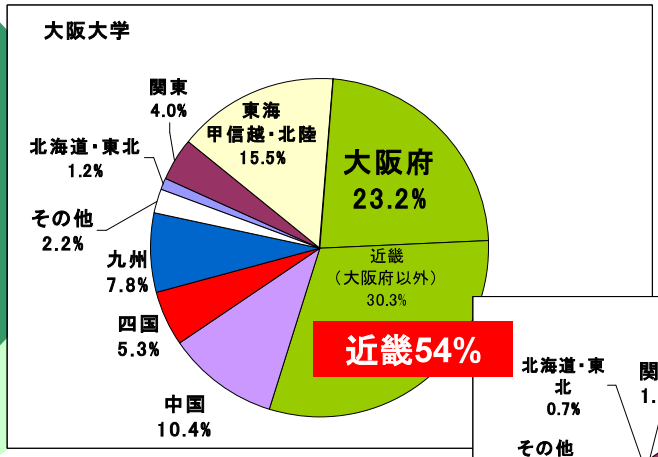
本学・近隣大学ともに所在府県又は近隣地域の出身者が多い。

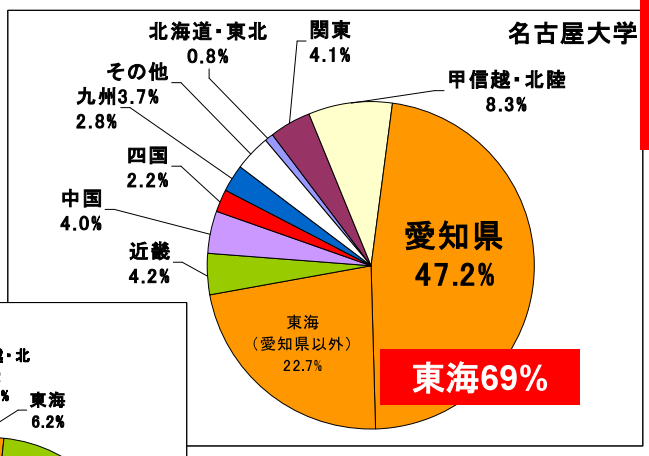
◆神戸大学◆

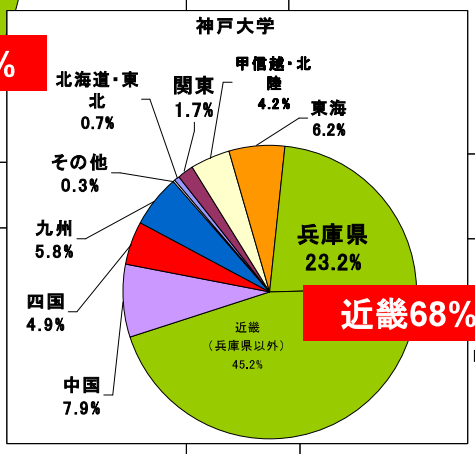


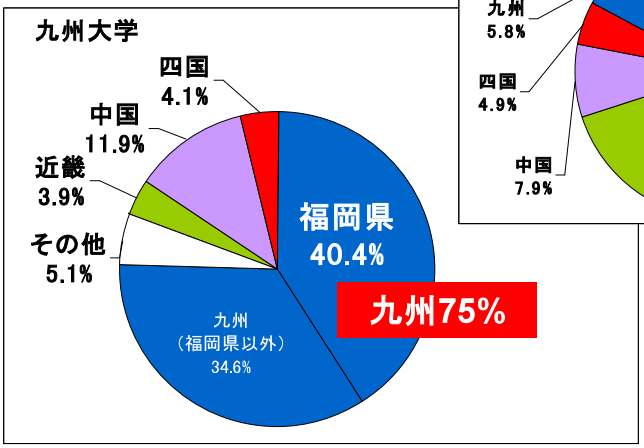
【北海道・東北地方】北海道、青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県
【関東地方】群馬県、茨城県、千葉県、栃木県、埼玉県、東京都、神奈川県
【甲信越・北陸地方】新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県、山梨県
【東海地方】岐阜県、愛知県、静岡県、三重県
【中国地方】鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
【九州地方】福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
【近畿地方】滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
【四国地方】徳島県、香川県、愛媛県、高知県
【その他】外国の学校、検定等

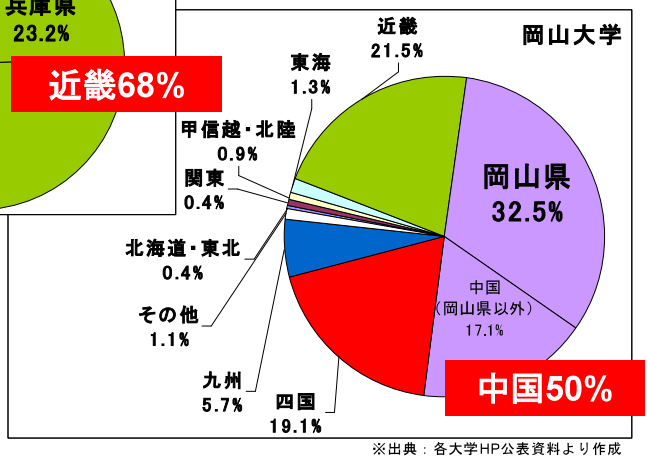
教育









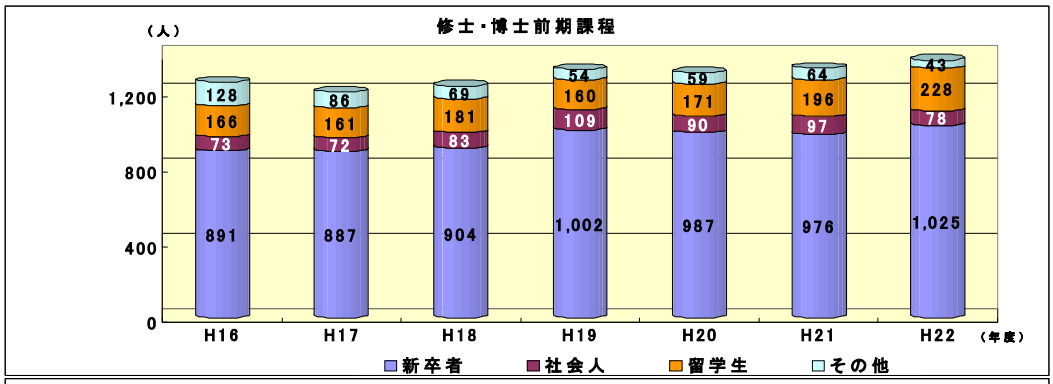


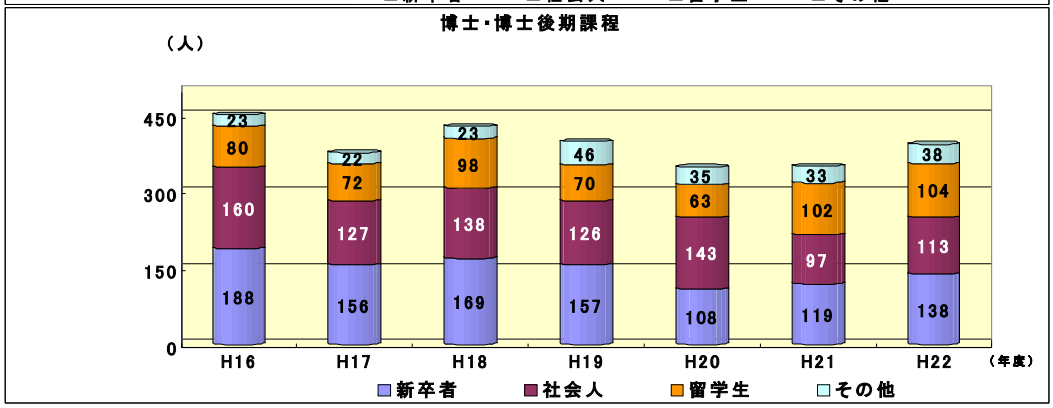
※出典：各大学HP公表資料より作成

教育

7. 大学院入学状況

◆神戸大学◆

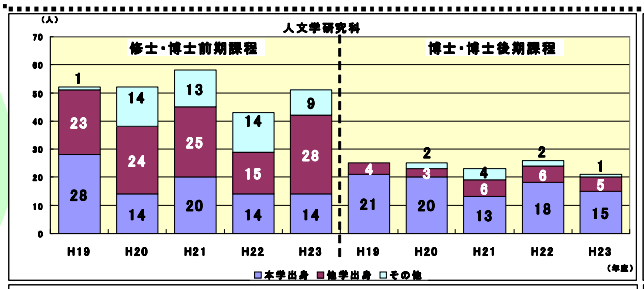


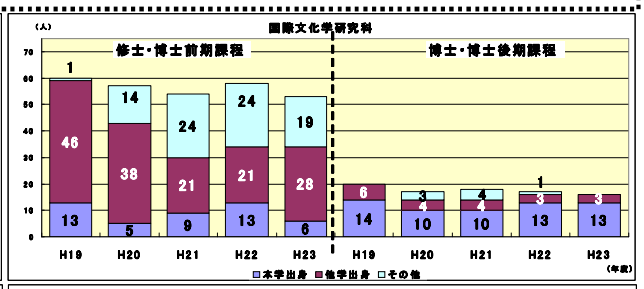


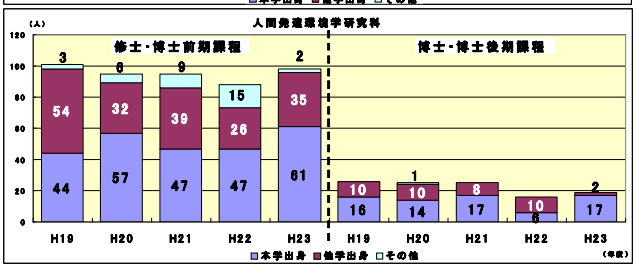
教育

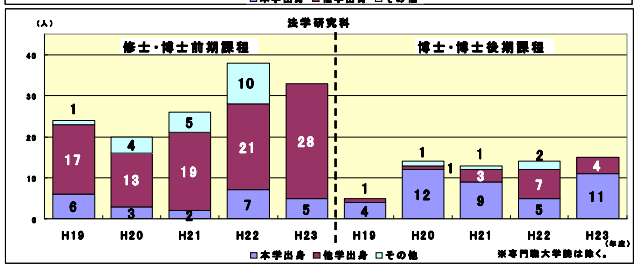
7. 大学院入学状況（研究科別・出身大学別）

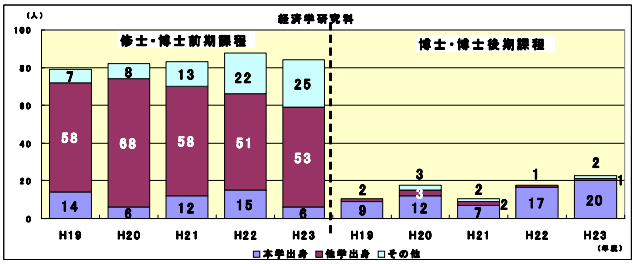
文系研究科においては、他大学出身の学生が多いのに対して、理系研究科においては本学出身の学生が多い。また、博士前期課程と博士後期課程を比較しても同様の傾向が見られる。

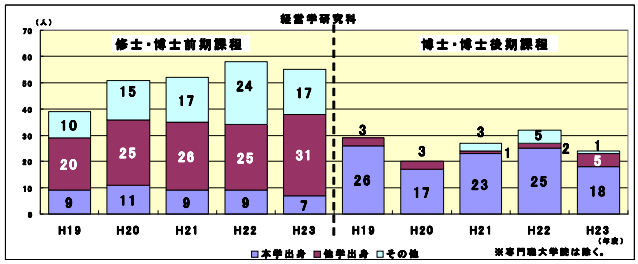




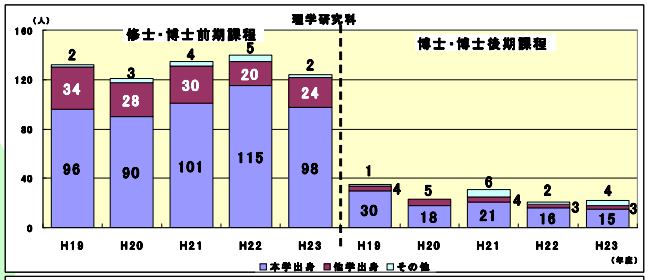


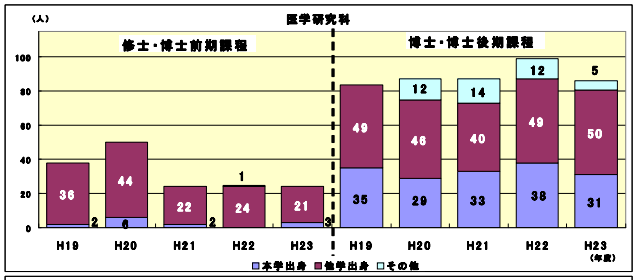


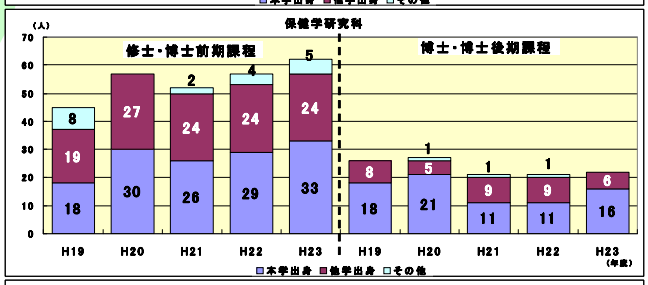


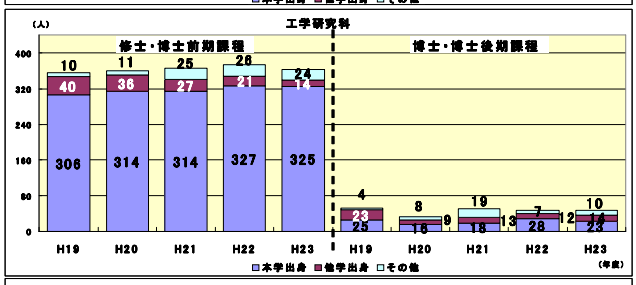


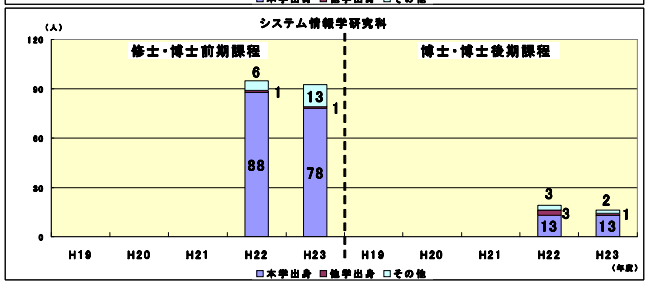
※専門職大学院は除く。

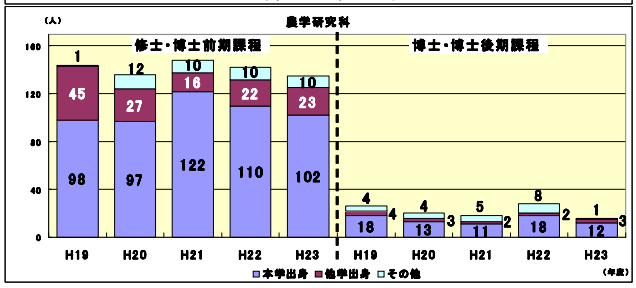

理学研究科
修士・博士前期課程
博士・博士後期課程
(人)
H19 H20 H21 H22 H23 H19 H20 H21 H22 H23
(年度)
本学出身 他学出身 その他


医学研究科
修士・博士前期課程
博士・博士後期課程
(人)
H19 H20 H21 H22 H23 H19 H20 H21 H22 H23
(年度)
本学出身 他学出身 その他

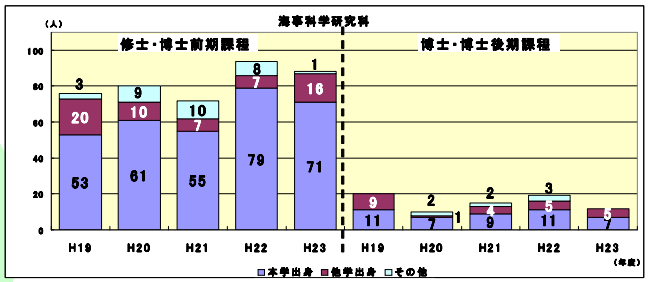

保健学研究科
修士・博士前期課程
博士・博士後期課程
(人)
H19 H20 H21 H22 H23 H19 H20 H21 H22 H23
(年度)
本学出身 他学出身 その他

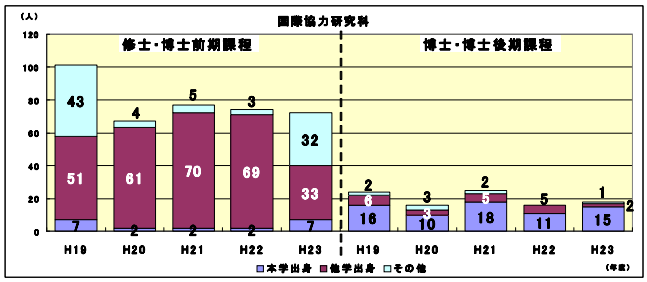

工学研究科
修士・博士前期課程
博士・博士後期課程
(人)
H19 H20 H21 H22 H23 H19 H20 H21 H22 H23
(年度)
本学出身 他学出身 その他


システム情報学研究科
修士・博士前期課程
博士・博士後期課程
(人)
H19 H20 H21 H22 H23 H19 H20 H21 H22 H23
(年度)
本学出身 他学出身 その他


農学研究科
修士・博士前期課程
博士・博士後期課程
(人)
H19 H20 H21 H22 H23 H19 H20 H21 H22 H23
(年度)
本学出身 他学出身 その他

教育

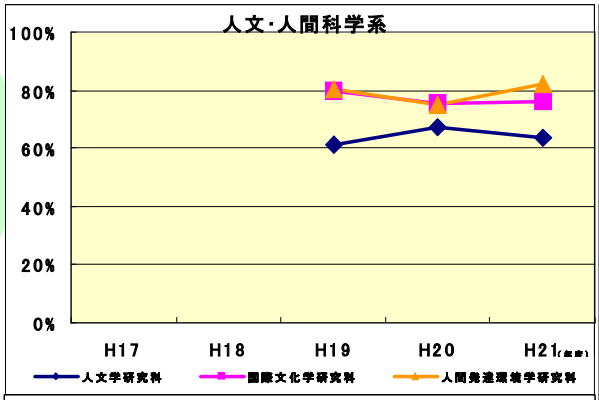

海事科学研究科
修士・博士前期課程
博士・博士後期課程
(人)
H19 H20 H21 H22 H23 H19 H20 H21 H22 H23
(年度)
本学出身 他学出身 その他

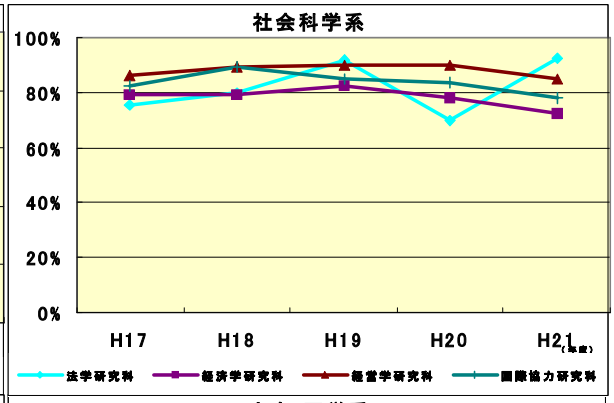

国際協力研究科
修士・博士前期課程
博士・博士後期課程
(人)
H19 H20 H21 H22 H23 H19 H20 H21 H22 H23
(年度)
本学出身 他学出身 その他

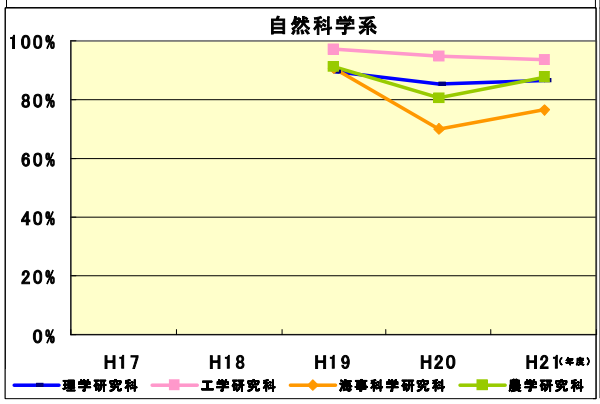
教育

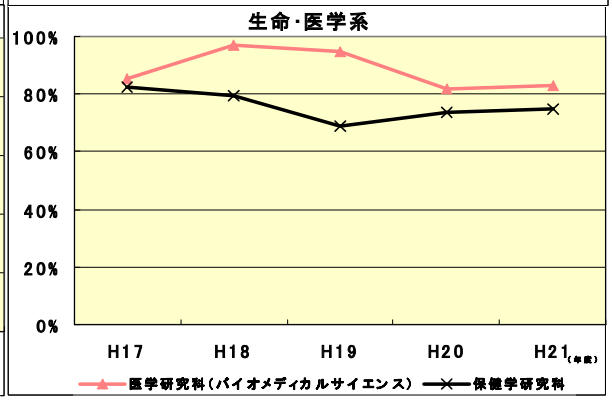
8. 学位授与状況（授与率）※学士課程を除く

◆神戸大学◆修士・博士前期課程（入学年度別学位取得者の割合）





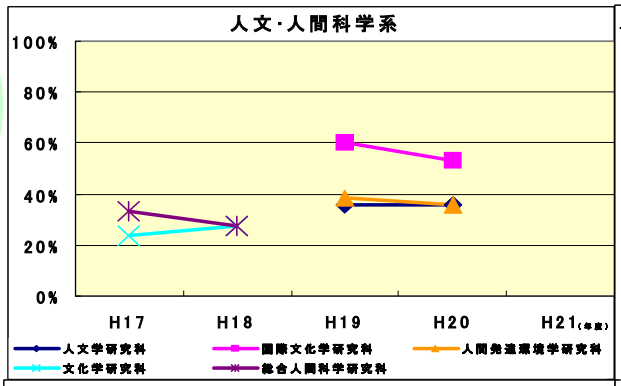


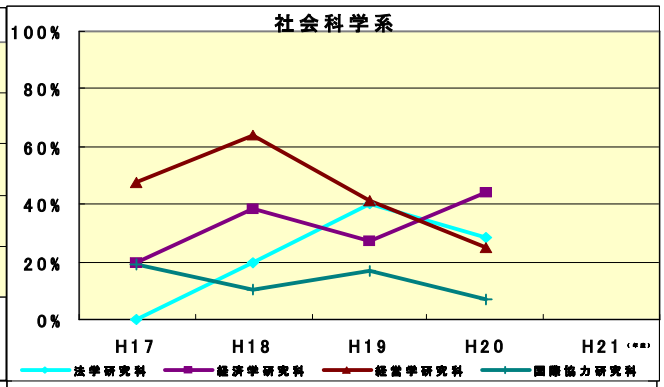


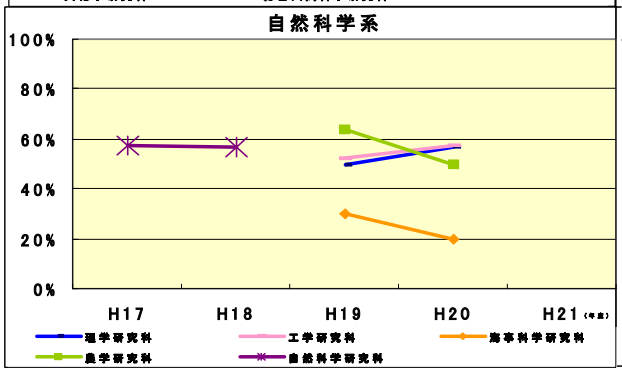
教育

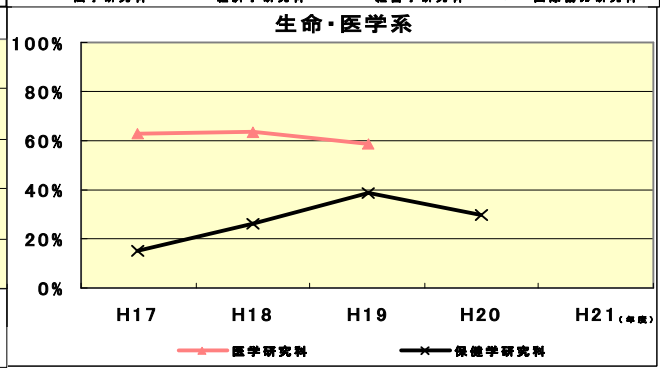
対象人数が少ないのでデータにばらつきはあるものの、博士・博士後期課程での学位授与率は0%～65%で推移している。

◆神戸大学◆博士・博士後期課程（入学年度別学位取得者の割合）



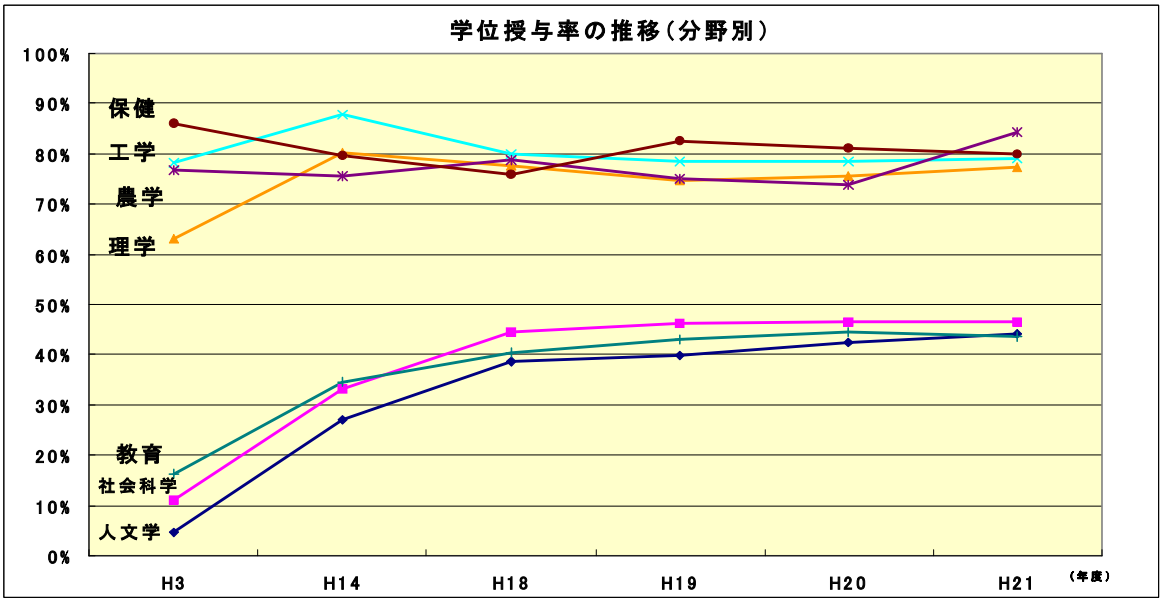






長期的な視野で分野別に授与率の推移を見ると、学位授与率の低かった人文学・社会科学・教育学の分野において、平成3年度の設置基準改正に伴う授与率の増加が見てとれる。

◆全　国◆(当該年度の課程博士授与率)



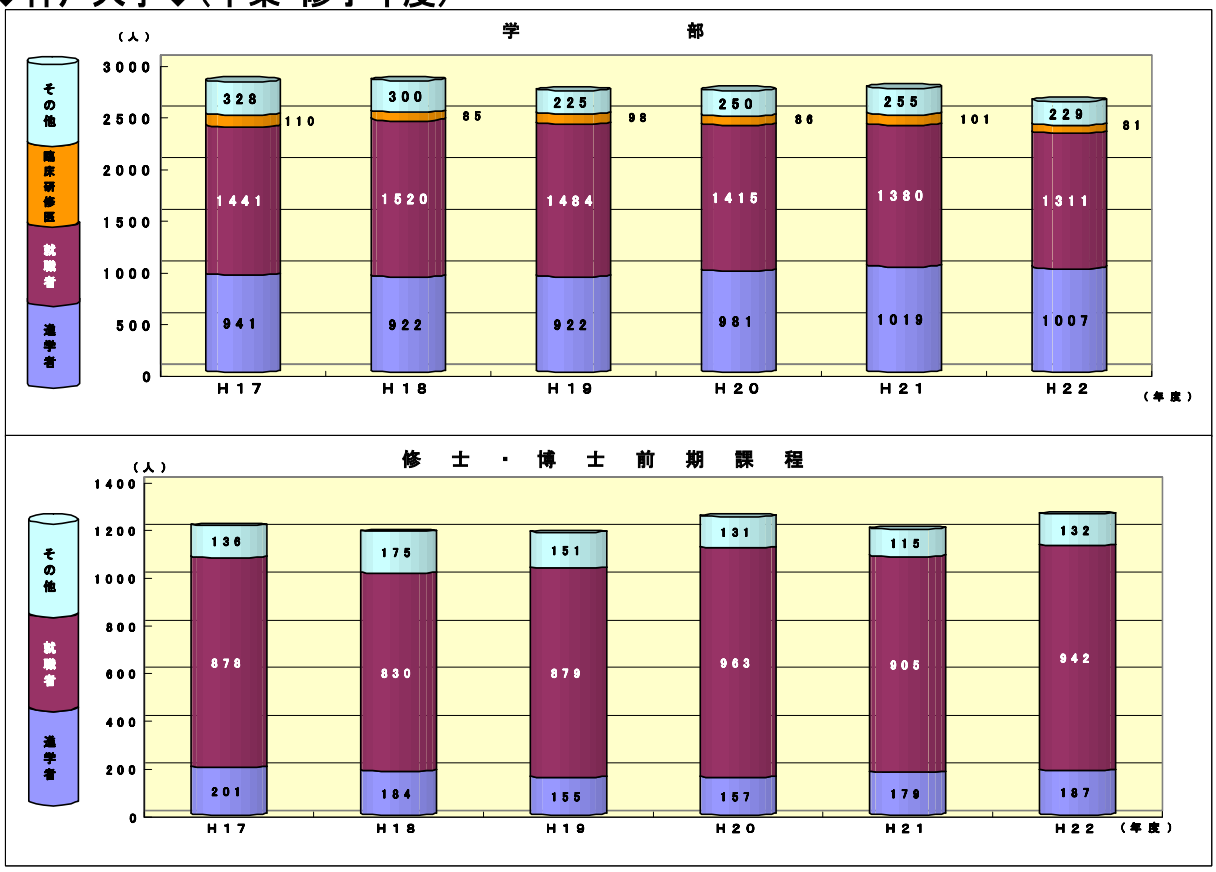
出典　文部科学省 「各大学院における「大学院教育振興施策要綱」に関する取組の調査結果について」より作成

教育

教育

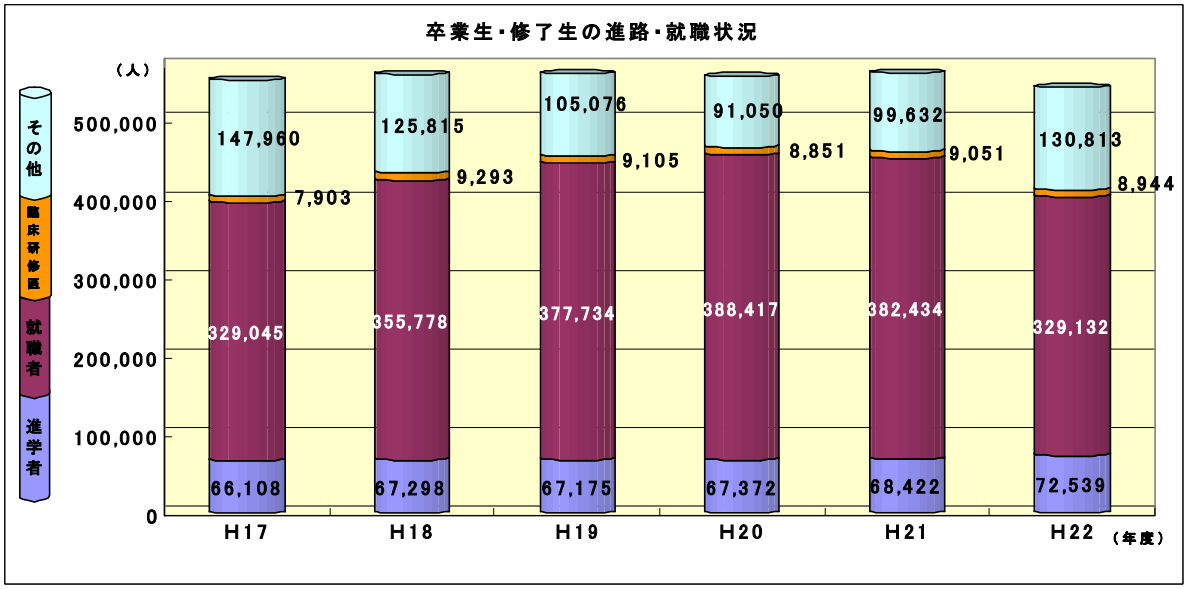
9. 卒業生・修了生の進路・就職状況

◆神戸大学◆（卒業・修了年度）



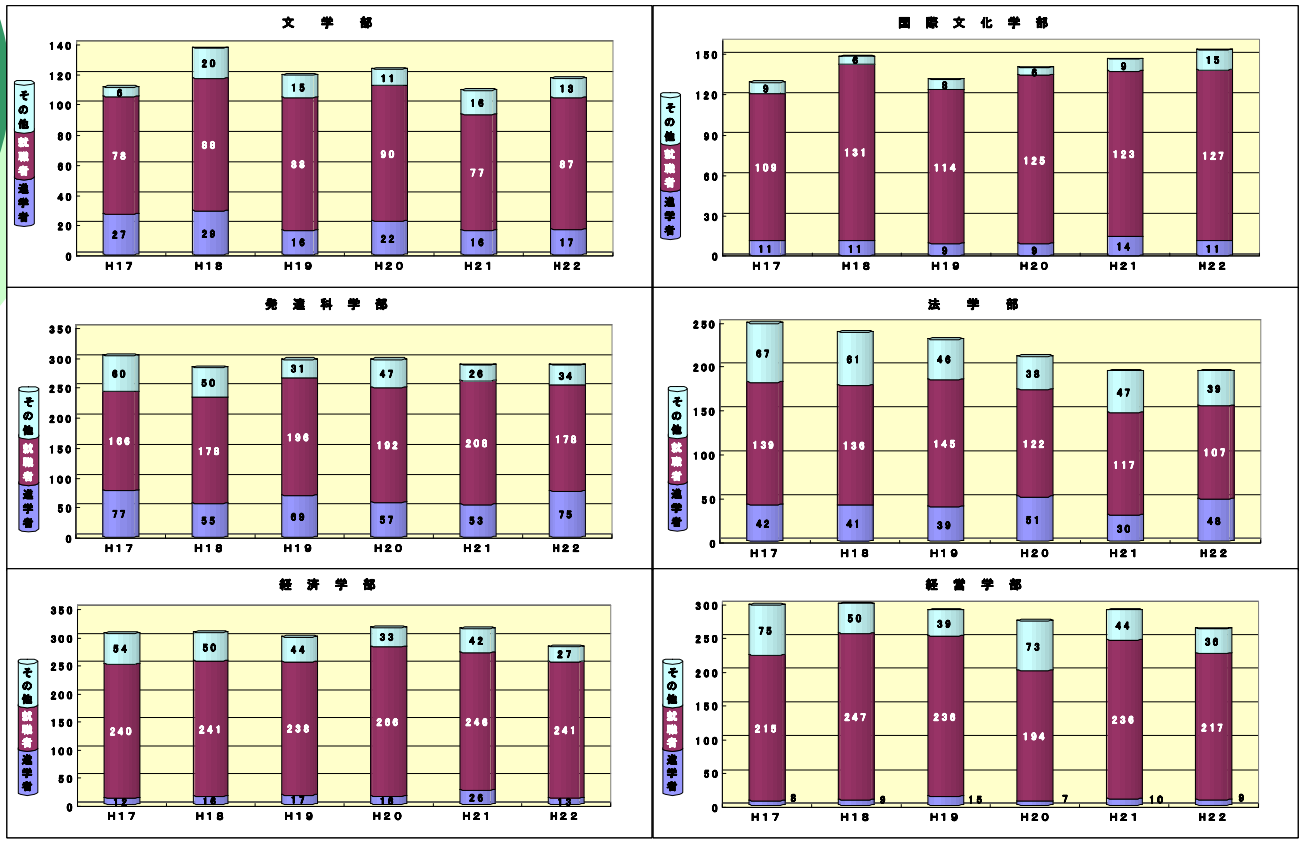
教育

◆全　国◆



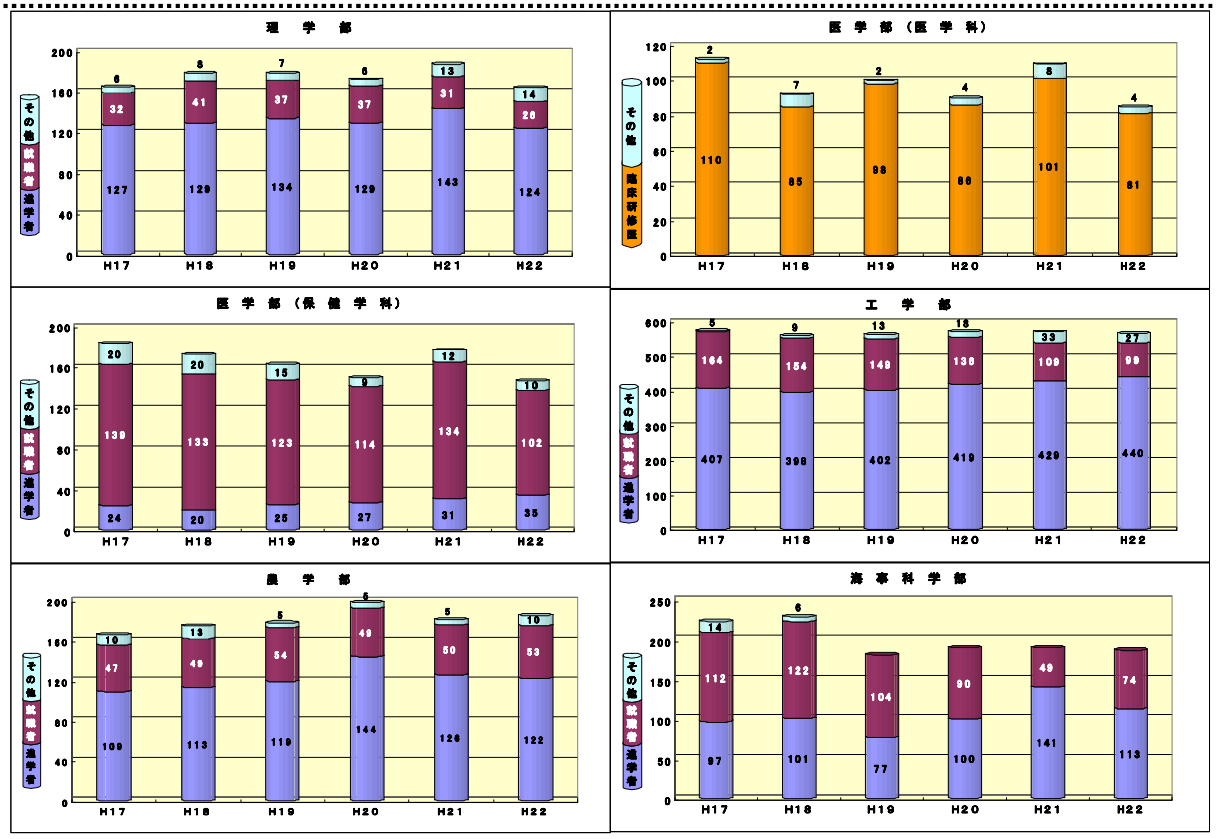
※出典：文部科学省　学校基本調査より作成

9. 【参考】卒業生・修了生の進路・就職状況【学部別】



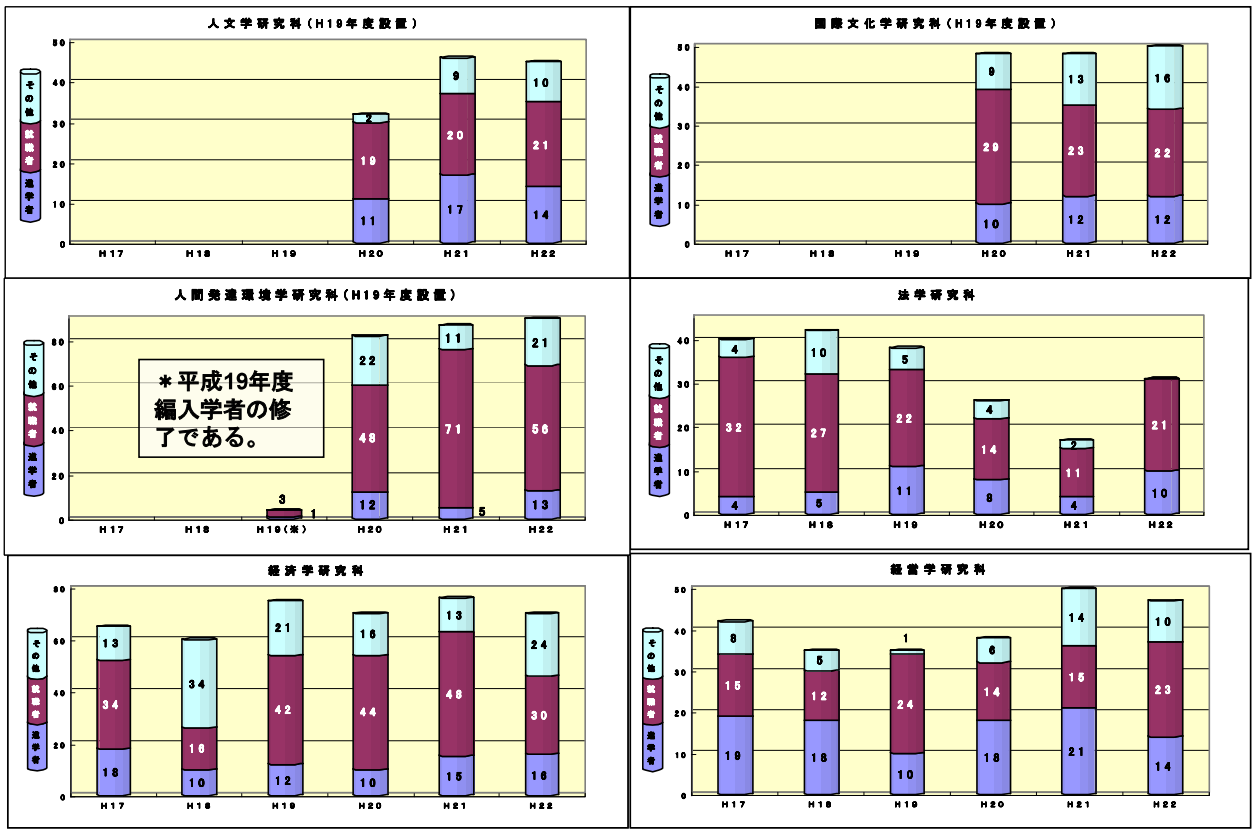
学部を見ても、文系学部では全体的に就職する学生が多いのに対して、理系では医学や海事を除き、進学する学生が多い。平成20年度以降を見ると、特に工学部では就職者数が減少し、進学者数が増加している。

教育



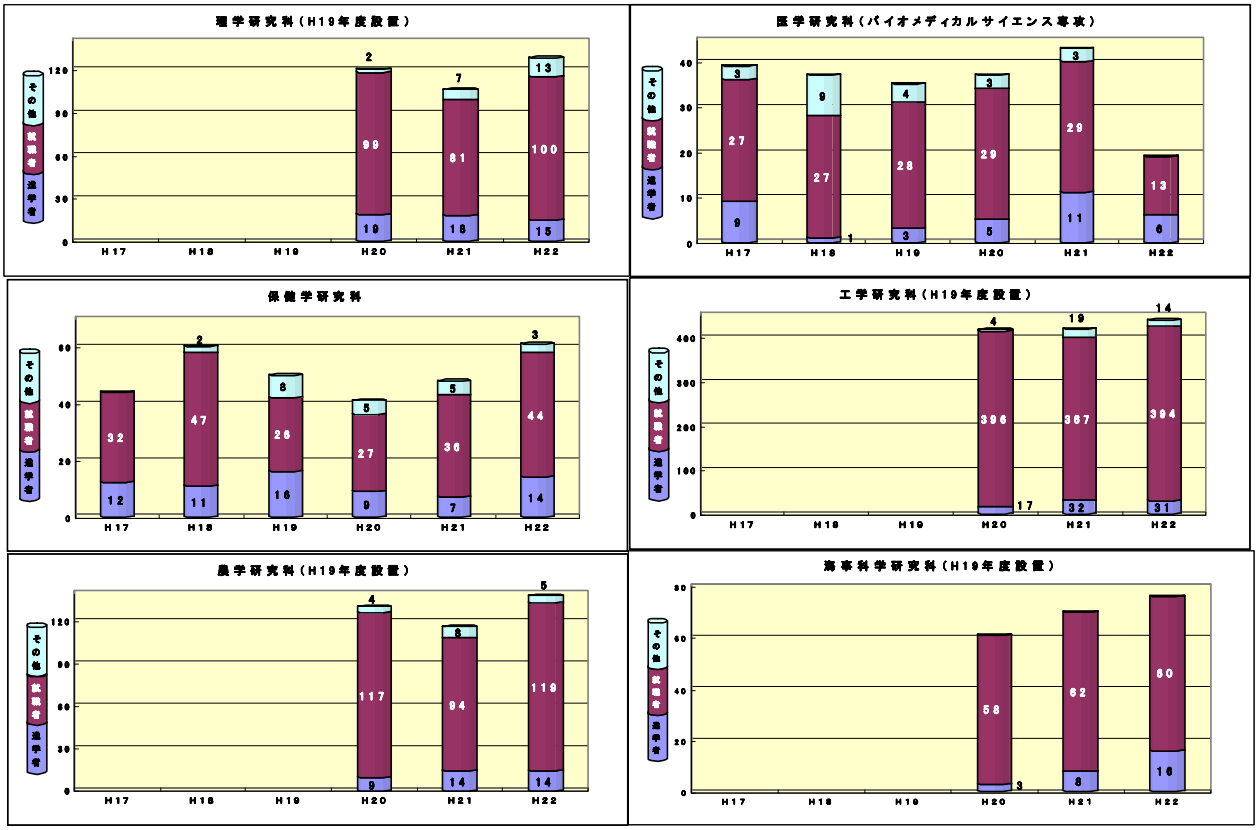
教育

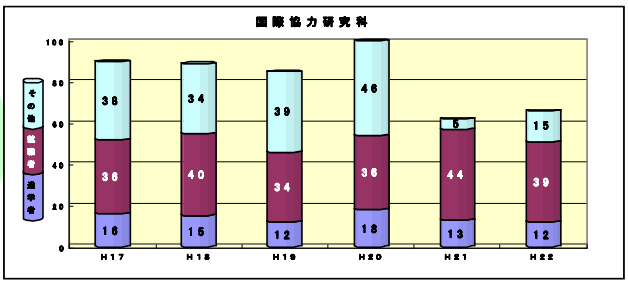
9. 【参考】卒業生・修了生の進路・就職状況【修士・博士前期課程：研究科別】



教育

文系においては、学士課程を卒業後、就職する傾向にあるが、修士・博士前期課程においては、進学する傾向にある。また、理系においては、学士課程を卒業後、大学院に進学する傾向にあるが、修士・博士前期課程においては、就職する傾向にある。





〈トピックス①就職支援〉
神戸大学　東京オフィス

平成23年１月７日
リニューアルオープン

○平成16年4月15日からスタートし、平成23年1月7日に整備・拡充してリニューアルしました。

○パソコン（3台）・プリンター・コピーなども利用可能な上に、就職活動の学生にも便利なスーツに着替えられるフィッティングスペースも設置されています。

〒100-0005　東京都千代田区丸の内3-1-1（帝国劇場ビル地下1階）

Tel.03-6269-9130　Fax：03-3214-4227

月～金　9：00～19：00（土日祝日を除く）

JR山手線有楽町駅より徒歩3分
東京メトロ有楽町線有楽町駅より徒歩1分
都営三田線日比谷駅より徒歩1分
東京メトロ千代田線日比谷駅より徒歩3分

http://www.kobe-u.ac.jp/info/tokyo-office/

教育

10. 司法試験合格状況

【合格者数推移（上位20大学）】

	H18		H19		H20		H21		H22		H23	
順位	大学名	合格者	大学名	合格者	大学名	合格者	大学名	合格者	大学名	合格者	大学名	合格者
1	中央大	131	東京大	178	東京大	200	東京大	216	東京大	201	東京大	210
2	東京大	120	慶應義塾大	173	中央大	196	中央大	162	中央大	189	中央大	176
3	慶應義塾大	104	中央大	153	慶應義塾大	165	慶應義塾大	147	慶應義塾大	179	京都大	172
4	京都大	87	京都大	135	早稲田大	130	京都大	145	京都大	135	慶應義塾大	164
5	一橋大	44	早稲田大	115	京都大	100	早稲田大	124	早稲田大	130	早稲田大	138
6	明治大	43	明治大	80	明治大	84	明治大	96	明治大	85	明治大	90
7	神戸大	40	立命館大	62	一橋大	78	一橋大	83	大阪大	70	一橋大	82
8	同志社大	35	一橋大	61	神戸大	70	神戸大	73	一橋大	69	神戸大	69
9	関西学院大	28	同志社大	57	同志社大	59	北海道大	63	北海道大	62	同志社大	65
10	立命館大	27	北海道大	48	東北大	59	立命館大	60	東北大	58	東北大	54
11	北海道大	26	東北大	47	立命館大	59	大阪大	52	同志社大	55	大阪大	49
12	法政大	23	神戸大	46	関西学院大	51	九州大	46	神戸大	49	北海道大	48
13	東北大	20	名古屋大	41	上智大	50	同志社大	45	名古屋大	49	名古屋大	43
14	大阪市立大	18	千葉大	40	大阪大	49	上智大	40	立命館大	47	九州大	42
15	関西大	18	上智大	40	首都大東京	39	名古屋大	40	九州大	46	立命館大	40
16	名古屋大	17	関西学院大	39	関西大	38	関西学院大	37	関西学院大	37	上智大	39
17	東京都立大	17	大阪大	32	九州大	38	関西大	35	上智大	33	首都大東京	38
18	上智大	17	関西大	32	千葉大	34	首都大東京	34	関西大	32	関西大	35
19	千葉大	15	大阪市立大	31	大阪市立大	33	東北大	30	大阪市立大	31	法政大	31
20	学習院大	15	九州大	29	北海道大	33	法政大	25	首都大東京	30	大阪市立大	30
全体	1,009		1,455		1,466		1,406		1,233		1,147	

※出典：法務省 「平成23年度新司法試験の結果について」より作成

教育

【合格率推移（上位20大学）】

（人）

	H18		H19		H20		H21		H22		H23	
1	島根大	100.0%	千葉大	64.5%	一橋大	61.4%	一橋大	62.9%	慶應義塾大	50.4%	一橋大	57.7%
2	一橋大	83.0%	京都大	64.0%	慶應義塾大	56.5%	東京大	55.5%	一橋大	50.0%	京都大	54.6%
3	愛知大	72.2%	慶應義塾大	63.8%	中央大	55.7%	京都大	50.3%	東京大	48.9%	東京大	50.5%
4	東京大	70.6%	一橋大	63.5%	神戸大	54.7%	神戸大	49.0%	京都大	48.7%	慶應義塾大	48.0%
5	大阪市立大	69.2%	名古屋大	63.1%	東京大	54.6%	愛知大	48.8%	千葉大	43.5%	神戸大	46.6%
6	北海道大	68.4%	東京大	58.6%	首都大東京	49.4%	慶應義塾大	46.4%	北海道大	43.1%	千葉大	39.2%
7	京都大	67.4%	中央大	52.4%	千葉大	49.3%	中央大	43.4%	中央大	43.1%	中央大	38.2%
8	神戸大	64.5%	早稲田大	51.6%	東北大	46.5%	北海道大	40.4%	大阪大	38.9%	早稲田大	31.9%
9	慶應義塾大	63.4%	創価大	51.3%	愛知大	45.7%	首都大東京	39.1%	東北大	36.5%	東北大	31.8%
10	早稲田大	63.2%	神戸大	50.5%	上智大	41.7%	千葉大	37.5%	名古屋大	35.3%	首都大東京	31.7%
11	名古屋大	60.7%	北海道大	49.0%	京都大	41.5%	大阪大	33.5%	神戸大	34.0%	名古屋大	31.6%
12	福岡大	60.0%	東北大	49.0%	大阪市立大	40.2%	名古屋大	33.3%	早稲田大	32.7%	岡山大	31.5%
13	創価大	57.1%	大阪大	43.8%	大阪大	38.6%	早稲田大	32.6%	愛知大	31.8%	北海道大	30.0%
14	千葉大	55.6%	琉球大	43.8%	成蹊大	37.8%	明治大	31.0%	金沢大	31.5%	大阪大	28.7%
15	中央大	54.8%	岡山大	43.5%	早稲田大	37.7%	南山大	30.5%	首都大東京	29.7%	北海学園大	27.0%
16	山梨学院大	54.5%	大阪市立大	43.1%	横浜国立大	36.9%	北海学園大	29.2%	山梨学院大	27.5%	南山大	26.3%
17	九州大	53.8%	福岡大	42.9%	広島大	36.5%	上智大	27.8%	九州大	26.3%	大阪市立大	25.0%
18	南山大	50.0%	上智大	42.6%	九州大	36.2%	九州大	26.4%	大阪市立大	26.1%	明治大	24.0%
19	新潟大	50.0%	首都大東京	40.6%	神戸学院大	33.3%	山梨学院大	26.1%	筑波大	25.6%	同志社大	23.5%
20	横浜国立大	50.0%	明治大	40.0%	名古屋大	32.7%	横浜国立大	25.3%	明治大	25.4%	金沢大	23.4%
20	近畿大	50.0%										
20	白鴎大	50.0%										
20	西南学院大	50.0%										
20	金沢大	50.0%										
20	國學院大	50.0%										

※出典：法務省 「平成23年度新司法試験の結果について」より作成

合格率は、常に50%前後を確保している。

教育

10. 【参考】司法試験合格状況（修了後翌年度に合格した割合）

新司法試験【既修】

	平成18年度			平成19年度			平成20年度			平成21年度			平成22年度			平成23年度		
	大学名	合格者	合格率	大学名	合格者	合格率	大学名	合格者	合格率	大学名	合格者	合格率	大学名	合格者	合格率	大学名	合格者	合格率
1	島根大学	1	100.0%	大阪学院大学	1	100.0%	神戸学院大学	1	100.0%	愛知大学	10	83.3%	静岡大学	1	100.0%	岡山大学	1	100.0%
2	一橋大学	44	83.0%	関東学院大学	1	100.0%	大阪大学	12	80.0%	広島修道大学	3	75.0%	中京大学	1	100.0%	熊本大学	1	100.0%
3	愛知大学	13	72.2%	九州大学	2	100.0%	一橋大学	51	76.1%	早稲田大学	9	75.0%	創価大学	5	83.3%	名城大学	1	100.0%
4	東京大学	120	70.6%	獨協大学	1	100.0%	中央大学	143	74.5%	一橋大学	53	74.6%	早稲田大学	4	80.0%	京都大学	101	71.6%
5	大阪市立大学	18	69.2%	南山大学	3	100.0%	早稲田大学	16	72.7%	東京大学	130	69.9%	名城大学	3	75.0%	東京大学	123	71.1%
6	北海道大学	26	68.4%	大阪大学	6	85.7%	慶應義塾大学	117	70.5%	京都大学	95	69.9%	大阪大学	21	67.7%	一橋大学	45	70.3%
7	京都大学	87	67.4%	早稲田大学	8	80.0%	愛知大学	7	70.0%	広島大学	4	66.7%	一橋大学	48	67.6%	愛知大学	4	66.7%
8	神戸大学	40	64.5%	名古屋大学	15	75.0%	岡山大学	2	66.7%	中央大学	119	66.1%	駒澤大学	2	66.7%	神戸大学	39	63.9%
9	慶應義塾大学	104	63.4%	京都大学	95	70.9%	九州大学	4	66.7%	名古屋大学	11	64.7%	京都大学	92	66.2%	慶應義塾大学	96	60.8%
10	早稲田大学	12	63.2%	慶應義塾大学	106	67.5%	首都大学東京	26	65.0%	慶應義塾大学	98	62.8%	東京大学	123	64.7%	早稲田大学	9	56.3%
11	名古屋大学	17	60.7%	広島修道大学	2	66.7%	東京大学	119	64.7%	北海道大学	33	62.3%	山梨学院大学	7	63.6%	首都大学東京	21	51.2%
12	福岡大学	3	60.0%	東京大学	115	63.2%	名古屋大学	12	63.2%	神戸大学	46	62.2%	慶應義塾大学	98	63.2%	千葉大学	13	50.0%
13	創価大学	8	57.1%	中央大学	89	61.0%	神戸大学	35	61.4%	大阪大学	21	61.8%	名古屋大学	12	63.2%	中央大学	93	49.5%
14	千葉大学	15	55.6%	東北大学	29	60.4%	広島大学	3	60.0%	新潟大学	3	60.0%	北海道大学	28	58.3%	創価大学	3	42.9%
15	中央大学	131	54.8%	一橋大学	37	56.9%	千葉大学	22	53.7%	横浜国立大学	6	60.0%	中央大学	115	56.1%	大阪大学	15	41.7%
16	山梨学院大学	6	54.5%	千葉大学	18	56.3%	東北大学	27	52.9%	首都大学東京	23	57.5%	愛知学院大学	1	50.0%	名古屋大学	8	40.0%
17	九州大学	7	53.8%	大阪市立大学	20	54.1%	京都大学	69	52.7%	創価大学	4	57.1%	近畿大学	1	50.0%	北海道大学	14	31.1%
18	金沢大学	1	50.0%	神戸大学	30	50.8%	明治大学	46	50.5%	千葉大学	16	53.3%	千葉大学	11	50.0%	明治大学	26	29.2%
19	近畿大学	3	50.0%	神奈川大学	1	50.0%	香川大学	1	50.0%	香川大学	1	50.0%	神戸大学	29	46.0%	九州大学	11	28.9%
20	國學院大学	1	50.0%	國學院大学	1	50.0%	熊本大学	1	50.0%	神戸学院大学	1	50.0%	大阪市立大学	14	43.8%	東北大学	13	27.1%
21	西南学院大学	2	50.0%	西南学院大学	1	50.0%	南山大学	5	50.0%	福岡大学	1	50.0%	東北大学	20	42.6%	大阪市立大学	8	25.8%
22	南山大学	5	50.0%	創価大学	4	50.0%	北海学園大学	2	50.0%	名城大学	2	50.0%	九州大学	21	41.2%	東洋大学	2	25.0%
23	新潟大学	5	50.0%	福岡大学	1	50.0%	山梨学院大学	4	50.0%	山梨学院大学	7	46.7%	岡山大学	2	40.0%	山梨学院大学	1	25.0%
24	白鴎大学	3	50.0%	北海道大学	25	50.0%	上智大学	25	47.2%	南山大学	5	45.5%	神奈川大学	2	40.0%	上智大学	11	20.4%
25	横浜国立大学	5	50.0%	上智大学	20	48.8%	大阪市立大学	14	46.7%	北海学園大学	3	42.9%	横浜国立大学	2	40.0%	同志社大学	15	18.3%
26	大阪大学	10	47.6%	成蹊大学	7	43.8%	北海道大学	21	44.7%	九州大学	16	42.1%	上智大学	19	38.0%	学習院大学	4	18.2%
27	東北大学	20	47.6%	首都大学東京	18	42.9%	立命館大学	37	43.0%	明治大学	41	41.8%	明治大学	25	37.9%	成蹊大学	2	18.2%
28	明治大学	43	45.3%	明治大学	38	39.2%	横浜国立大学	6	42.9%	大阪市立大学	13	39.4%	関西学院大学	8	34.8%	立命館大学	14	18.2%
29	明治学院大学	8	44.4%	立命館大学	33	38.8%	久留米大学	2	40.0%	立命館大学	31	37.8%	首都大学東京	14	34.1%	関西大学	7	17.5%
30	成蹊大学	11	44.0%	甲南大学	2	28.6%	創価大学	5	38.5%	大阪学院大学	1	33.3%	広島大学	1	33.3%	横浜国立大学	2	15.4%

教育

未修者の受験者も、卒業した後すぐに受験した修了生の合格率が平成23年度を見ても比較的高い。

新司法試験【未修】

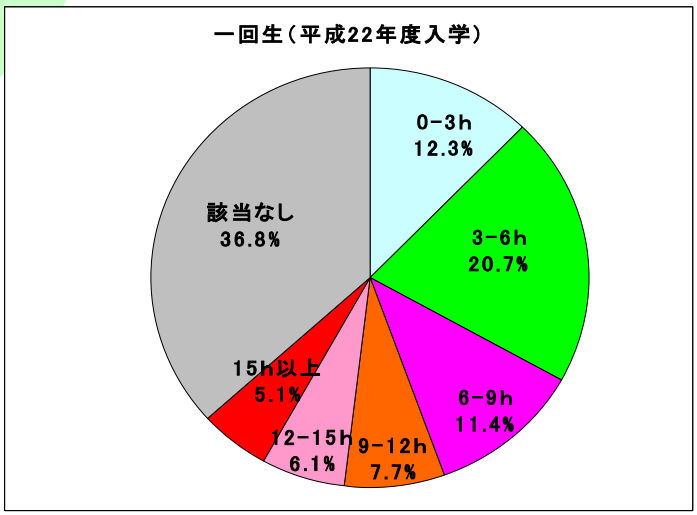
	平成19年度			平成20年度			平成21年度			平成22年度			平成23年度		
	大学名	合格者	合格率	大学名	合格者	合格率	大学名	合格者	合格率	大学名	合格者	合格率	大学名	合格者	合格率
1	千葉大学	16	88.9%	千葉大学	5	62.5%	一橋大学	17	68.0%	慶應義塾大学	30	46.2%	一橋大学	12	52.2%
2	一橋大学	17	73.9%	愛知大学	6	54.5%	熊本大学	4	50.0%	筑波大学	8	44.4%	北海学園大学	3	50.0%
3	慶應義塾大学	41	60.3%	東京大学	31	43.1%	東京大学	29	43.9%	千葉大学	7	43.8%	神戸大学	8	47.1%
4	名古屋大学	20	54.1%	成蹊大学	3	42.9%	北海道大学	16	43.2%	金沢大学	10	41.7%	岡山大学	16	45.7%
5	早稲田大学	104	50.5%	神戸学院大学	5	41.7%	千葉大学	3	42.9%	立教大学	12	41.4%	京都大学	18	43.9%
6	北海道大学	18	48.6%	岡山大学	9	40.9%	京都大学	16	38.1%	東北大学	9	40.9%	南山大学	13	41.9%
7	東京大学	38	48.1%	九州大学	27	38.0%	早稲田大学	79	37.8%	北海道大学	13	40.6%	早稲田大学	81	41.5%
8	創価大学	12	46.2%	神戸大学	11	37.9%	上智大学	12	36.4%	早稲田大学	74	40.2%	慶應義塾大学	20	40.8%
9	同志社大学	17	45.9%	一橋大学	11	37.9%	慶應義塾大学	22	36.1%	東京大学	26	36.1%	中央大学	27	36.0%
10	東北大学	13	44.8%	青山学院大学	9	37.5%	神戸大学	9	34.6%	大阪大学	18	33.3%	東京大学	22	33.3%
11	岡山大学	8	44.4%	大阪大学	26	37.1%	首都大学東京	4	33.3%	首都大学東京	6	33.3%	名古屋大学	14	32.6%
12	琉球大学	7	43.8%	早稲田大学	83	36.6%	北海学園大学	3	33.3%	名古屋大学	17	32.7%	金沢大学	8	32.0%
13	首都大学東京	5	41.7%	慶應義塾大学	23	35.9%	立教大学	7	33.3%	一橋大学	9	30.0%	大阪市立大学	7	31.8%
14	京都大学	17	41.5%	横浜国立大学	10	35.7%	愛知大学	6	27.3%	中央大学	17	28.8%	千葉大学	5	31.3%
15	神戸大学	7	41.2%	東北大学	13	34.2%	立命館大学	9	27.3%	愛知大学	4	28.6%	大阪大学	13	30.2%
16	神戸学院大学	3	37.5%	広島大学	8	33.3%	中京大学	4	26.7%	広島大学	8	27.6%	九州大学	11	28.2%
17	関西学院大学	16	37.2%	名古屋大学	17	32.7%	九州大学	18	26.5%	関東学院大学	3	27.3%	北海道大学	9	28.1%
18	大阪大学	21	36.8%	大阪市立大学	6	31.6%	名古屋大学	14	26.4%	九州大学	7	26.9%	愛知大学	3	27.3%
19	九州大学	24	36.4%	専修大学	2	28.6%	金沢大学	5	25.0%	神戸大学	5	26.3%	明治大学	18	26.9%
20	福岡大学	4	36.4%	南山大学	7	28.0%	近畿大学	5	25.0%	学習院大学	2	25.0%	創価大学	6	26.1%
21	上智大学	9	36.0%	大東文化大学	5	27.8%	中央大学	18	24.0%	山梨学院大学	2	22.2%	学習院大学	2	25.0%
22	明治大学	19	34.5%	中央大学	12	26.7%	岡山大学	5	23.8%	香川大学	3	21.4%	中京大学	2	25.0%
23	中央大学	19	33.9%	京都大学	12	25.0%	成蹊大学	4	23.5%	静岡大学	2	20.0%	名城大学	4	25.0%
24	香川大学	3	33.3%	福岡大学	5	25.0%	横浜国立大学	8	23.5%	信州大学	3	20.0%	山梨学院大学	3	25.0%
25	金沢大学	7	30.4%	名城大学	4	25.0%	明治大学	17	23.0%	北海学園大学	2	20.0%	琉球大学	3	23.1%
26	山梨学院大学	7	30.4%	関西学院大学	9	23.1%	桐蔭横浜大学	5	22.7%	立命館大学	6	20.0%	上智大学	8	22.9%
27	南山大学	6	30.0%	関西大学	7	22.6%	学習院大学	2	22.2%	中京大学	3	18.8%	甲南大学	5	22.7%
28	立教大学	8	29.6%	上智大学	7	22.6%	大阪大学	13	21.3%	同志社大学	6	18.8%	東北大学	7	22.6%
29	東洋大学	5	29.4%	熊本大学	3	21.4%	関東学院大学	3	20.0%	名城大学	3	18.8%	近畿大学	4	22.2%
30	横浜国立大学	6	28.6%	創価大学	6	21.4%	久留米大学	2	20.0%	京都大学	7	18.4%	静岡大学	3	21.4%

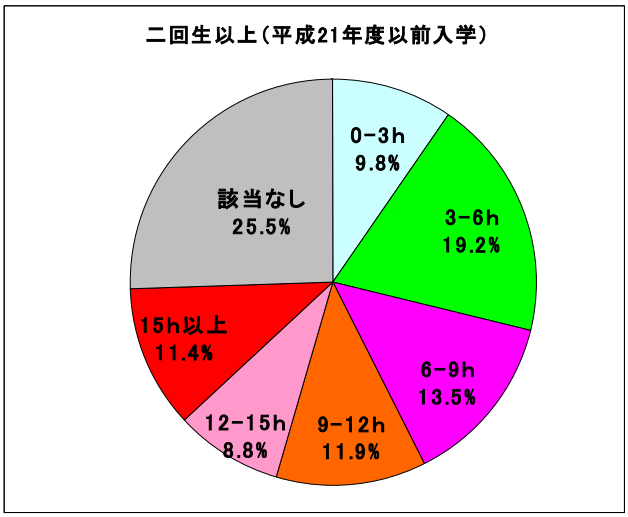
教育

11－1. 学生生活状況（就業時間・家庭収入）

○本学学部学生の入学年度別一週間あたりの就業時間割合

二回生以上になると就業の時間が増える傾向にある。特に15時間以上の割合をみると、2倍以上増加しており、自宅での学習時間に影響がでる可能性も考えられる。





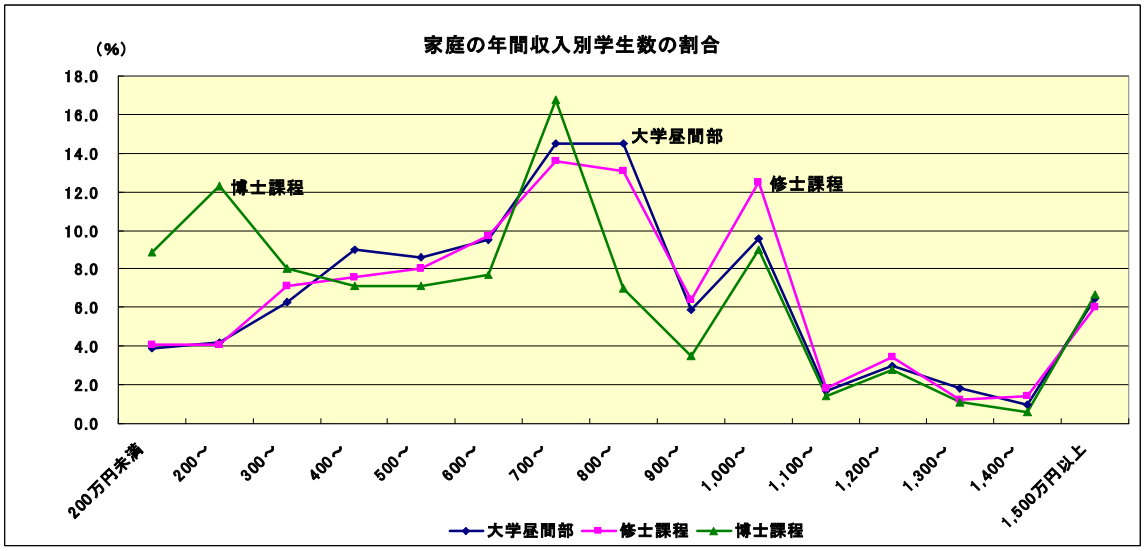
出典　平成22年度神戸大学学生生活実態調査より作成

教育

全体的に700～900万、1,000万～1,100万の収入がある家庭が多いが、博士課程においては他の課程に比べて200万円～300万の収入の家庭が多いという傾向が見られた。

※結婚等で独立の家庭を構成している場合は、その独立家庭の所得総額を記入している。

◆全　国◆

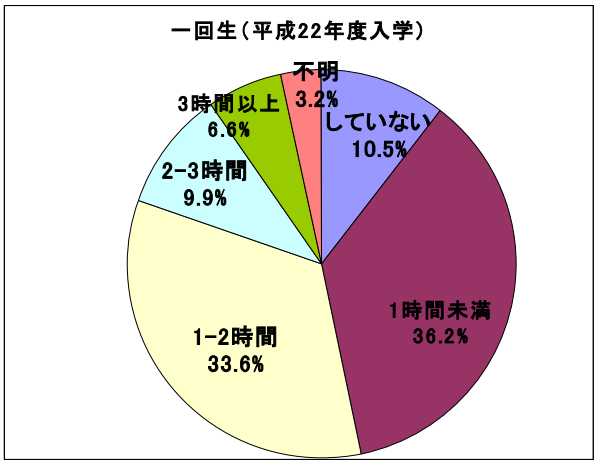


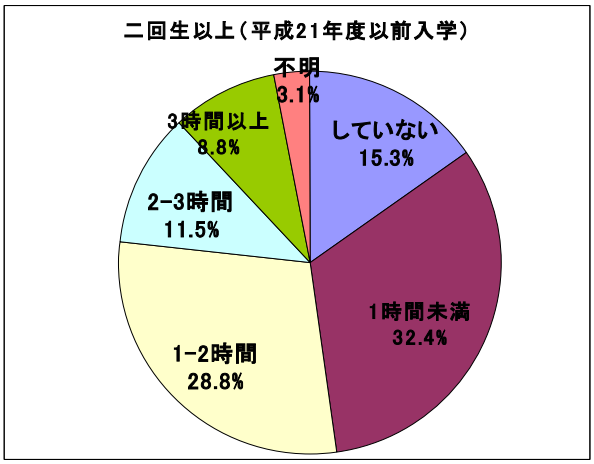
出典　JASSO「平成20年度学生生活調査結果」より作成

本学学部学生の学期中の平日一日当たりの学習時間

※なお、学習時間とは授業時間以外の学習時間を示す

いずれの学年においても「1時間未満」の比率が最も多い。一方、二回生以上の学生の方が勉強をしていない学生と2時間以上勉強する学生の割合がやや大きく、就学意欲の有無が明確になっていると言える。



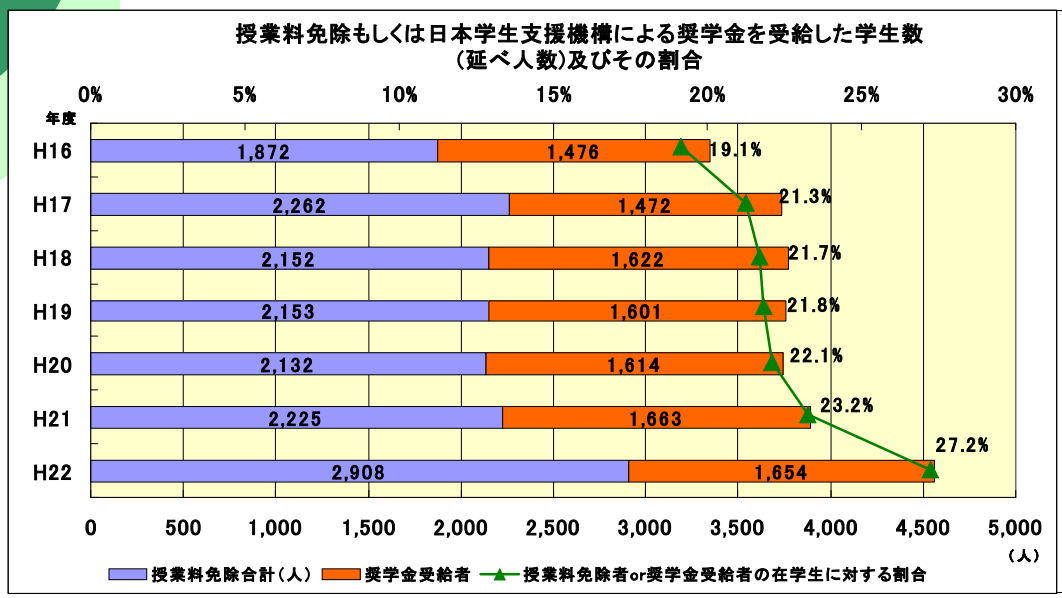


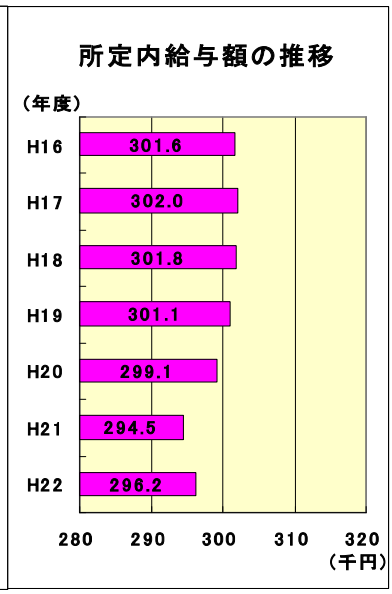
出典　平成22年度神戸大学学生生活実態調査より作成

11－2. 経済支援について

平均賃金は近年減少傾向であり、それに伴う形で本学においても授業料の免除や奨学金を受給する学生数は増加傾向となっている。本学では平成22年度より授業料免除について、半額免除枠を拡大させたことにより、多くの学生の経済的支援を実現している。

◆神戸大学◆





※なお、在学生に専門職大学院（MBA）の学生は含まない。

右図「所定内給与額の推移」:出典　厚生労働省　賃金センサス(賃金構造基本統計調査)より作成

12. 平成23年度科学研究費助成事業獲得状況

●新規採択率（奨励研究、研究成果公開促進費を除く。）

・神戸大学　33.4%　・全体　28.5%

・神戸大学の順位　**不明**（30位以下）

●新規採択件数（奨励研究、研究成果公開促進費を除く。）

・神戸大学　371件　・全体　26,170件

・神戸大学の順位　**11位**（23年度：11位、22年度：11位、21年度：12位）

●新規＋継続の採択件数（奨励研究、研究成果公開促進費を除く。）

・神戸大学　915件　・全体　63,739件

・神戸大学の順位　**11位**（23年度：11位、22年度：11位、21年度：11位）

●新規＋継続の配分額（直接経費のみ）（奨励研究、研究成果公開促進費を除く。）

・神戸大学　2,181,540千円　・全体　159,620,017千円

・神戸大学の順位　**12位**（23年度：12位、22年度：12位、21年度：12位）

●新規＋継続の配分額（直接経費＋間接経費）（奨励研究、研究成果公開促進費を除く。）

・神戸大学　2,824,092千円　・全体　206,544,041千円

・神戸大学の順位　**12位**（23年度：12位、22年度：12位、21年度：12位）

研究

◆平成23年度科学研究費助成事業獲得状況内訳◆

H23.10現在

種　目		採択件数	配分額（新規＋継続）			種　目		採択件数	配分額（新規＋継続）		
			直接経費（千円）	間接経費（千円）	合　計（千円）				直接経費（千円）	間接経費（千円）	合　計（千円）
特別推進研究	全体	79	6,244,100	1,873,230	8,117,330	挑戦的萌芽研究	全体	5,651	7,665,964	2,299,789	9,965,753
	本学	0	0	0	0		本学	90	127,000	38,100	165,100
	本学割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		本学割合	1.6%	1.7%	1.7%	1.7%
特定領域研究	全体	501	3,206,600	—	3,206,600	若手研究（S）	全体	107	1,352,100	405,630	1,757,730
	本学	5	39,700	—	39,700		本学	0	0	0	0
	本学割合	1.0%	1.2%	—	1.2%		本学割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
新学術領域研究	全体	2,456	21,679,750	6,503,925	28,183,675	若手研究（A）	全体	1,165	6,626,303	1,987,891	8,614,194
	本学	38	356,800	107,040	463,840		本学	15	66,800	20,040	86,840
	本学割合	1.5%	1.6%	1.6%	1.6%		本学割合	1.3%	1.0%	1.0%	1.0%
基盤研究(S)	全体	425	11,625,400	3,487,620	15,113,020	若手研究（B）	全体	15,274	17,922,189	5,376,657	23,298,846
	本学	4	94,900	28,470	123,370		本学	217	250,300	75,090	325,390
	本学割合	0.9%	0.8%	0.8%	0.8%		本学割合	1.4%	1.4%	1.4%	1.4%
基盤研究（A）	全体	1,940	18,059,800	5,417,940	23,477,740	研究活動ｽﾀｰﾄ支援	全体	1,640	1,799,779	539,934	2,339,713
	本学	32	258,100	77,430	335,530		本学	15	16,740	5,022	21,762
	本学割合	1.6%	1.4%	1.4%	1.4%		本学割合	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%
基盤研究（B）	全体	8,421	33,172,735	9,951,820	43,124,555	学術創成研究費	全体	18	1,208,300	362,490	1,570,790
	本学	148	572,200	171,660	743,860		本学	0	0	0	0
	本学割合	1.8%	1.7%	1.7%	1.7%		本学割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
基盤研究（C）	全体	26,062	29,056,997	8,717,099	37,774,096	合　計	全体	63,739	159,620,017	46,924,024	206,544,041
	本学	351	399,000	119,700	518,700		本学	915	2,181,540	642,552	2,824,092
	本学割合	1.3%	1.4%	1.4%	1.4%		本学割合	1.4%	1.4%	1.4%	1.4%

12.【参考】平成22年度科学研究費補助金獲得状況（ランキング）

研究者が所属する研究機関別　採択件数・配分額一覧（平成22年度　新規採択＋継続分）

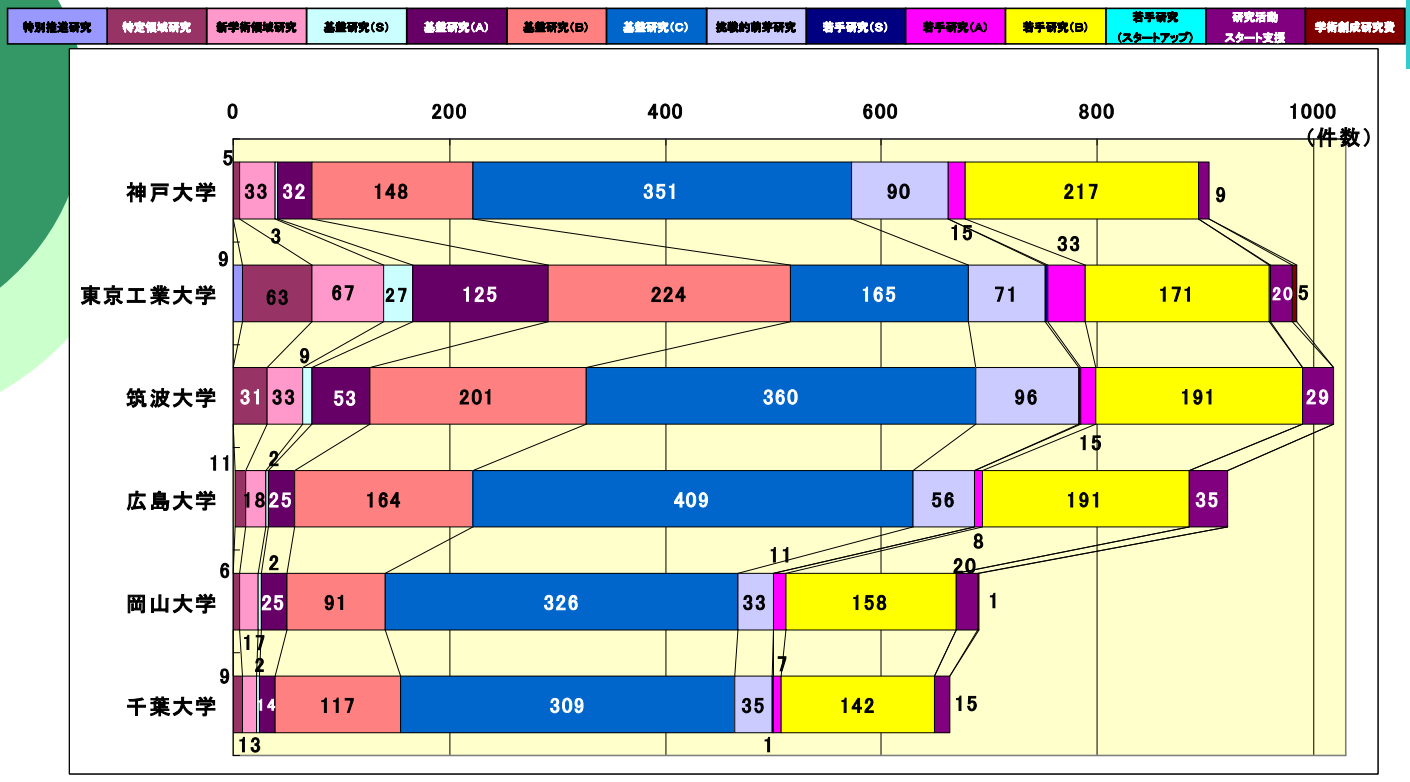
（金額単位：千円）

順位	機関名	採択件数	配分額	間接経費	合計	1件当たりの単価	順位	機関名	採択件数	配分額	間接経費	合計	1件当たりの単価	順位	機関名	採択件数	配分額	間接経費	合計	1件当たりの単価
1	東京大学	3,168	17,775,793	4,928,638	22,704,431	7,167	31	三重大学	296	534,200	145,980	680,180	2,298	61	東京海洋大学	83	172,550	50,865	223,415	2692
2	京都大学	2,508	10,657,235	2,833,939	13,491,174	5,379	32	岐阜大学	301	484,903	139,171	624,074	2,073	62	奈良女子大学	110	151,510	42,873	194,383	1767
3	大阪大学	2,182	8,567,330	2,298,249	10,865,579	4,980	33	名古屋工業大学	195	441,120	125,196	566,316	2,904	63	旭川医科大学	95	140,070	41,151	181,221	1908
4	東北大学	2,060	8,104,324	2,231,257	10,335,581	5,017	34	電気通信大学	194	418,840	123,342	542,182	2,795	64	東京学芸大学	97	138,500	39,810	178,310	1838
5	名古屋大学	1,397	4,934,170	1,286,901	6,221,071	4,453	35	山形大学	282	412,656	115,457	528,113	1,873	65	帯広畜産大学	55	132,790	37,497	170,287	3096
6	九州大学	1,536	4,800,670	1,331,091	6,131,761	3,992	36	弘前大学	254	409,570	115,041	524,611	2,065	66	和歌山大学	97	128,760	35,658	164,418	1695
7	北海道大学	1,466	4,672,278	1,258,884	5,931,162	4,046	37	鳥取大学	230	395,290	106,917	502,207	2,184	67	鳴門教育大学	39	116,536	34,361	150,897	3869
8	東京工業大学	770	3,943,470	1,057,731	5,001,201	6,495	38	埼玉大学	234	390,352	109,755	500,107	2,137	68	政策研究大学院大学	44	109,260	32,328	141,588	3218
9	筑波大学	1,025	2,556,979	690,444	3,247,423	3,168	39	山梨大学	253	389,680	108,774	498,454	1,970	69	北海道教育大学	72	95,090	28,317	123,407	1714
10	神戸大学	814	1,967,050	553,845	2,520,895	3,097	40	長岡技術科学大学	121	374,881	106,194	481,075	3,976	70	大阪教育大学	65	83,570	21,351	104,921	1614
11	広島大学	928	1,900,100	538,530	2,438,630	2,628	41	琉球大学	223	359,520	103,626	463,146	2,077	71	東京芸術大学	56	79,070	22,131	101,201	1807
12	岡山大学	685	1,683,590	487,527	2,171,117	3,170	42	九州工業大学	148	356,300	101,040	457,340	3,090	72	室蘭工業大学	55	75,100	21,120	96,220	1749
13	東京医科歯科大学	471	1,543,010	414,903	1,957,913	4,157	43	茨城大学	174	341,710	99,063	440,773	930	73	北見工業大学	42	68,600	19,830	88,430	2105
14	千葉大学	672	1,468,863	402,769	1,871,632	2,785	44	福井大学	225	345,140	93,672	438,812	19,946	74	筑波技術大学	42	67,850	19,635	87,485	2083
15	熊本大学	518	1,244,120	352,476	1,596,596	3,082	45	宮崎大学	217	334,703	91,861	426,564	1,966	75	兵庫教育大学	50	64,800	17,970	82,770	1655
16	金沢大学	605	1,178,460	329,508	1,507,968	2,493	46	京都工芸繊維大学	136	328,810	93,543	422,353	3,106	76	総合研究大学院大学	18	63,620	15,396	79,016	4390
17	新潟大学	536	926,543	268,483	1,195,026	2,230	47	香川大学	221	320,450	93,645	414,095	1,874	77	愛知教育大学	55	56,200	15,960	72,160	1312
18	長崎大学	470	920,810	260,313	1,181,123	2,513	48	島根大学	220	306,510	87,333	393,843	1,790	78	上越教育大学	46	54,950	16,305	71,255	1549
19	徳島大学	442	934,960	238,098	1,173,058	2,654	49	高知大学	215	304,665	86,329	390,994	1,819	79	福島大学	59	54,580	15,744	70,324	1192
20	愛媛大学	380	900,360	259,818	1,160,178	3,053	50	秋田大学	183	280,770	81,861	362,631	1,982	80	滋賀大学	59	53,800	15,450	69,250	1174
21	奈良先端科学技術大学院大学	208	911,850	220,305	1,132,155	5,443	51	浜松医科大学	156	274,520	72,726	347,246	2,226	81	京都教育大学	37	47,320	14,196	61,516	1663
22	東京農工大学	245	816,400	228,630	1,045,030	4,265	52	佐賀大学	192	267,230	71,859	339,089	1,766	82	福岡教育大学	40	39,760	11,448	51,208	1280
23	一橋大学	156	708,840	210,972	919,812	5,896	53	豊橋技術科学大学	125	259,160	73,188	332,348	2,659	83	鹿屋体育大学	23	38,800	11,190	49,990	2173
24	信州大学	391	705,407	200,372	905,779	2,317	54	東京外国語大学	108	239,176	71,033	310,209	2,872	84	宮城教育大学	36	38,380	10,914	49,294	1369
25	山口大学	389	675,756	194,597	870,353	2,237	55	大分大学	186	219,710	62,703	282,413	1,518	85	小樽商科大学	28	32,040	9,462	41,502	1482
26	静岡大学	302	642,650	180,285	822,935	2,725	56	岩手大学	138	216,720	62,496	279,216	2,023	86	奈良教育大学	32	29,600	8,880	38,480	1203
27	群馬大学	384	610,230	167,619	777,849	2,026	57	お茶の水女子大学	115	200,590	54,477	255,067	2,218							
28	富山大学	335	595,880	166,584	762,464	2,276	58	滋賀医科大学	118	191,863	52,609	244,472	2,072							
29	鹿児島大学	368	568,440	160,092	728,532	1,980	59	北陸先端科学技術大学院大学	87	188,480	53,334	241,814	2,779							
30	横浜国立大学	244	537,580	147,774	685,354	2,809	60	宇都宮大学	117	175,447	51,404	226,851	1,939							

※出典：文部科学省「平成22年度科学研究費補助金の配分について」より作成（国立大学のみ）

研究

12.【参考】平成22年度科学研究費補助金獲得状況
〈件数（新規＋継続）〉



※参考：東京工業大学・・・東京工業大学HPにおける平成22年度財務諸表より作成
筑波大学・・・筑波大学HP＞研究推進部研究企画課＞筑波大学研究データ集（平成22年度）より作成
広島大学・・・HP＞大学案内＞大学の概要＞外部資金受入れ状況＞外部資金受入れ状況（2011年）より作成。
岡山大学・・・岡山大学HP（http://www.okayama-u.ac.jp/up_load_files/soumu-pdf/2010gaiyoP49-50.pdf）より作成
千葉大学・・・千葉大学HP＞大学案内＞千葉大学データ＞平成22年度科学研究費補助金採択状況より作成。
※根拠資料の定義が異なるため、単純比較はできない。

研究

12.【参考】平成23年度科研費（補助金分・基金分）の配分について〈全体〉

	研究課題数			配分額（千円）	1課題あたりの配分額	
	応募（件）	採択（件）	採択率		平均（千円）	最高（千円）
科学研究費	133,078	64,421	48.4%	158,761,717	2,464	213,000
特別推進研究	170	79	46.5%	6,244,100	79,039	213,000
特定領域研究	599	501	83.6%	3,206,600	6,400	45,000
新学術領域研究（研究領域提案型）	6,952	2,378	34.2%	21,138,850	8,889	129,100
新学術領域研究（研究課題提案型）	78	78	100.0%	540,900	6,935	7,900
基盤研究（S）	850	425	50.0%	11,625,400	27,354	87,300
基盤研究（A）	3,562	1,940	54.5%	18,059,800	9,309	32,900
基盤研究（B）	15,983	8,421	52.7%	33,172,735	3,939	14,300
基盤研究（C）	48,621	26,062	53.6%	29,056,997	1,115	4,200
挑戦的萌芽研究	14,576	5,651	38.8%	7,665,964	1,357	3,400
若手研究（S）	108	107	99.1%	1,352,100	12,636	22,800
若手研究（A）	2,617	1,165	44.5%	6,626,303	5,688	21,700
若手研究（B）	31,183	15,274	49.0%	17,922,189	1,173	3,400
研究活動スタート支援	4,041	1,640	40.6%	1,799,779	1,097	1,500
奨励研究	3,738	700	18.7%	350,000	500	900
研究成果公開促進費	1,084	560	51.7%	1,280,990	2,287	26,900
特別研究員奨励費	6,651	6,651	100.0%	4,810,977	723	3,000
学術創成研究費	18	18	100.0%	1,208,300	67,128	89,500
合計	140,831	71,650	50.9%	166,061,984	2,318	213,000

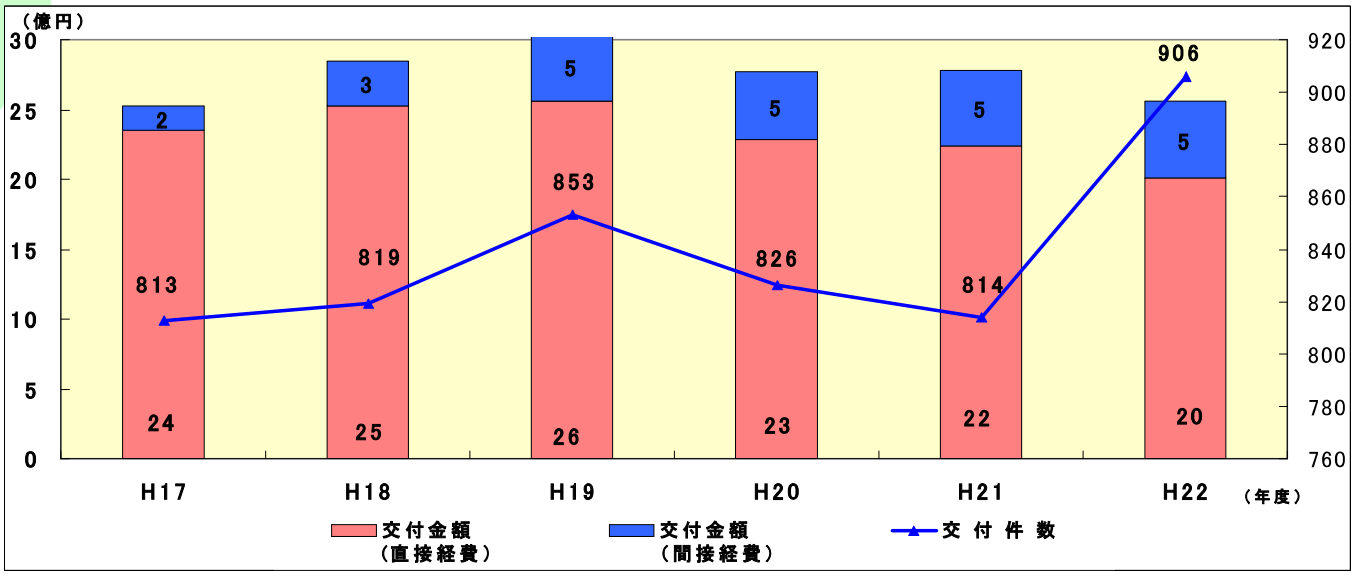
※出典：文部科学省「平成23年度科研費（補助金分・基金分）の配分について」より作成

研究

13. 科学研究費補助金獲得状況（推移）

交付件数は大幅に増加しているにもかかわらず、交付金額が減っている。

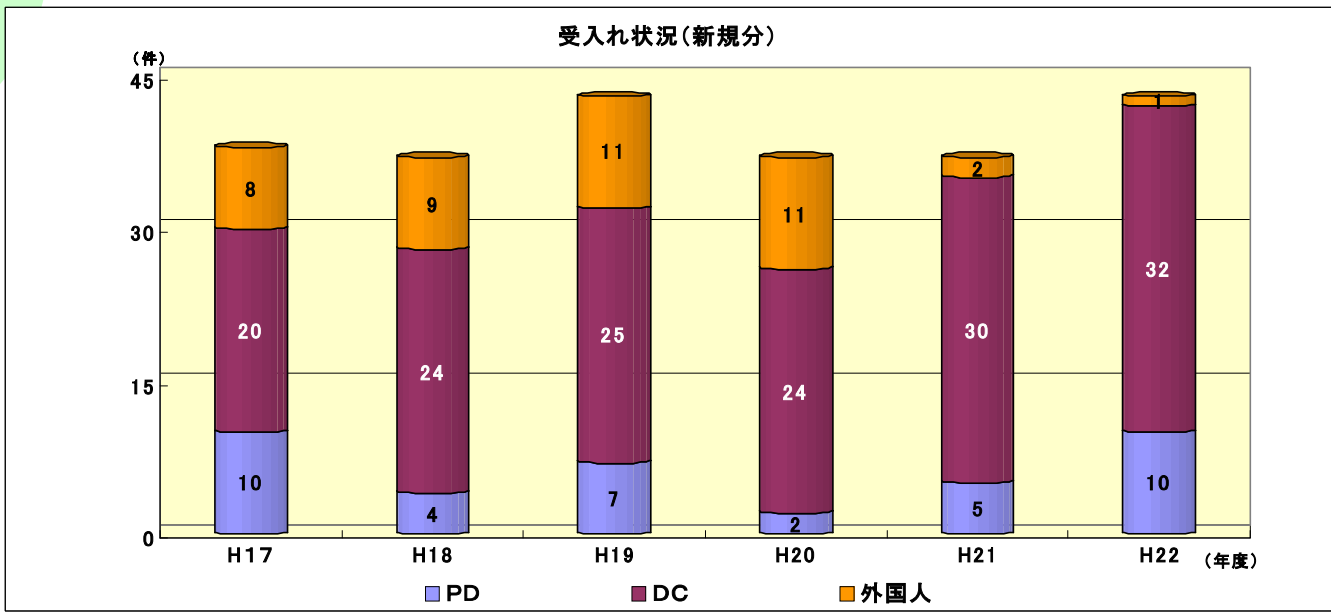
◆神戸大学◆



14. 日本学術振興会特別研究員受入れ状況（新規分）

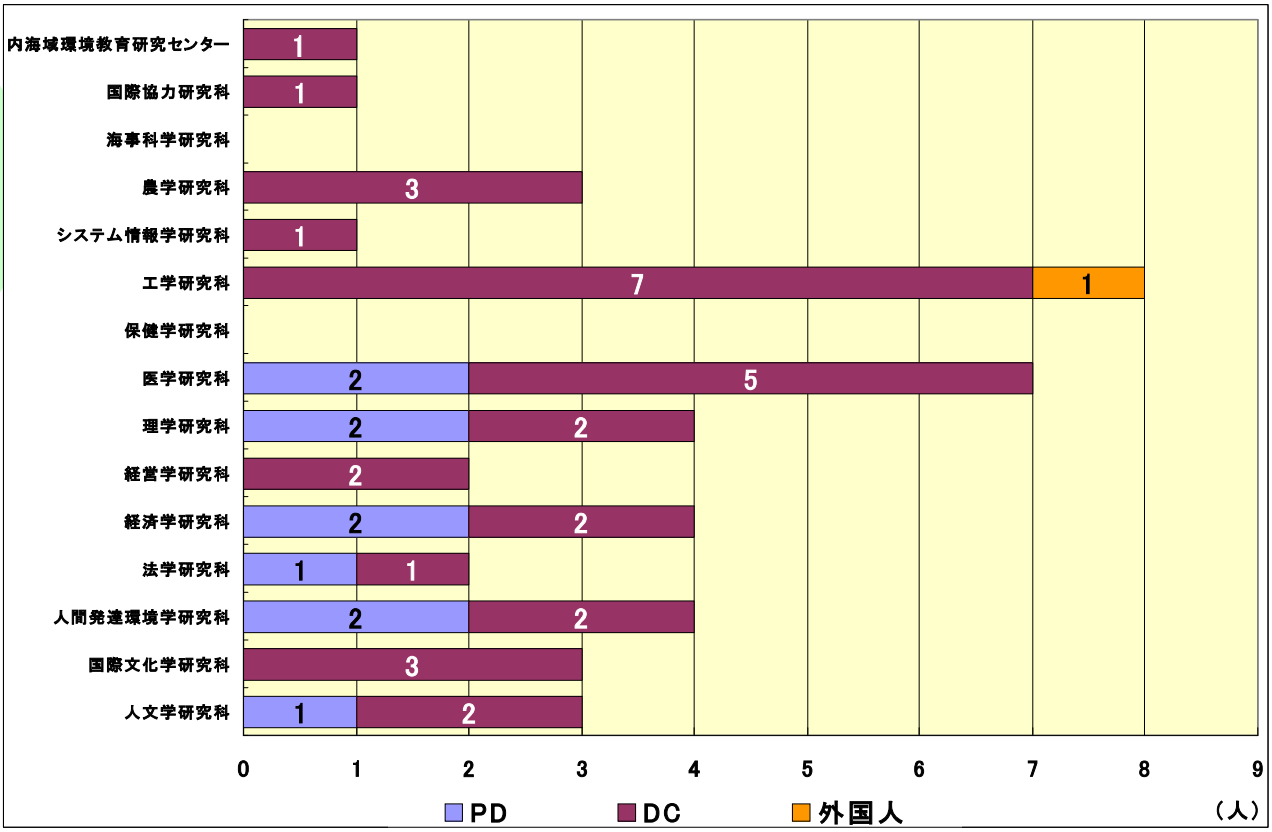
◆神戸大学◆

全体的に外国人特別研究員が減少傾向にある。また部局別に見ると、工学研究科と医学研究科において受入れが多い。



研究

14.【参考】日本学術振興会特別研究員受入れ状況（新規分）
《平成22年度》



15. 文化勲章等受章者一覧

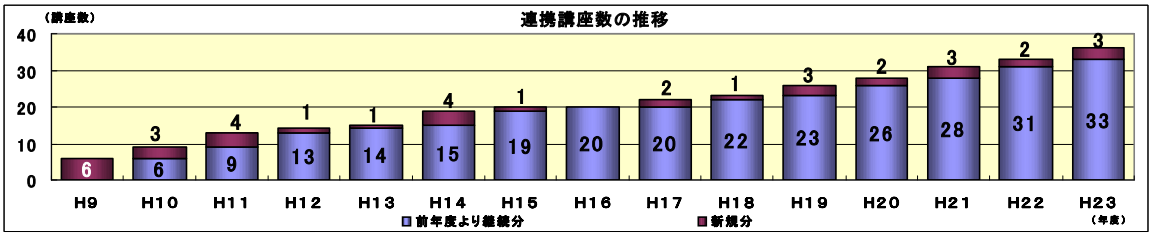
○所属教員

	氏名	決定年	旧所属	職名
【文化勲章】	西塚　泰美	昭和63年	医学部	教授・学長
【文化功労者】	西塚　泰美	昭和62年	医学部	教授・学長
	五百旗頭　真	平成23年	法学研究科	名誉教授
【紫綬褒章】	岩井　誠三	平成元年	医学部	教授
	三嶋　豊	平成6年	医学部	教授
	天野　明弘	平成12年	経営学部	教授
	岡村　均	平成19年	医学系研究科	教授
	春日　雅人	平成19年	医学系研究科	教授
	清野　進	平成23年	医学研究科	教授
【アルバート・ラスカー医学研究賞】 基礎医学研究賞	西塚　泰美	平成元年	医学部	教授・学長
【朝日賞】	西塚　泰美	昭和61年	医学部	教授・学長
【京都賞】基礎科学部門	西塚　泰美	平成4年	医学部	教授・学長
【女性化学賞】	相馬　芳枝	平成23年	自然科学研究科	客員教授・特別顧問

○神戸大学出身の著名人

氏名	賞名等	受賞部門	決定年	卒業校等
江崎　玲於奈	【ノーベル賞】	物理学賞	昭和48年	兵庫県師範学校附属小学校高等科 （神戸大学附属中等教育学校の前身）
	【文化勲章】		昭和49年	
野依　良治	【ノーベル賞】	化学賞	平成13年	兵庫師範学校男子部附属小学校卒 （神戸大学附属住吉小学校の前身）
	【ウルフ賞】	化学部門	平成13年	
	【朝日賞】		平成4年	
河合　隼雄	【朝日賞】		平成9年	神戸工業専門学校卒 （神戸大学工学部の前身）
山中　伸弥	【ウルフ賞】	医学部門	平成23年	神戸大学医学部卒
	【アルバート・ラスカー医学研究賞】	基礎医学研究賞	平成21年	
	【京都賞】	先端技術部門	平成22年	
	【朝日賞】		平成19年	
脇田　晴子	【文化勲章】		平成22年	神戸大学文学部史学科卒

16. 連携大学院の実施状況



◆参考：連携講座一覧

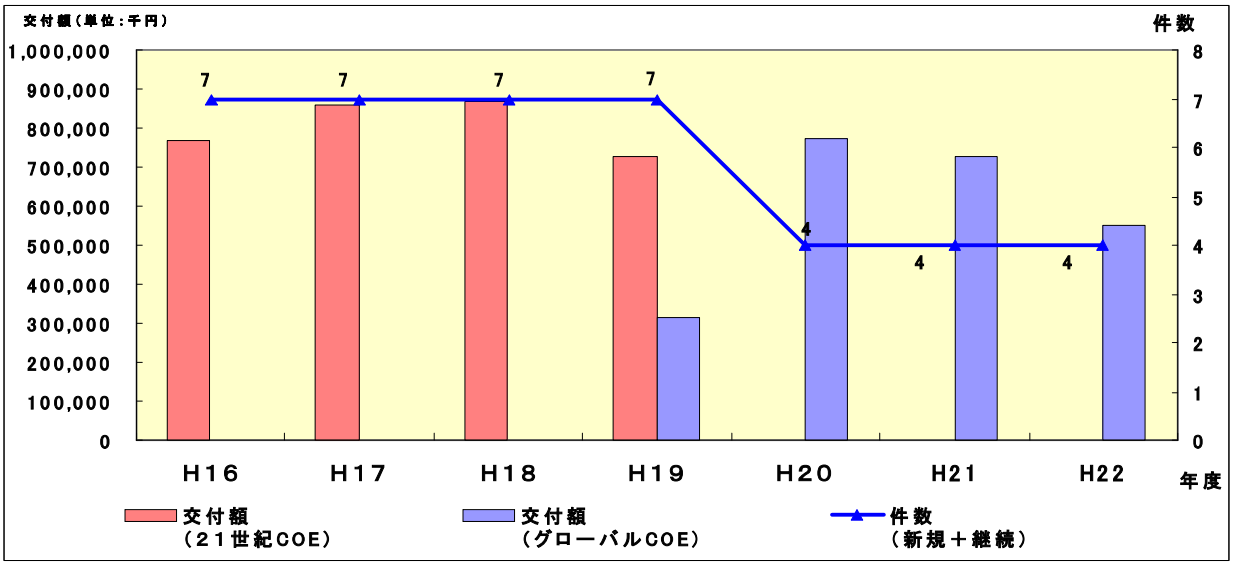
平成23年10月１日現在

研究科名	専攻名	講座名	連携先	開始年度
人文学研究科	社会動態専攻	文化資源論	(財)大和文華館、(独)国立博物館奈良国立博物館	平成19年度
国際文化学研究科	グローバル文化専攻	先端コミュニケーション論	(株)国際電気通信基礎技術研究所	平成19年度
人間発達環境学研究科	人間環境学専攻	環境先端科学	(独)国立環境研究所、(独)産業技術研究所 生命情報科学研究センター	平成19年度
経営学研究科	マネジメント・システム専攻	マネジメント・システム設計	(株)野村総合研究所	平成10年度
	会計システム専攻	事業価値評価	GCAサヴィアングループ(株)	平成18年度
	現代経営学専攻	経営戦略システム設計	アクセンチュア(株)	平成11年度
理学研究科	化学専攻	構造解析化学	(財)高輝度光科学研究センター、放射光研究所	平成19年度
		理論生物化学	(独)理化学研究所、計算科学研究機構	平成23年度
	生物学専攻	分子薬理学	(株)塩野義製薬医薬開発本部	平成19年度
		発生生物学	(独)理化学研究所、発生・再生科学総合研究センター	平成19年度
	地球惑星科学専攻	人類紀環境	岡山理科大学自然科学研究所 (独)産業技術総合研究所、つくばセンター	平成19年度
		大気海洋環境科学	(独)海洋研究開発機構	平成19年度
医学研究科	医科学専攻	生理学・細胞生物学	(独)理化学研究所、発生・再生科学総合研究センター	平成14年度
			(株)カン研究所	平成22年度
			アスビオファーマ(株)	平成23年度
		生化学・分子生物学	(財)高輝度光科学研究センター、放射光研究所	平成12年度
			(株)カン研究所	平成22年度
		微生物感染症学	(独)医薬基盤研究所	平成19年度
			兵庫県立健康生活科学研究所	平成20年度
		地域社会医学・健康科学	(独)医薬品医療機器総合機構	平成23年度
		内科学	(株)カン研究所	平成22年度
		内科系	兵庫県立粒子線医療センター	平成13年度
			(財)先端医療振興財団、先端医療センター	平成13年度
			(財)先端医療振興財団、先端医療センター	平成20年度
		外科系	兵庫県立総合リハビリテーションセンター 兵庫県立西播磨総合リハビリテーションセンター	平成19年度
工学研究科	建築学専攻	地域減災計画	総務省消防庁消防大学校消防研究センター	平成19年度
	電気電子工学専攻	機能性薄膜学	パナソニック(株)先端技術研究所	平成19年度
	機械工学専攻	知的製造システム	(株)神戸製鋼所技術開発本部、神戸総合技術研究所	平成19年度
		機能適応モデル	(独)情報通信研究機構	平成19年度
		開智型ものづくり	川崎重工業(株)、技術開発本部	平成21年度
	応用化学専攻	局所場反応・物性解析学	(独)産業技術総合研究所、関西センター	平成19年度
		化学エネルギー変換プロセス学	(独)産業技術総合研究所、関西センター	平成19年度
		生物機能工学	(財)サントリー生物有機科学研究所	平成21年度
		製剤設計生産工学	アステラス製薬(株)	平成22年度
		ケミカル・バイオセンシング	(独)産業技術総合研究所、連携研究体バイオ技術産業化センター	平成23年度
システム情報学研究科	システム科学専攻	応用システム	三菱電機(株)先端技術総合研究所	平成19年度
	情報科学専攻	感性アートメディア	(株)国際電気通信基礎技術研究所	平成19年度
	計算科学専攻	先端計算科学	(独)理化学研究所	平成22年度
		応用計算科学	(独)海洋研究開発機構	平成22年度
農学研究科	資源生命科学専攻	食料生産フィールド科学	兵庫県立農林水産技術総合センター	平成19年度
海事科学研究科	海事科学専攻	海洋環境計測科学	(独)海洋研究開発機構	平成19年度
		地域環境科学	(財)ひょうご環境創造協会　兵庫県環境研究センター	平成21年度

17. 教育・研究プログラムの採択状況

17－1. 21世紀COE・グローバルCOE

◆神戸大学◆



※21世紀COEは、平成14～16年度において採択されており、グローバルCOEについては、平成19～21年度において採択されており、平成22年度以降は新規の公募がない。

17－1.【参考】グローバルCOE採択状況

【平成19年度新規採択分】 （単位：千円）

プログラム名・取組名	実施担当部局	補助金交付済総額	採択期間	概　要
グローバルCOEプログラム				
統合的膜生物学の国際教育研究拠点	医学研究科	1,345,917	H19～H23	統合的膜生物学をキーワードに、生体膜に関わる多彩な研究対象とアプローチを背景とする世界最高水準の研究者を集結させて異分野融合型の有機的連携を図り、高次生体膜機能の全貌の解明とその基本原理の理解を目指すと同時に、膜生物学に関する統合的な知識と方法論を身に付け、新しい視点から研究を創生する能力及び国際的活動能力を有する若手研究者を育成する教育研究拠点を形成する。

【平成20年度新規採択分】 （単位：千円）

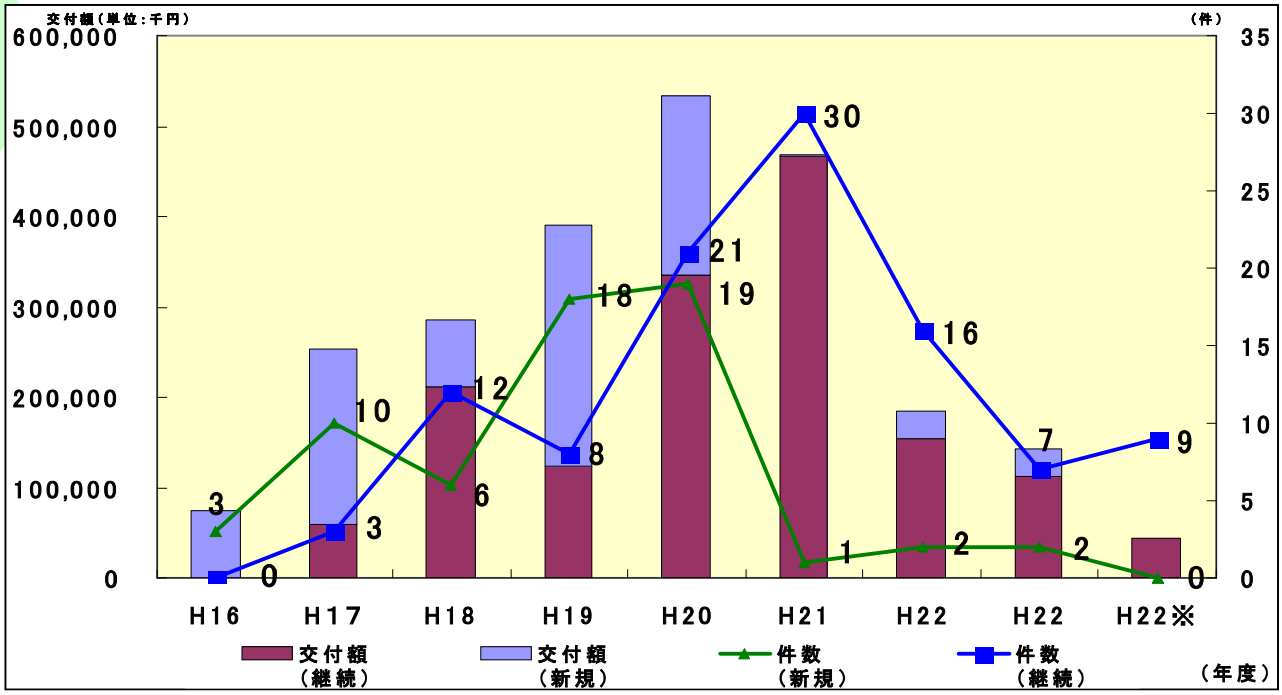
プログラム名・取組名	実施担当部局	補助金交付済総額	採択期間	概　要
グローバルCOEプログラム				
次世代シグナル伝達医学の教育研究国際拠点	医学研究科	1,040,321	H20～H24	基礎・臨床医学の実質的な融合を基にした分野横断的・統合的なアプローチにより、社会的に根本的な解決が急務となっているがん、代謝疾患、感染症、神経・筋疾患を対象とし、それらの疾患が互いに関わり合う核心メカニズムの解明、並びに画期的な診断・治療・予防法の確立を目指すと同時に、新分野を創成する能力を有するclinician-scientist・医学研究者の育成を目指した、シグナル伝達医学の教育研究国際拠点を形成する。
惑星科学国際教育研究拠点の構築	理学研究科	429,520	H20～H24	北海道大学と連携して、惑星系の起源・進化・多様性を統合し普遍化した汎惑星系モデルの構築を目指すと同時に、21世紀COEプログラムの成果として設立された惑星科学研究センターを、企画運営・情報化・国際連携などへの対応力を持ち、国内外の惑星科学研究者やグループによる教育研究活動のネットワーク化を支援するコーディネーションセンターに拡充させ、5年後には国際的な共同教育研究活動を展開する惑星科学国際教育研究拠点として確立させることを目標とする。（連携：北海道大学理学研究院）
マス・フォア・インダストリ教育研究拠点	理学研究科（九州大学　連携大学：神戸大学）	41,700	H20～H24	マス・フォア・インダストリ（MI）とは、純粋・応用数学を流動性・汎用性をもつ形に融合再編しつつ産業界からの要請に応えようとすることで生まれる、未来技術の創出基盤となる数学の新研究領域である。九州大学が中心となり、本学理学研究科数学専攻が連携して推進する本プログラムにおいては、統計・確率、数値/数式計算、可積分系を始めとする優れた研究実績を基に、数学と産業界の未だ類を見ない協働に向けた先駆的、組織的取組を更に押し進め、世界最高水準のMI教育研究拠点の形成を目指す。

※補助金交付済総額には、間接経費を含む。

研究

17－2. 大学教育改革支援プログラム

◆神戸大学◆



研究

17－2.【参考】大学教育改革支援プログラム採択状況

【平成19年度新規採択分】 （単位：千円）

プログラム名・取組名	実施担当部局	補助金交付済総額	採択期間	概　要
がんプロフェッショナル養成プラン				
6大学連携オンコロジーチーム養成プラン	医学研究科（近畿大学 共同申請：神戸大学ほか4大学）	114,825	H19～H23	近畿の国・公・私立6大学の医学・看護学・薬学系大学院研究科が共同して質の高い医師、コメディカルのオンコロジーチームを養成する。6大学は共通特論を含む共通の教育プログラム（単位互換）により放射線腫瘍専門医、がん薬物療法専門医、がん看護専門看護師、がん専門薬剤師、医学物理士の養成コースにインテンシブコースを加えて近畿圏全体から多くの対象者を募集し、大学附属病院と近畿4府県のがん診療連携拠点病院、国立がんセンター東病院と連携してがん医療の高度な知識と技術を修得可能としチーム医療が実践できる医療人を育成、近畿全体のがん医療水準の向上と均てん化を目指す。

【平成20年度新規採択分】 （単位：千円）

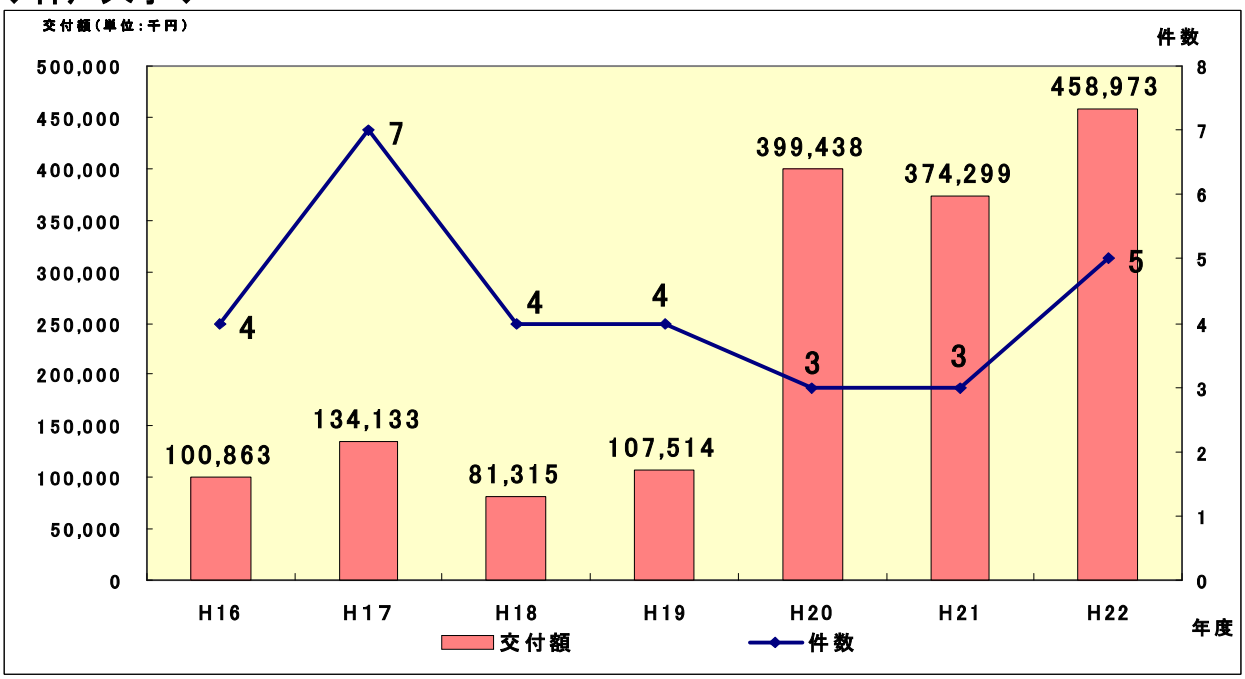
プログラム名・取組名	実施担当部局	補助金交付済総額	採択期間	概　要
新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム				
地域に根ざし人に学ぶ共生的人間力	都市安全研究センター	40,500	H20～H23	本取組により、今まで学生の活動を個々の努力で支援してきた学外者を「共生・減災応援団」として組織する。また、学生同士が刺激し合う「学生コラボセッション」を中心に、神戸や中越の被災者などの震災の記憶について、学生が直接に話を聴く「震災語り場」を展開するなど、学生が地域で主体的に活動する動機づけを行う。さらに、学生が被災地での活動を体験する「地域に根ざし人に学ぶ実践塾」を、経験を積んだ学生と応援団の協力で実施する。
大学教育の国際化加速プログラム（長期海外留学支援）				
大学院教育の国際展開と国際的人材育成	国際交流推進本部	7,601	H20～H23	本取組では、大学院生を長期にわたり海外の大学院・研究機関に派遣し、学位取得および共同研究や現地調査を実地することを支援する。このことは、短期留学では得られない多様な経験や国際理解と、より高度な研究調査能力を獲得させることによって、国際社会に貢献できる人材の育成を達成する。平成20年度は、「博士の学位取得」の分野として、法学研究科博士後期課程1年の学生がアメリカ合衆国の大学においての研究テーマ「民主化後韓国の国家社会関係」が認められた。
大学病院連携型高度医療人養成推進事業				
山陰と阪神を結ぶ医療人養成プログラム	医学部附属病院（島根大学　連携大学：神戸大学ほか2大学）	86,597	H20～H24	本事業は、複数の大学病院が緊密に連携・協力し、それぞれの得意分野による相互補完を図り、各病院（地域における関連医療機関を含む。）を循環しながら修練や幅広い経験を積むことができる医師キャリア形成システムを構築するとともに、大学病院の若手医師に多様なキャリアパスを明確に示すことにより、若手医師が将来に希望を持ちながら安心して研修に専念でき、国民の要請に応えられる質の高い専門医や臨床研究者の養成に資するとともに研修中及び研修修了後により多くの医師が地域医療に貢献することを目的としている。医学部附属病院が、平成20年度に採択された左記6プログラムに連携大学として参画している。
マグネット病院連携を基盤とした専門医養成	医学部附属病院（京都大学　連携大学：神戸大学ほか4大学）	19,500	H20～H24	
コア生涯学習型高度専門医養成プログラム	医学部附属病院（滋賀医科大　連携大学：神戸大学ほか7大学）	2,900	H20～H24	
地域発信・統合型専門医養成プログラム	医学部附属病院（富山大学　連携大学：神戸大学ほか21大学）	0	H20～H24	
出島発、肥前の国専門医養成プログラム	医学部附属病院（長崎大学　連携大学：神戸大学ほか7大学）	0	H20～H24	
多極連携型専門医・臨床研究医育成事業	医学部附属病院（琉球大学　連携大学：神戸大学ほか27大学）	0	H20～H24	

【平成21年度新規採択分】 （単位：千円）

プログラム名・取組名	実施担当部局	補助金交付済総額	採択期間	概　要
大学病院連携型高度医療人養成推進事業				
四国本州メディカルブリッジ高度医療人養成	医学部附属病院（徳島大学　連携大学：神戸大学ほか4大学）	9,111	H21～	四国と首都・阪神圏の異なる医療環境で、地域医療から高度先進医療まで幅広い分野での専門診療経験を積むとともに、大学院での質の高い臨床研究を組み入れることで、卒前教育、初期臨床研修と緊密に連続・連携した魅力あるキャリア形成システムの構築を目指す。総合力を基盤とした高い専門性と臨床研究能力を有し、地域医療の特性を理解した優れた医師を数多く輩出することにより、大学病院の機能強化を図るとともに、四国に定着し、その医療に貢献できる専門医の増加と地域医療の活性化を目指す。
大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム				
医薬共同による創薬・育薬を担う医療人の育成を通じた私立・国立大学間の連携	医学部附属病院（神戸薬科大学　連携大学：神戸大学）	0	H21～H23	医薬品の適正使用・安全管理教育を強化するため神戸薬科大学での新たな学部授業科目、大学院授業科目の共同開発を行う。また、卒後教育で、薬剤師レジデント教育プログラムを充実、医薬生涯研修支援プログラムを開発、両大学で展開するとともに、医薬共同研究を推進することにより、創薬・育薬を担う医療人の育成を行う。さらに、両大学の教員・職員を対象としたFD・SD研修プログラム等の共同開発を行い、教員・職員の質の向上を図る。

17－3. 科学技術振興調整費

◆神戸大学◆



研究

17－3.【参考】科学技術振興調整費採択状況

※平成23年度より「科学技術戦略推進費」に名称変更

【平成20年度新規採択分】 （単位：千円）

プログラム名・取組名	実施担当部局	補助金交付済総額	採択期間	概　要
先端融合領域イノベーション創出拠点の形成				
バイオプロダクション次世代農工連携拠点	自然科学系先端融合研究環	966,942	H20～	本拠点化構想では、「菌体触媒」や「細胞表層」に関するコア技術を発展させ、「化成品原料・次世代燃料」、「バイオプラスチック・バイオ繊維」、「機能性食品」、そして「医薬品/農薬」の4つの研究部門へと展開させる。特に、化成品原料や燃料資源のほとんどは石油資源に依存しており、これらの石油依存の化成品原料を全てバイオマスから合成することを目指す。

【平成21年度新規採択分】 （単位：千円）

プログラム名・取組名	実施担当部局	補助金交付済総額	採択期間	概　要
地域再生人材創出拠点の形成				
医師・コメディカル統合的人材育成拠点形成	医学研究科	128,289	H21～H25	震災の経験を生かして災害時にも効率的に対応できる地域医療充実に向けコメディカルとのスキルミクスに重点をおいたユニットを形成し、地域医療の質、安全性の向上のみならず、南海大地震などの災害時の緊急対策の充実を図る。神戸大学を中心として兵庫県等と連携し、機能的なスキルミクスを実現できるエキスパート・コメディカルの育成を目的に災害医療、感染症医療、周産期医療、老人医療および、がん医療、の5つの領域の育成コースを策定する。

【平成22年度新規採択分】 （単位：千円）

プログラム名・取組名	実施担当部局	補助金交付済総額	採択期間	概　要
若手研究者養成システム改革				
生命医学イノベーション創出リーダー養成	医学研究科	109,861	H22～H26	21世紀の成長産業として注目されている生命医学分野の研究開発をリードする若手イノベーション人材の養成は、我が国の経済成長を左右する喫緊の課題である。本取組では、医学研究科を始めとする神戸大学の生命医学関連研究科と関西エリアに集積する関連企業が連携することにより、従来の大学院教育では成しえなかった、企業マインドあふれる若手イノベーション人材を要請する。
女性研究者支援システム改革				
レボルーション！女性教員養成神戸スタイル	男女共同参画推進室	68,709	H22～H26	本学独自の育成研究員（教員採用候補者として育成）も対象として、新規養成女性教員を女性枠により公募で21名以上（準教授、講師、助教）、理工農学系研究科に採用する。同女性教員を採用した研究科にはインセンティブとして同女性教員1名に対して1名の任期付き助教を学内経費により配置する（5年間）。全ての女性研究者を対象に「神戸キャリアアップカフェ」を開催し、更なる研究意欲・昇進意欲の向上を促す。新規養成女性教員に研究費（スタートアップ及び2・3年目）を支給、メンター2名（研究・ライフ）を配置し、理工農学系のすべての女性教員に研究スキルアップ経費を補助、全学の子育て中の女性研究者に研究支援員を配置する。
企業を牽引する計算科学高度技術者の養成	工学研究科（システム情報学研究科）	92,560	H22～H26	地域に集積するものづくり産業を次世代型製造業へ転換させるために、社内で最先端シミュレーション技術の導入・利活用を牽引するリーダーの養成を目指す。プログラム相談室の設置など手厚い指導体制で、最先端スーパーコンピュータを駆使し、新産業を創出する人材を育成する。

18.大学間協定（国内）

○国内大学との大学間協定締結状況（H23.10.23現在で有効な協定）

協定名称	協定締結機関	締結日	連携内容
国立大学法人神戸大学と学校法人神戸薬科大学との連携に関する協定	神戸薬科大学	H19.7.17	(1)学部及び大学院における教育に関すること、(2)学術研究に関すること、(3)臨床研修に関すること、(4)教職員の相互交流に関すること、(5)地域社会及び国内外の教育研究機関との連携に関すること
国立大学法人神戸大学、兵庫県立大学及び独立行政法人海洋研究開発機構の教育研究に関する包括協定	兵庫県立大学 海洋研究開発機構	H19.8.6	次世代スーパーコンピュータを用いた教育研究における、(1)共同研究に関すること、(2)人材育成に関すること、(3)人材交流に関すること
[旧三商大]一橋大学、神戸大学及び大阪市立大学における教育交流に関する協定	一橋大学 大阪市立大学	H22.2.1	(1)学生の交流の支援に関する事項、(2)三大学学生研究討論会及び三商大体育大会を中心とした三大学間の学生交流事業等の促進に関する事項、(3)各大学が開催する学術交流事業等に関する事項
国立大学法人神戸大学と国立大学法人京都大学との計算科学分野における連携協力に関する協定	京都大学	H22.4.1	(1)計算科学分野の基礎から応用までの総合的な教育に関すること、(2)計算科学分野における研究に関すること
大阪大学・神戸大学・関西大学・関西学院大学国際化推進に向けたネットワーク形成に関する協定	大阪大学 関西大学 関西学院大学	H23.7.27	国際化推進のための、(1)情報及び資料の交換、(2)教職員の交流事業、(3)各大学に在籍する留学生同士及び留学生と産業界との交流事業、(4)各大学が設置している海外拠点における諸活動
国立大学法人神戸大学と国立大学法人東北大学との災害科学分野における連携協力に関する協定	東北大学	H23.10.23	(1) 災害科学分野における学術研究に関すること (2) 災害科学分野における人材養成に関すること (3) 災害科学分野における社会貢献に関すること (4) その他災害科学分野における教育研究及び社会貢献に関し両大学が必要と認めて合意した事項

〈トピックス②〉神戸大学統合研究拠点

神戸大学統合研究拠点は平成23年4月に1期工事が完工し、8研究プロジェクトが入居して、研究活動を開始しました。また、2期工事（国際コンベンションホールなどの関連施設）は平成23年12月に竣工しました。

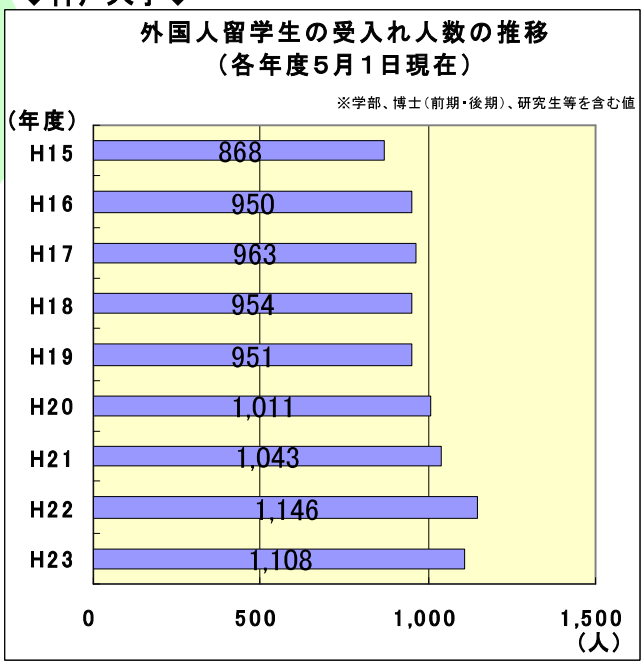
分子から宇宙に至るまでの広範囲なスケールでの学術研究を進展させる目的で、8研究プロジェクトが活動を開始しています。

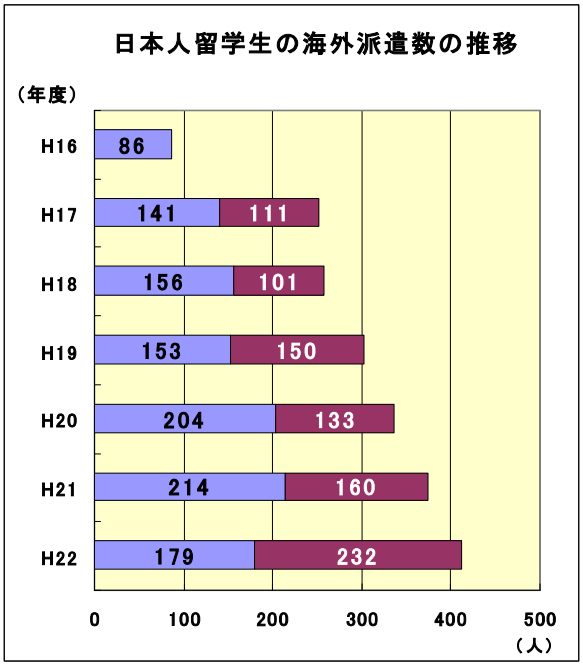
1. 統合バイオリファイナリー研究プロジェクト
2. 先端膜工学研究プロジェクト
3. 神戸宇宙開発研究プロジェクト
4. 構造ベース創薬研究プロジェクト
5. 国際健康学研究プロジェクト
6. 計算科学・計算機工学研究プロジェクト
7. 神戸計算科学人材育成プロジェクト
8. 惑星科学国際教育研究プロジェクト

19. 外国人留学生受入・日本人留学生派遣状況

大きな流れとしては、外国人留学生の受入れと日本人留学生の派遣は増加している。また、両者を比較すると受入れ人数が派遣人数の倍以上となっている。

◆神戸大学◆

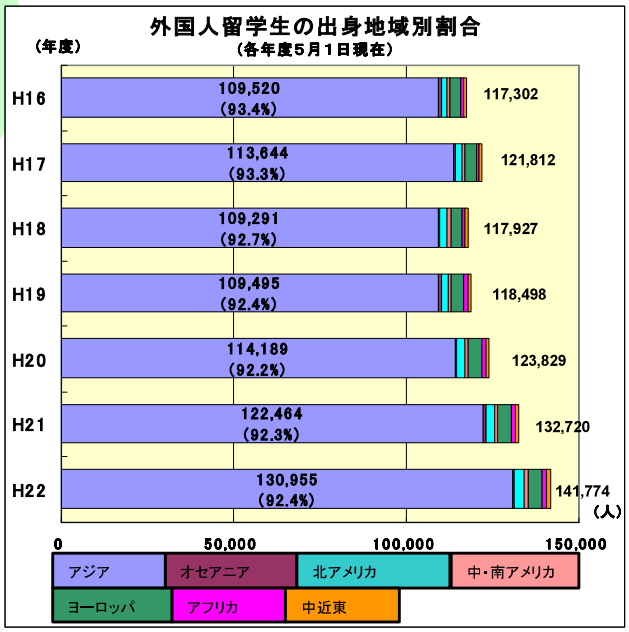


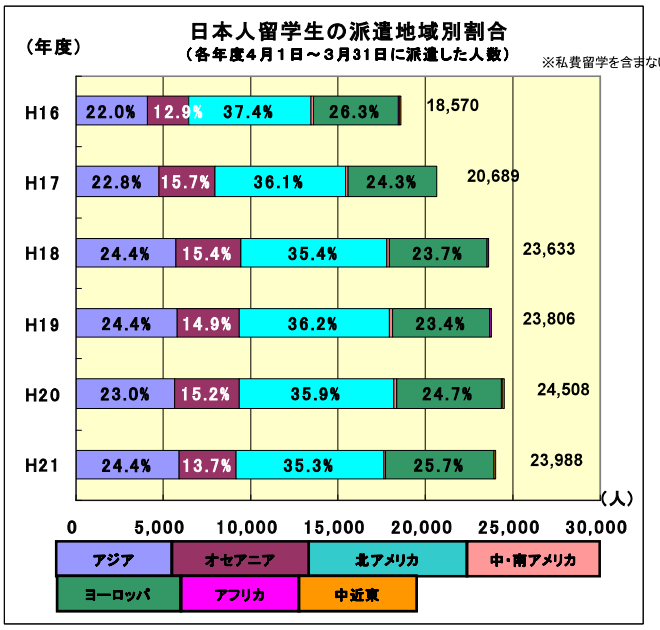


右：■ は交換留学及び海外外国語研修（SOLAC）等のプログラムによる派遣、■ は私費留学（H17年より集計開始）及び各部局の研修・実習、外部機関が実施するプログラム（H19年より集計開始）による派遣

全国の外国人留学生受入れ・日本人留学生派遣の地域別割合

「10万人計画」が達成された平成15年以降も、我が国の高等教育機関のグローバル化を目指す「留学生30万人計画」のもと、神戸大学をはじめ全国的にも留学生の受入れは増加している。





※（ ）内は各年度における全体に対するアジア出身留学生の割合。

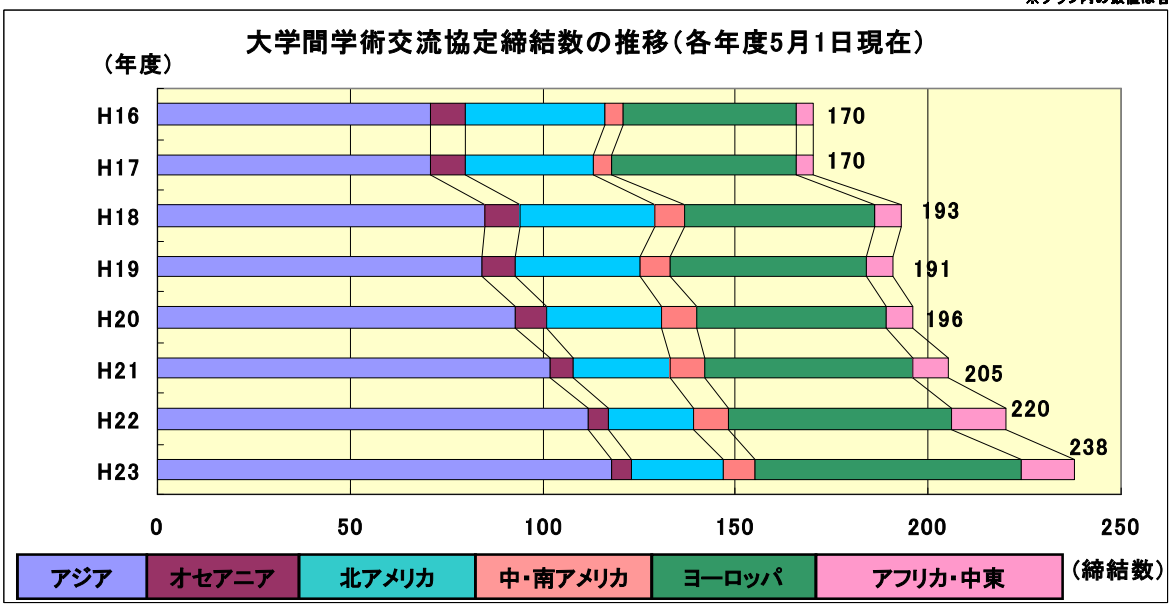
左：出典　JASSO「外国人留学生在籍状況」より作成　　右：出典　JASSO「協定等に基づく日本人学生留学状況」より作成

国際

20. 外国の大学等との学術交流協定の締結状況

◆神戸大学◆

※グラフ内の数値は各年度の総数



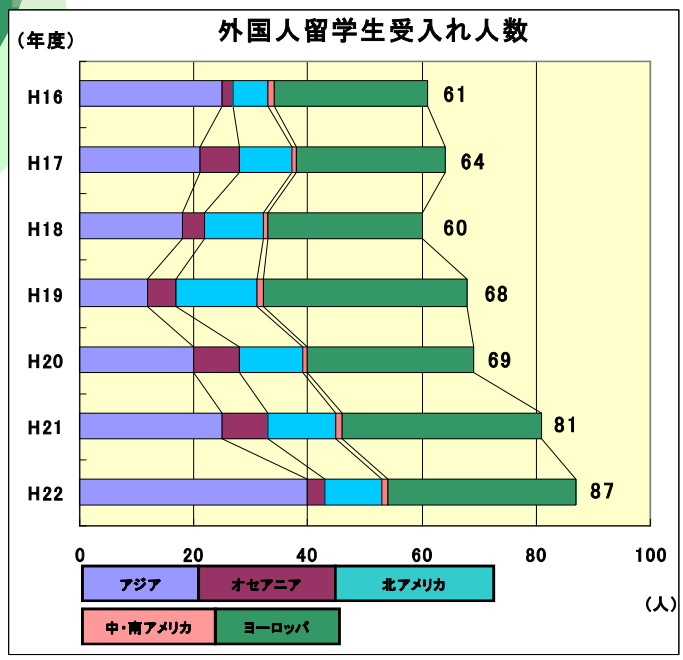
国際

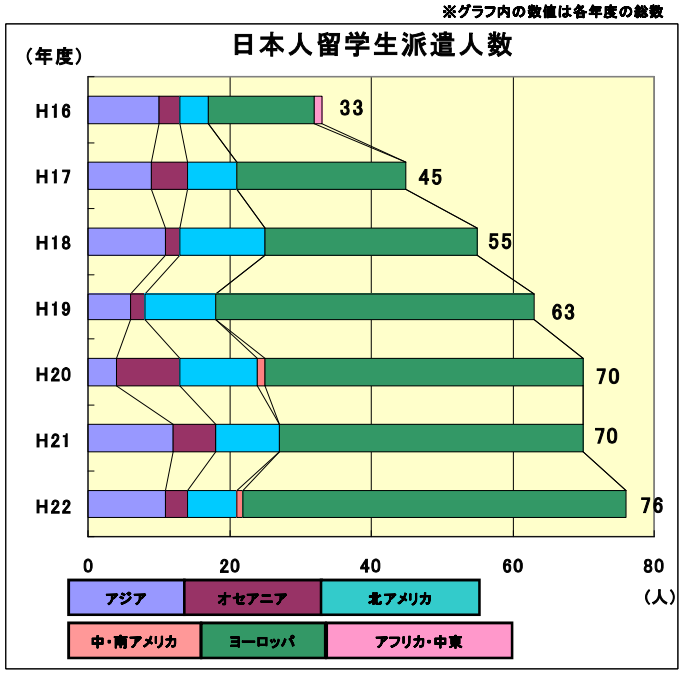
大学間学術交流協定に基づく留学生受入れ・派遣状況

受入れでは、アジアからの留学生の増加が目立つ。一方で、日本人留学生の派遣では、ヨーロッパ地域の大学への派遣がここ数年で大幅に増加していることがわかる。

◆神戸大学◆

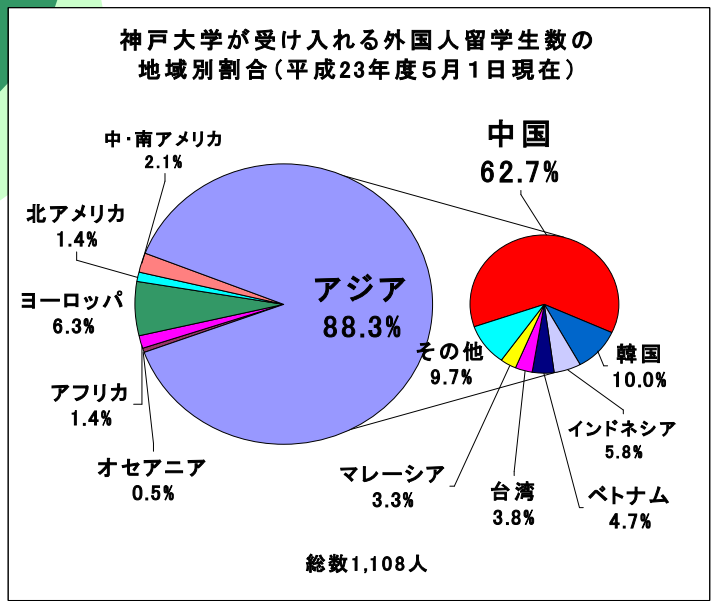
※グラフ内の数値は各年度の総数

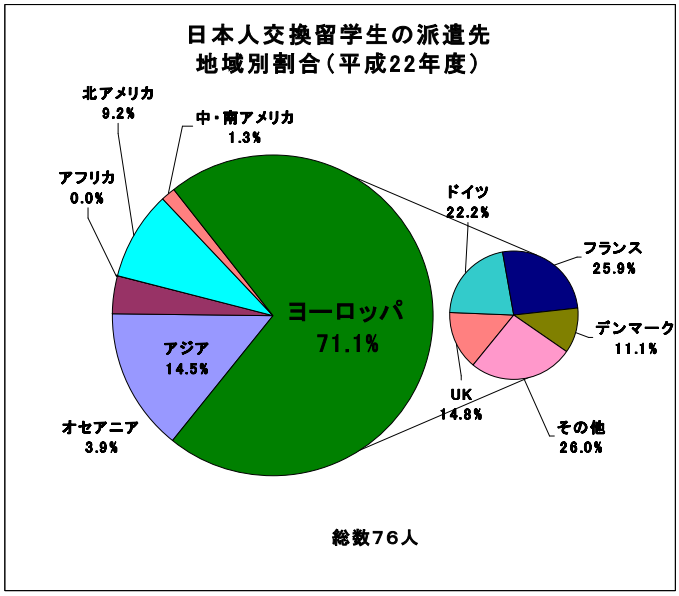




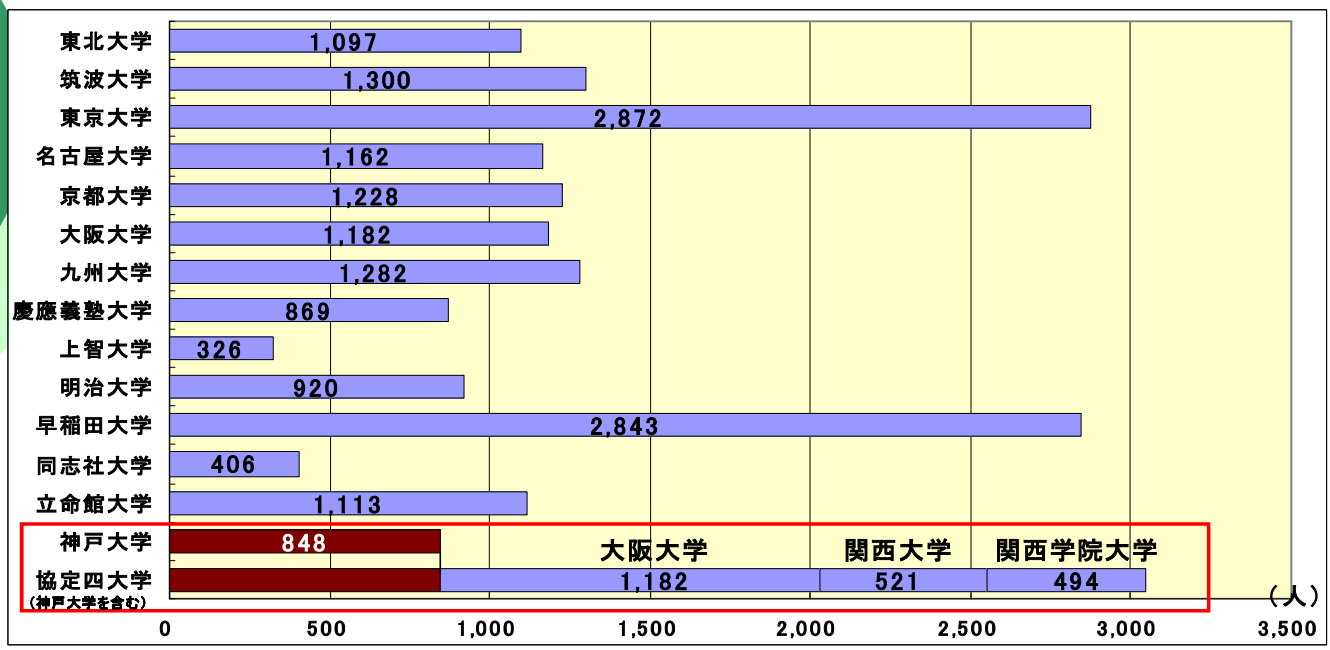
【参考】神戸大学における外国人留学生の出身地域・日本人留学生の派遣先地域

受入れではアジア、特に中国からの留学生が多く、日本人留学生の派遣地域としてはヨーロッパが多い。





【参考】「グローバル30」採択拠点との外国人留学生受け入れ数の比較（平成22年度）



出典　朝日新聞出版『大学ランキング2012』より作成。グラフは学部留学生＋大学院留学生の値であり、研究生等を含まない。

神戸大学は平成23年7月、これまで推進してきた「大学の国際化」をさらに推進するべく、大阪大学、関西大学及び関西学院大学の四大学でネットワークを形成し連携を図るための協定を締結した。

【参考】神戸大学のダブルディグリープログラムによる学生交流者数

○神戸大学におけるダブルディグリー設置状況

※平成23年10月18日現在

部局	課程	共同設置機関国	共同設置機関校	先方における関係部局	プログラム覚書締結日	派遣・受入れ開始日	派遣			受入				
							H21	H22	H23	H19	H20	H21	H22	H23
国際文化学研究科	修士	ベルギー	ルーヴァン・カトリック大学※1	文学部	検討中	未定	－	－	－	－	－	－	－	－
		中国	浙江大学※1	人文学院	2011/9/28	調整中	－	－	－	－	－	－	－	－
経済学研究科	修士	ベルギー	ルーヴァン・カトリック大学※2	文学部	2010/1/18	2012年春以降受入れ予定	－	－	－	－	－	－	－	－
			ルーヴァン・カトリック大学※1	文学部及び社会科学部	検討中	未定	－	－	－	－	－	－	－	－
		中国	北京外国語大学※2	北京日本学研究センター	2010/5/18	2011年春	－	－	－	－	－	－	－	3
国際協力研究科	修士	インドネシア	インドネシア大学※3	経済学部	2006/6/28	2007年秋より受入れ開始 2010年8月より派遣開始	－	1	0	1	3	2	2	2
			ガジャマダ大学※3	経済学部	2006/6/28		－	0	0	1	2	3	2	3
				工学部	2006/6/28		－	0	0	2	2	1	1	2
			バンドン工科大学※3	建築・企画政策開発学科	2006/6/28		－	0	0	3	0	0	1	1
		韓国	ソウル国立大学校※1	国際関係学院	2011/11/25	調整中	－	－	－	－	－	－	－	－
			高麗大学校	国際研究大学院	2010/10/8	調整中	－	－	－	－	－	－	－	－
		英国	イーストアングリア大学	開発学部	2008/7/16	2009年秋	1	0	1	－	－	0	0	0
			ロンドン大学東洋アフリカ研究学院	全部局	2009/9/7	2010年秋	－	0	1	－	－	－	0	0
			サセックス大学	教育社会福祉学部	2010/2/25	2010年秋	－	2	0	－	－	－	0	0
		米国	ピッツバーグ大学	公共国際関係学研究科	2009/9/24	調整中	－	－	－	－	－	－	－	－
		エジプト	カイロ大学	経済政治学研究科	2009/7/16	調整中	－	－	－	－	－	－	－	－

※1　授業料相互不徴収によるダブルディグリープログラム。

－ は、受入れ・派遣を開始していないことを示す。

※2　受入のみのダブルディグリープログラムであり、日本語学科の修士課程に在籍の学生を対象として、最短で2年間で派遣元の大学と神戸大学経済学研究科の修士号取得を目指すもの。

※3　インドネシア大学経済学部、ガジャマダ大学経済学部及び工学部、バンドン工科大学とは、2006年に日本の国際協力銀行(当時)の円借款による支援を受けてダブルディグリー取得を目指す学生の受入れのために覚書を交わし、2007年秋学期から、7名を受入れ。これらの大学とは、別途私費でダブルディグリー取得を目指す学生の相互派遣・受入れを目指した覚書も締結している。

〈トピックス③〉
神戸大学中国事務所・ブリュッセルオフィス

中国事務所 in 北京

具体的な事業

- 現地の大学等との共同研究サポート
- 現地企業との連携のサポート
- 帰国留学生や研究者等とのネットワーク
- 現地での研修実施による職員の国際性向上
- 優秀な中国人留学生の獲得
- 現地の教育研究に関する情報収集
- 本学学生の中国留学・インターンシップへの現地支援
- 現地における本学の情報発信

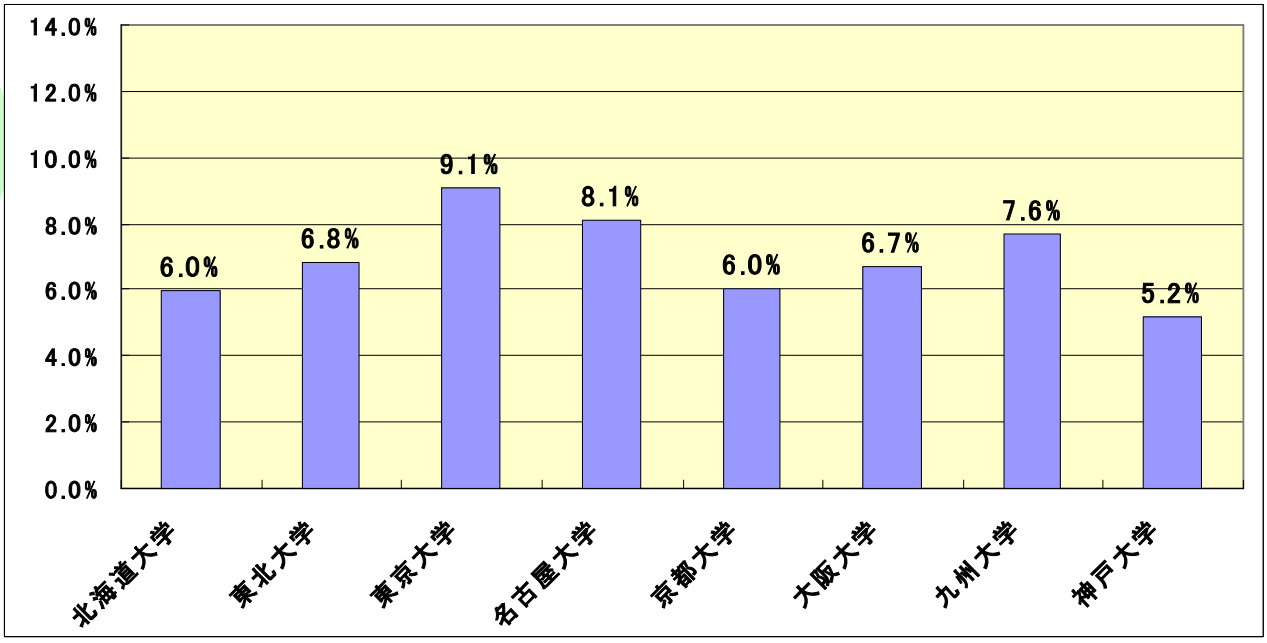
ブリュッセルオフィス in ベルギー

主な機能

- 教育研究に関する情報収集および発信
- ヨーロッパの諸大学・研究機関との学術・研究交流の促進
- 留学生・研究者のネットワーク構築
- 在欧の企業・団体との連携の促進

平成22年９月３日開所!!

【参考】在籍学生数に占める外国人留学生の割合比較（学部学生＋大学院生）



出典：各大学HPより作成（平成23年度）

〈トピックス④〉留学生ホームカミングデイ・海外同窓会

留学生ホームカミングデイ

留学生ホームカミングデイは、「人・知・還流」を理念に2002年に始まりました。在学生、卒業生その家族や大学関係者が一堂に会するときです。

2002年に始まり、現在まで8回開催されています。第8回は、2011年10月29日に神戸大学百年記念館にて開催されました。

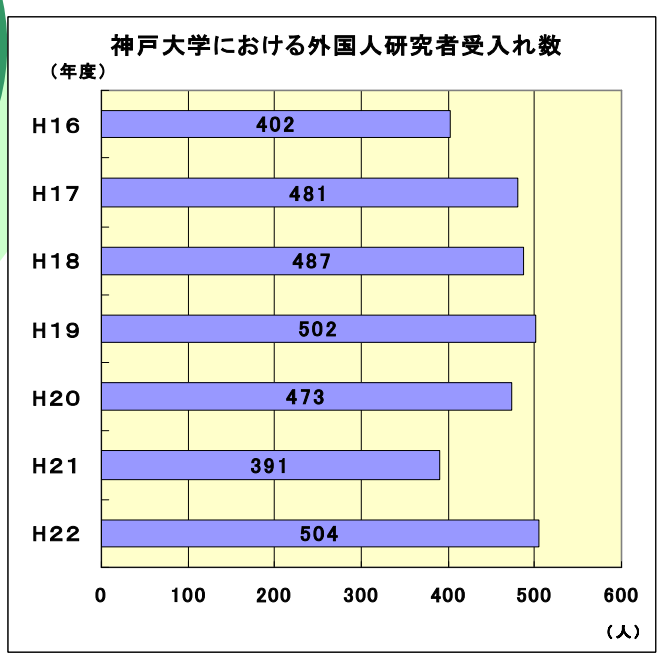
海外同窓会一覧

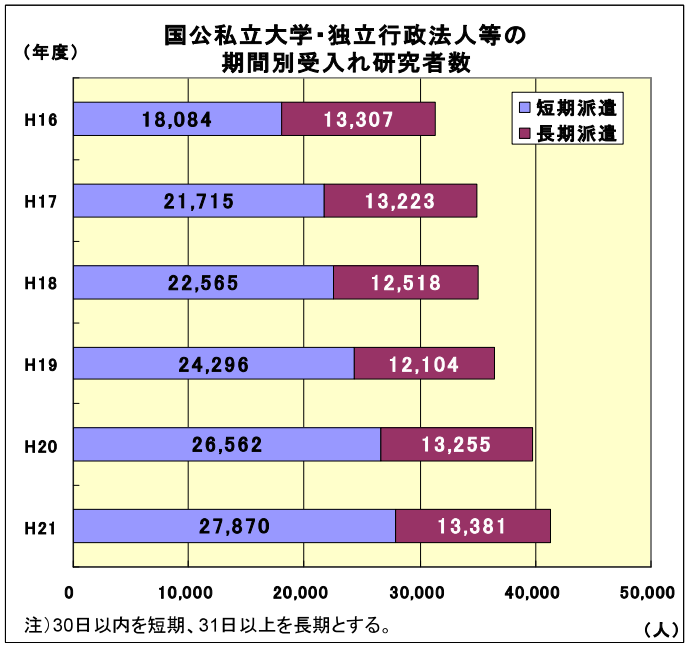
現在10カ国・地域で海外同窓会を発足

- 韓国　・・・・・・・・・（1989年発足）
- 台湾　・・・・・・・・・（1995年発足）
- 中国　・・・・・・・・・（2006年発足）
- ベトナム　・・・・・・（2008年発足）
- インドネシア　・・・・（2008年発足）
- タイ　・・・・・・・・・（2009年発足）
- マレーシア　・・・・・（2010年発足）
- シンガポール　・・・・（2010年発足）
- 欧州　・・・・・・・・・（2011年発足）
- ミャンマー　・・・・・（2011年発足）

21. 研究者等交流状況

◆外国人研究者受入れ数の推移◆

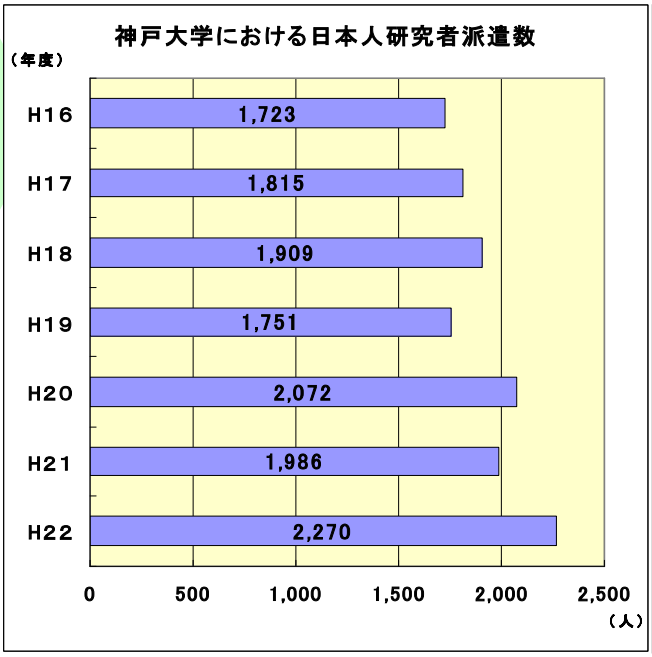


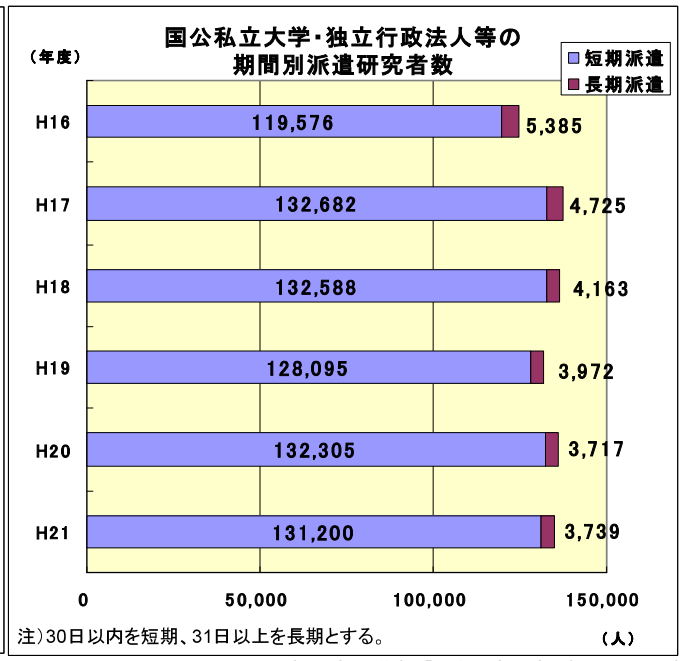


右：出典　文部科学省「国際研究交流の概況」より作成

国際

◆日本人研究者派遣数の推移◆





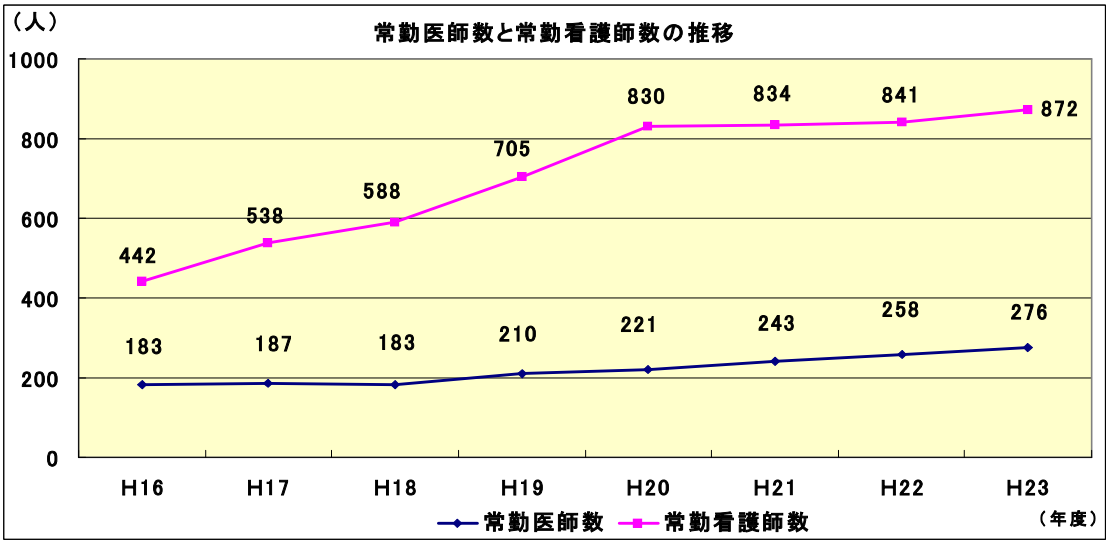
右：出典　文部科学省「国際研究交流の概況」より作成

22. 病床数・常勤医師数・常勤看護師数

◆神戸大学◆

平成23年５月１日現在

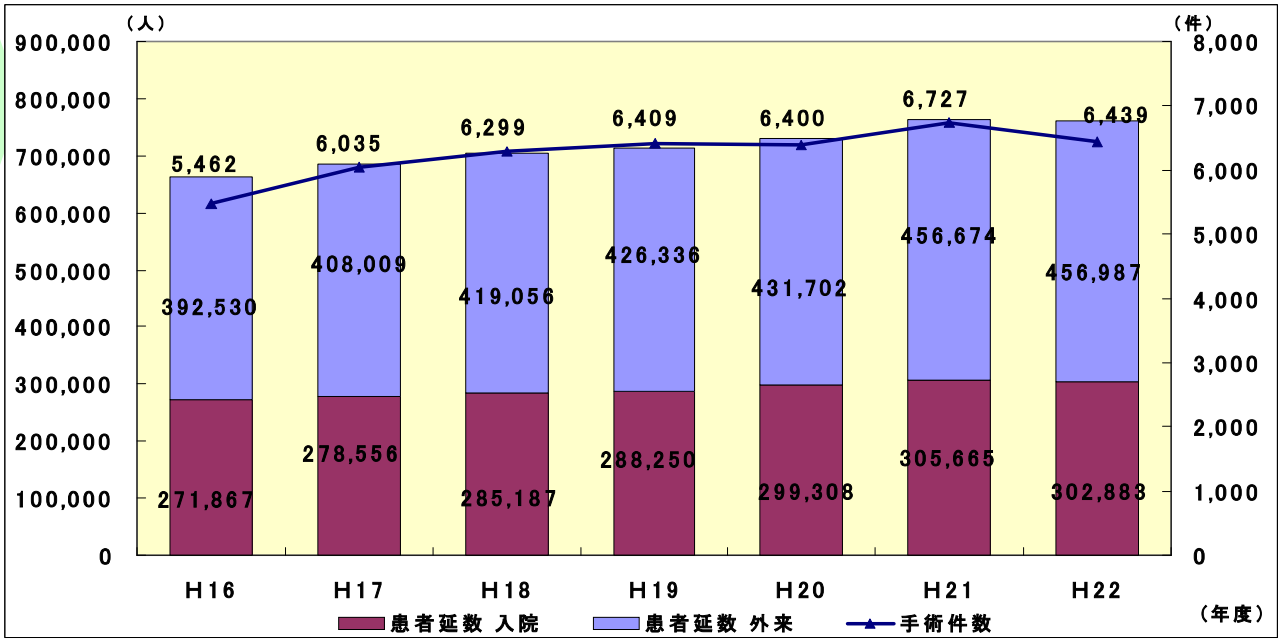
病床数		常勤医師数	常勤看護師数
一般病棟	精神病棟		
874床	46床	276名	872名



病院

23. 総手術件数と患者数の推移

◆神戸大学◆



病院

神戸大学医学部附属病院は、教育・研究・高度医療・地域医療に貢献しています

教　育

将来の医療を担う医療従事者の育成
- 医学生、看護学生等の教育
- 初期研修医(126名)の指導
- 専門医の養成(プログラム登録者642名)
- エキスパートコメディカルの育成
  (H23.11.1現在コース修了者43名)

診　療

- 地域の中核病院として専門性を有した質の高い医療の提供
- 小児科、産科、救急医療など地域医療の充実のための診療部門における医療の提供

研　究

臨床医学発展の推進と医療技術水準の向上への貢献
- 新薬等開発のための臨床試験(治験)
- 高度先進医療の開発
  腹腔鏡補助下膵体尾部切除又は核出術
  内視鏡的大腸粘膜下層剥離術
  ロボット支援手術　ほか

社会貢献

- 地域がん診療連携拠点病院
- 災害拠点病院
- エイズ治療拠点病院
- ３次救急医療機関（３次的機能病院）
- 医師が不足している地域に医師を派遣

附属学校

24. 附属学校における連携授業

附属学校では、神戸大学との連携授業を開催しています。

平成22年12月

理学研究科の協力の下、約200名の小学生・中学生・中等教育学校生及びその保護者が理学部に集い大学の授業を受けました。

【授業内容】

・星と惑星系の誕生（国立天文台のMitaka（ミタカ）という宇宙を4次元で表すソフトウェアを用いての授業）

・液体窒素について（実際に液体窒素を利用した授業）

【授業後】

数学科、物理学科、化学科、生物学科、地球惑星学科の研究室見学が行われました。

平成23年8月

海事科学研究科の協力の下、約150名の小学生・中等教育学校生及び保護者が海事科学部に集い大学の授業を受けました。

【授業内容】

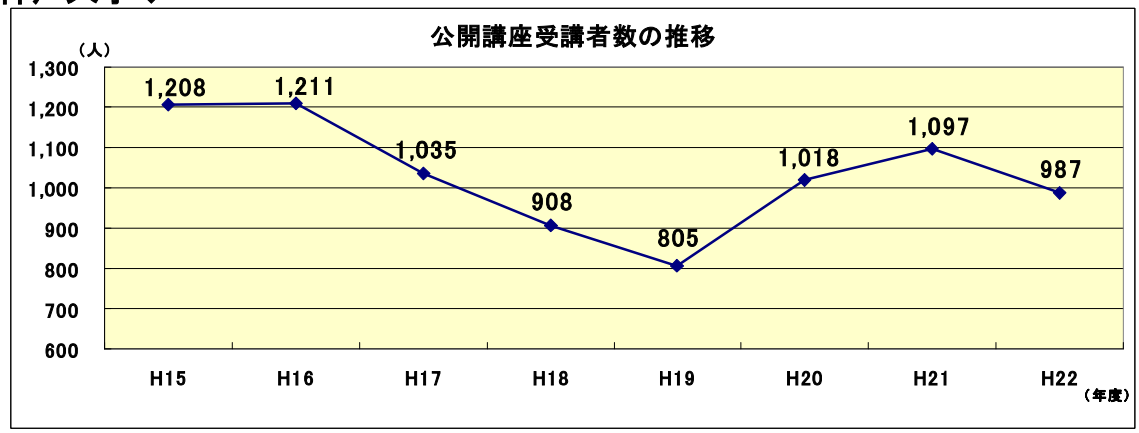
放射能（平成23年3月の東北地方太平洋沖地震による福島第一原発事故とその影響について）

【授業後】

海事科学部の深江丸での乗船実習も行われました。

25. 公開講座実施状況

◆神戸大学◆



◎受講者の部局別内訳

単位：人

実施部局等	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
文学部・人文学研究科	75	250	98	58	38	48	70	46
国際文化学部・国際文化学研究科	55	68	44	66	42	117	120	116
発達科学部・人間発達環境学研究科	46	40	189	63				
法学部・法学研究科		67					205	
経済学部・経済学研究科				125				
経営学部・経営学研究科	120					174		
理学部・理学研究科	139	277	288	126	128	124	189	80
医学部医学科・医学研究科	80	59	59	95	47	78	66	66

実施部局等	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
医学部保健学科・保健学研究科	57	75	86	86	77	154	89	89
工学部・工学研究科	90	90	58	75	67	62	54	59
農学部・農学研究科	290	173	62	87	87	99	70	53
海事科学部・海事科学研究科	58	33	41	43	67	48	96	89
国際協力研究科					158			
経済経営研究所	48		50					223
全学講座	150	79	60	84	94	114	138	136
合　計	1,208	1,211	1,035	908	805	1,018	1,097	957

（注）　及び海事科学部・海事科学研究科のH15中(6時間、170人)、H19中（3時間、24人)、H21中（7.5時間、延べ325人/5日）、H22中（1.5時間、延べ279人/5日）は、受講料無料の講座。

社会貢献

25.【参考】公開講座実施状況

◆神戸大学◆

部　局　名	講　　座　　名	受講対象者	時間数（時間）	募集人数（人）	受講者数（人）
全学	神戸大学研究最前線	一般市民、学生	9	100	136
人文学研究科	神戸と越境する文化	一般市民、学生	9	100	46
国際文化学研究科	文化としての宗教 -現代における聖なるものの可能性-	一般市民、学生（中学生以上）	6	60	116
理学部	サイエンスセミナー2010 -最先端の科学をわかり易く-	一般市民、高校生	5.5	160	80
医学研究科	生活習慣病：なぜ治療しないといけないのか？ どのように治療するのか？	一般社会人、学生	10	100	66
保健学研究科	最新の研究から家庭の保健・医療へ	一般市民、学生（高校生以上）	4	100	89
工学研究科	スーパーコンピューティングが拓く明日の暮らし -システム情報学研究科発足によせて-	一般社会人、学生	15	100	59
農学研究科	大学の地域貢献と農業・農村の再生	一般市民、学生	3	100	53
海事科学研究科	龍馬の時代の機関学、航海学	高校生以上	14	30	33
海事科学研究科	海路図や絵巻から見る江戸時代の海路の賑わい （第4回海事博物館市民セミナー）	高校生以上	各1.5 （全5回）	各100	56/日※
経済経営研究所	グローバル化の進展と日本企業の経営	一般市民、学生	9	100	223

※海事博物館の公開講座受講者数　10/2＝50、10/9＝33、10/16＝73、10/23＝49、11/6＝74、　5日間で計279人により56/日と表記

26. 東日本大震災への取組み

神戸大学と東北大学との災害科学分野における連携協力

被災大学間連携 2011.10.23

神戸大学

- 介護・看護・災害用ロボットの開発
- 三次元可視化システムによるシミュレーション技術の応用
- バイオリファイナリー分野
- 土壌汚染物質や汚染水の浄化

東北大学

- 災害対応ロボットの開発
- 防災減災対策のためのスーパーコンピュータを活用した研究推進・人材育成
- 地域経済復興

共通

- 学生ボランティア支援
- 被災歴史資料保存の取り組み

社会貢献

公開シンポジウム 「東日本大震災からの復興に向けて―神戸にできること―」（H23.8.3）

神戸大学ブリュッセルオフィス第2回シンポジウム「巨大災害に強い安全社会の構築に向けて」（H23.9.19）

東北大学との災害科学分野における包括協定調印式（H23.10.23）

〈トピックス⑤〉東日本大震災における対応

支援物資の輸送

神戸大学は、平成23年3月22日、トラック2台分の支援物資を、仙台市の東北大学へ送りました。支援物資の内容は、保存食・ミネラルウォーターのセットで約1万5千食、本学が各学部などに分けて備蓄していたすべてを送りました。

足湯ボランティア活動

学生などが被災地で取り組めるボランティア活動として「足湯ボランティア」があります。足湯ボランティアは、阪神・淡路大震災の際に始まり、この度東日本大震災においても活動しました。

KOBE UNIVERSITY

Toward Global Excellence in Research and Education

神戸大学データ資料集

～データと資料が語る神戸大学の今の姿～

平成２３年度

神戸大学企画部企画課

（平成24年１月作成）

（平成24年２月一部修正）